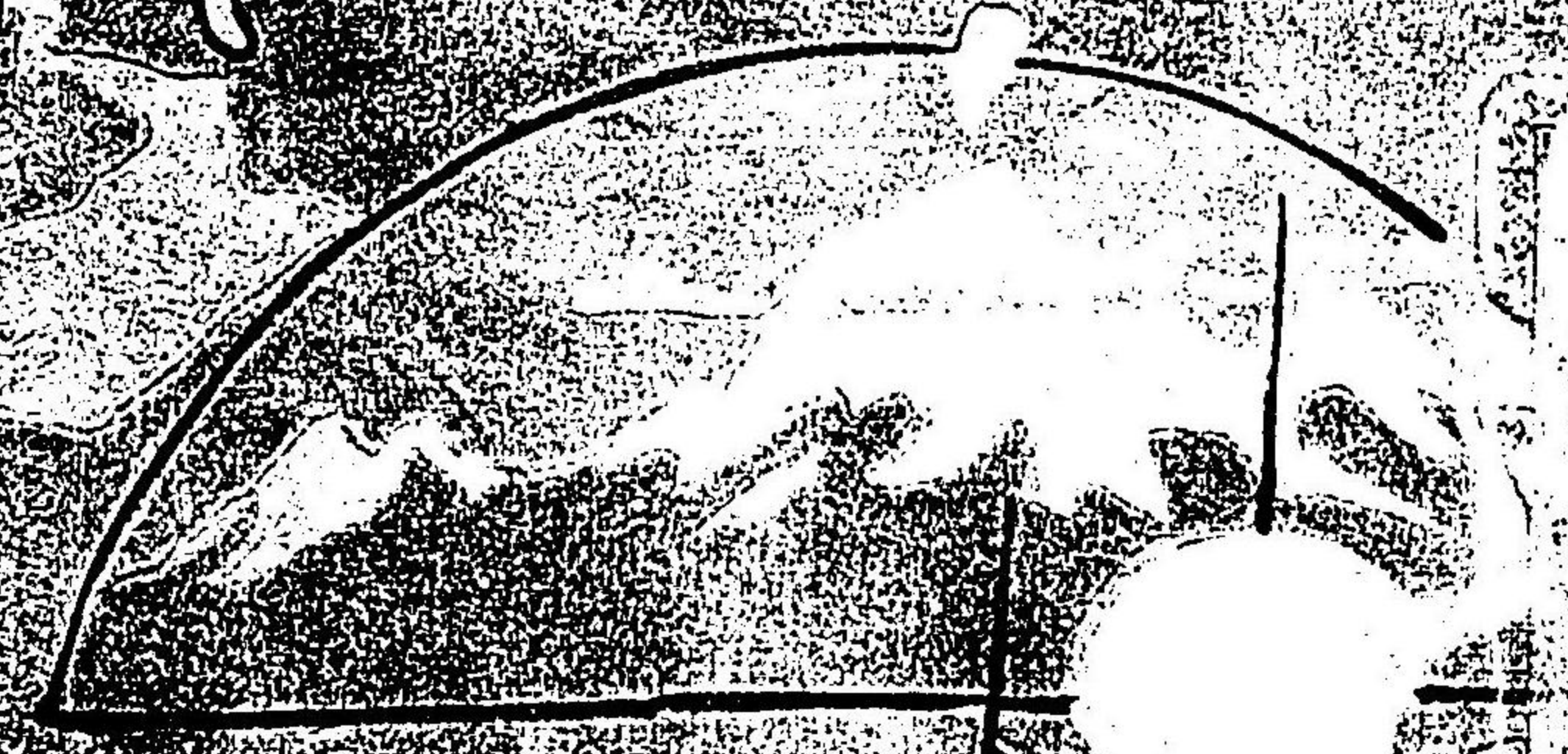


米渡航案内



516



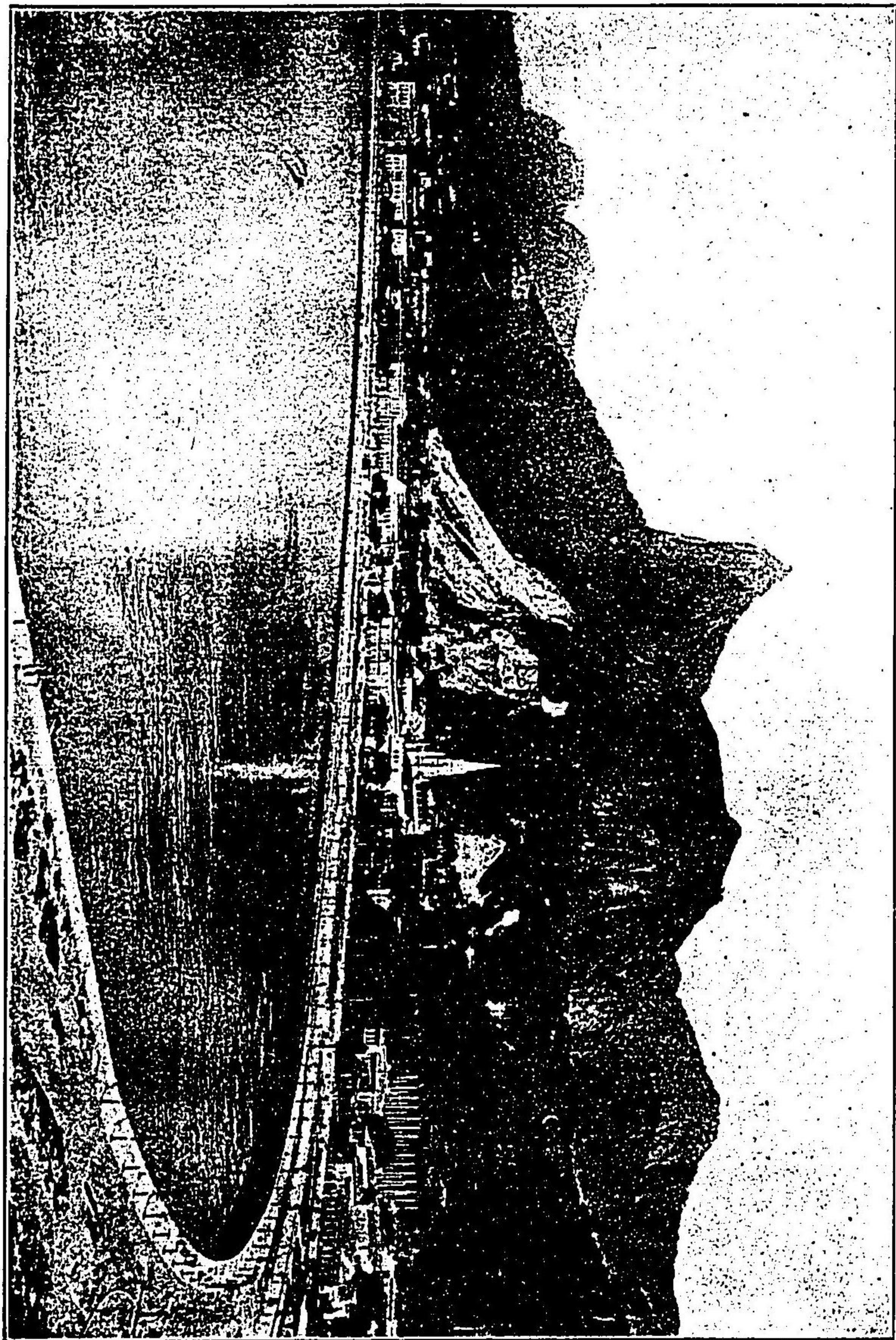
30-516



航
案
内

水
野
龍
著



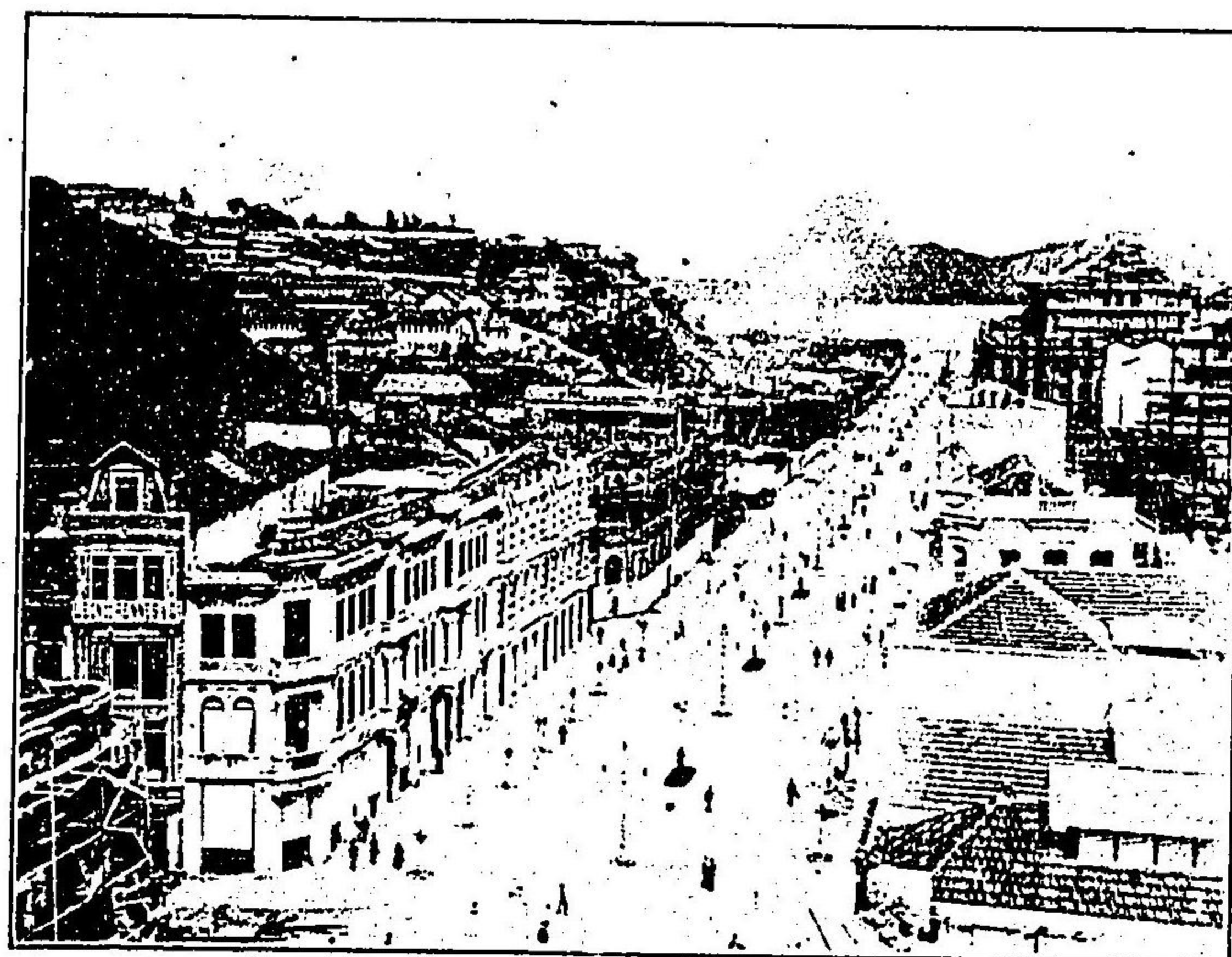


岸海の面後市ロイネシ・チヨリ

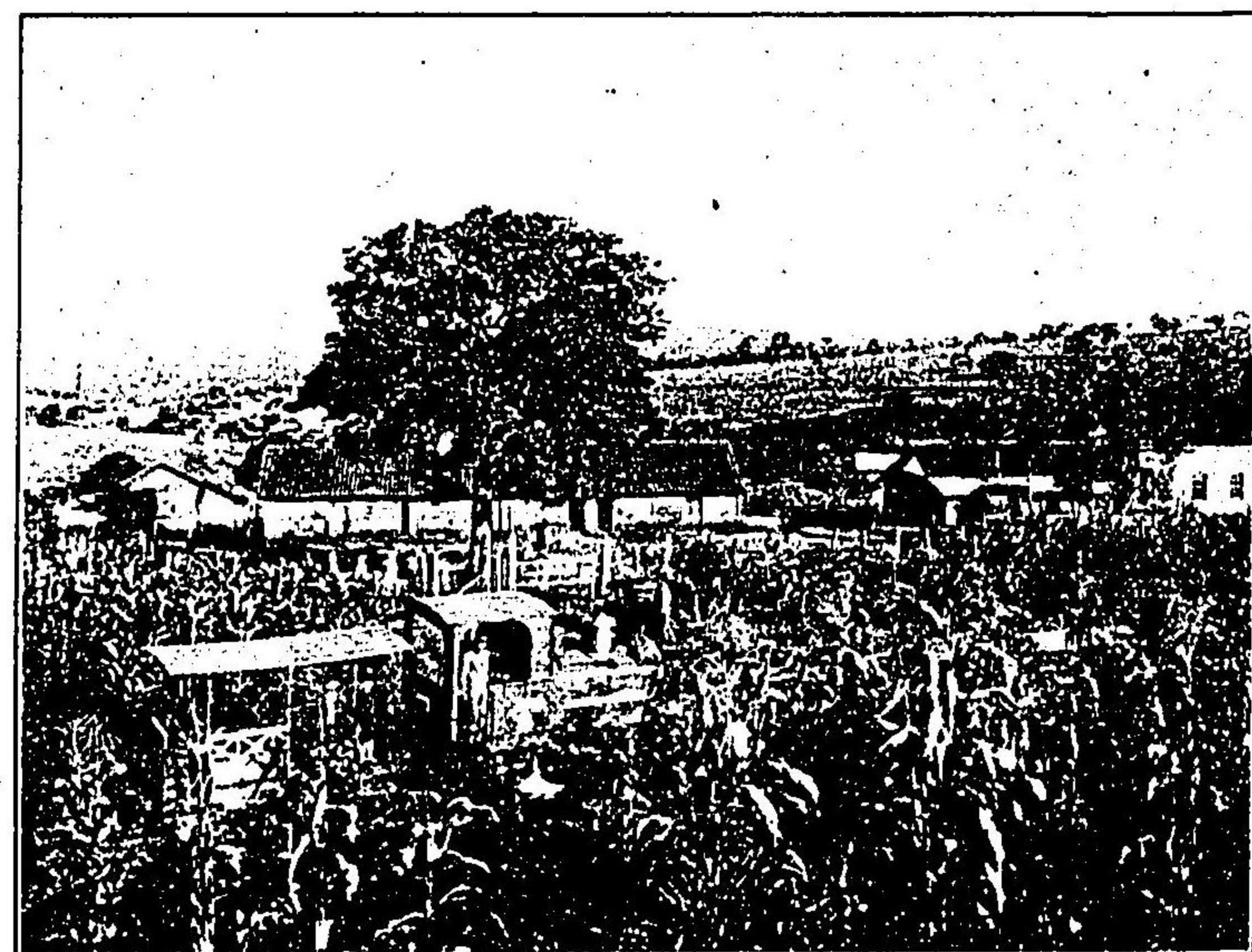
ロイネシ・チヨリ



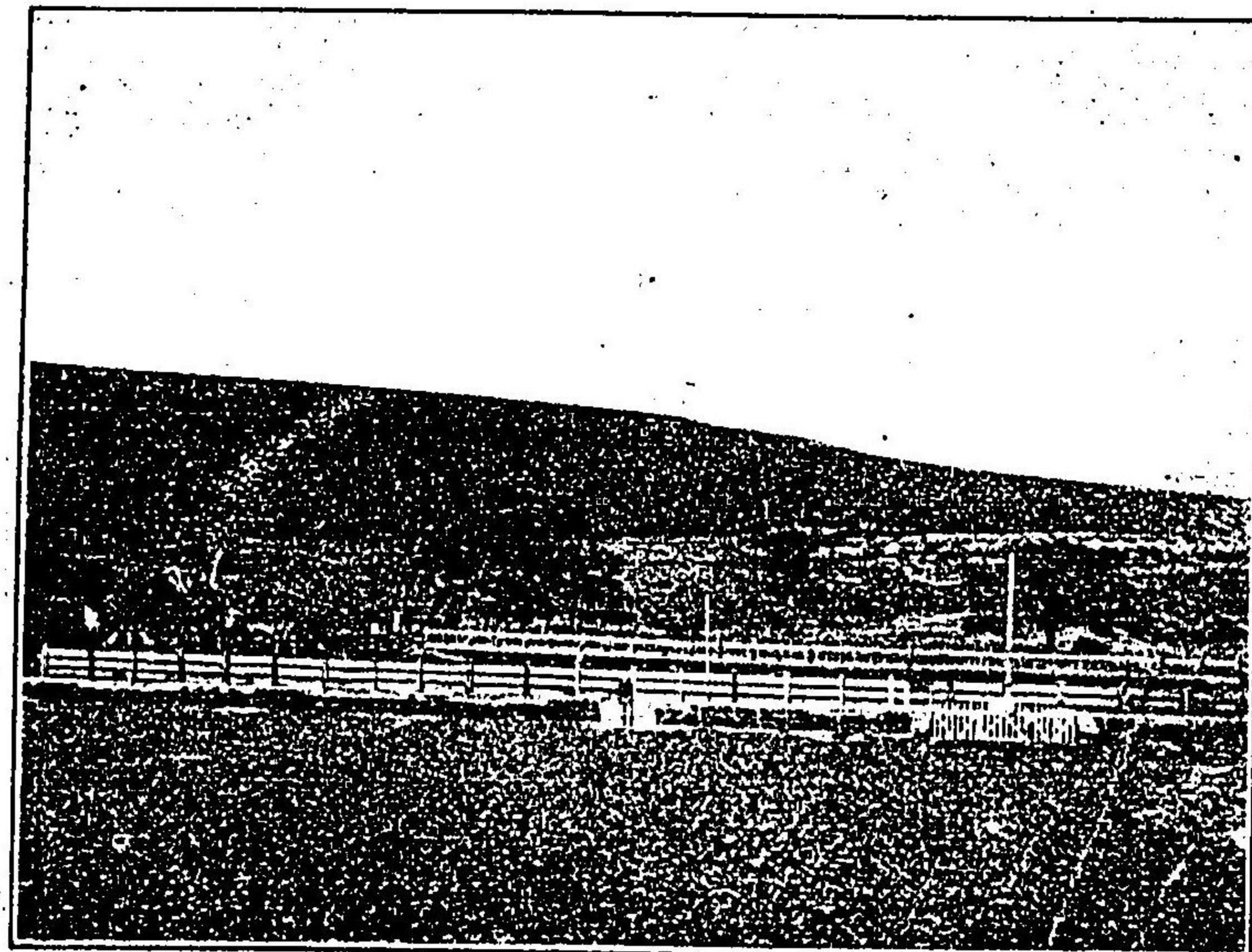
穫收の質非珈



市ロイ子ヤ.ジテ.ヨリ府首國伯

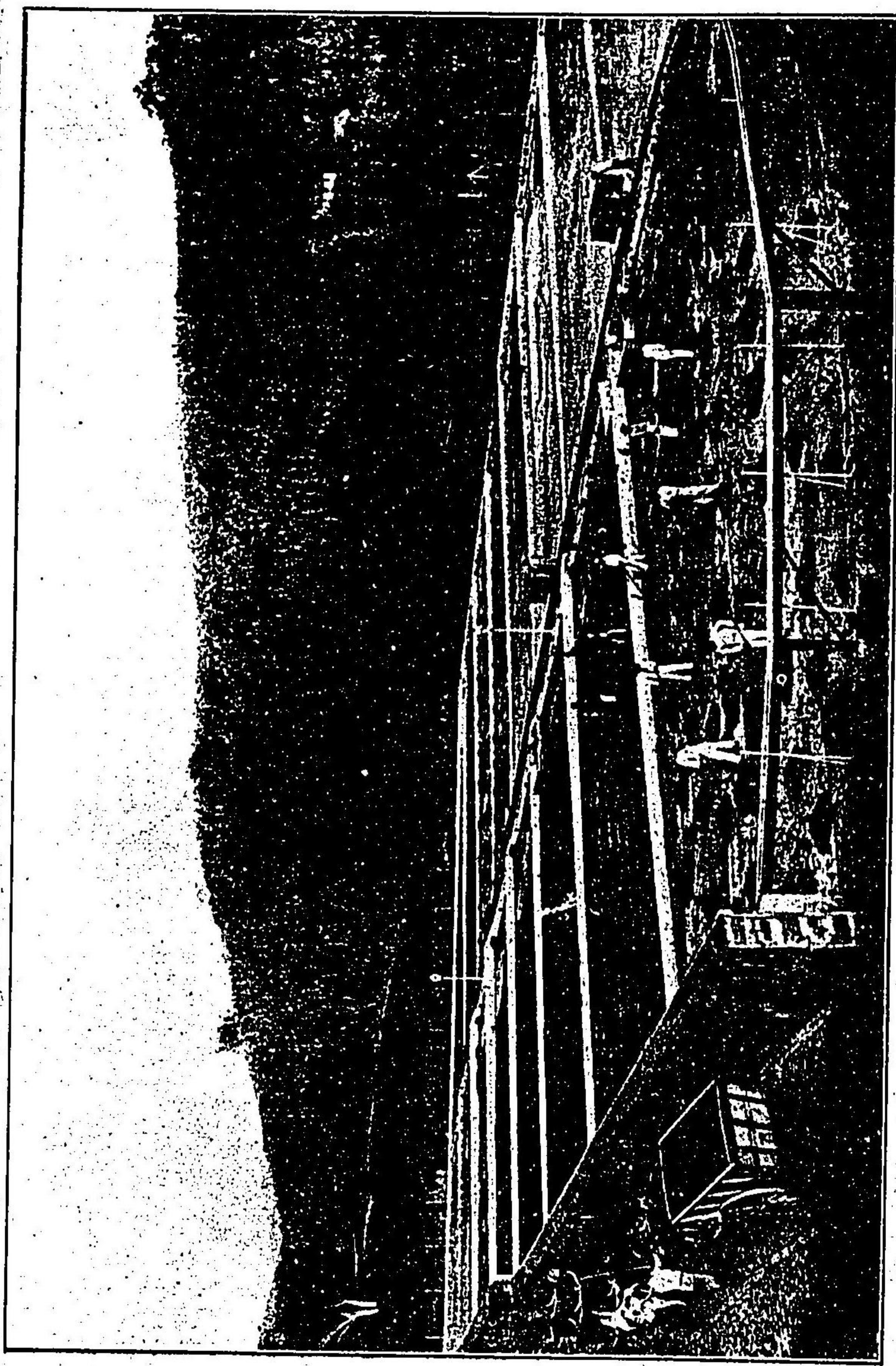


車漚用農ギ及作間糸蜀玉中園明加州ロツパンサ



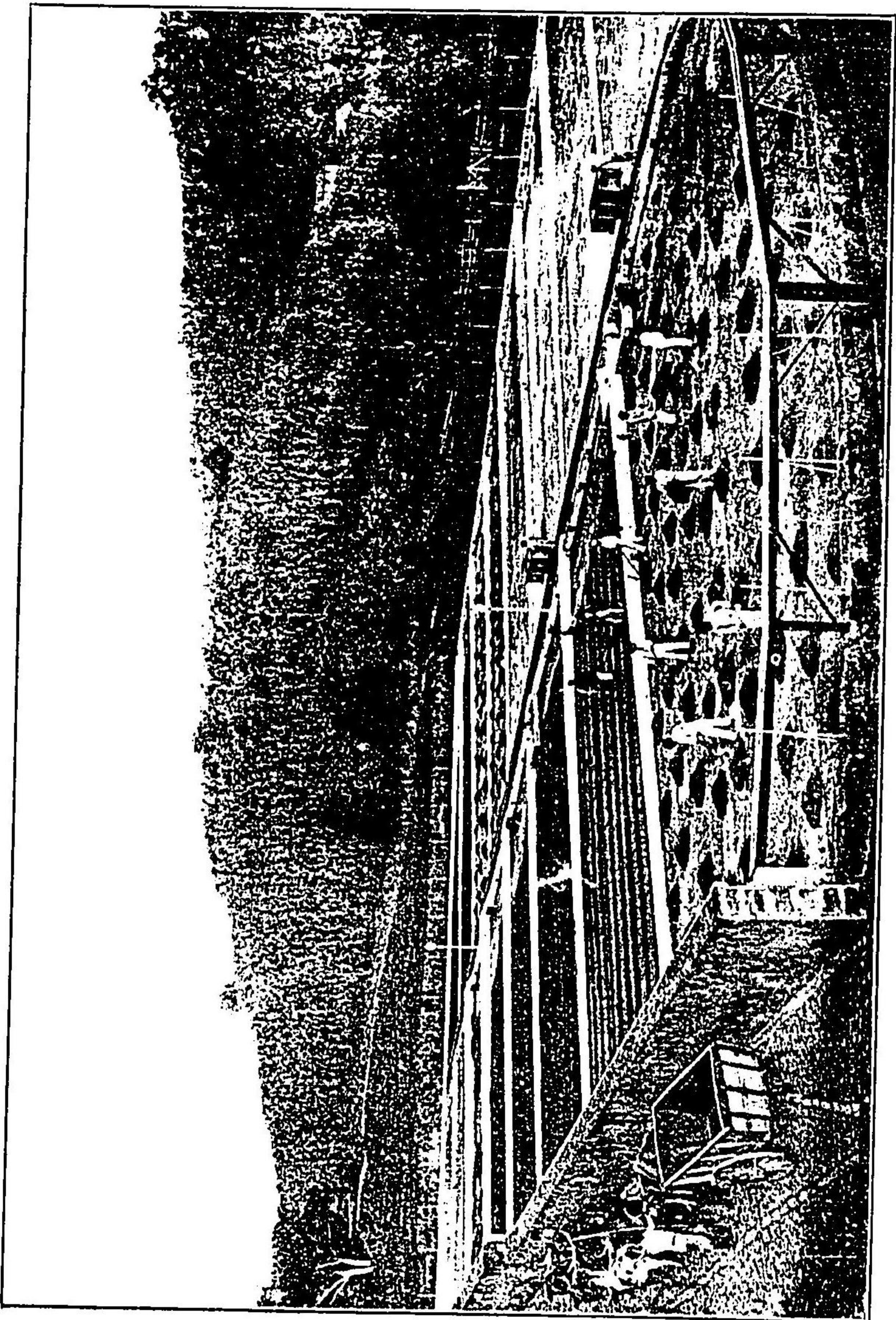
園研加州ロツパンサ國伯

加 非 乾 燥 場



序

本書は元と「移民地」シラノ南米編と題し余が南米漫遊中の雑感と記述して同人間の
 関心と供したとせしむるのなり然るに帝國方今の形勢大に移民の獎勵を必要とするの時
 運に際會し且つ故帝國駐利辨理公使杉村清君が我移民地として同國の極めて有望なる
 旨の報告一たび世に出で、より我々同國の状況に意を傾くるもの多く或は卒然渡航を
 企てるものさへあり今時勢の必要に應せん爲め則ち南米渡航案内と改題し之を公に刊
 行するに至りたり余は未だ移民取扱人として視察をせがたるものなれば其以外の方
 面に對しては充分な言明に異ならざる者幸甚之を記せば、此行に就て夫に補助の力を
 致したる滋野勇助と矢吹中將との芳名及彼等有利の南國に於て觀察上天なる便利を
 與へんとするものも其旨同然と爲て同記を名乗る事ハ「シラノ」ニシテ、
 又其の旨を記すものも其旨同然と爲て同記を名乗る事ハ「シラノ」ニシテ、
 其の旨を記すものも其旨同然と爲て同記を名乗る事ハ「シラノ」ニシテ、



序

本書は元と「移民地トシテノ南米觀」と題し余が南米漫遊中の雜感を記述して同人間の閱覽に供せんとせしものなり然るに帝國方今の形勢大に移民の奨勵を必要とするの時運に際會し且つ故伯國駐劄辨理公使杉村濬君が我移民地として同國の極めて有望なる旨の報告一たび世に出で、より競て同國の狀況に意を傾くるもの多く或は卒然渡航を企つるものさへあり今時勢の必要に應せん爲め則ち南米渡航案内と改題し之を公に刊行するに至りたり余は素より移民取扱人として視察を遂げたるものなれば其以外の方面に對しては殆んど盲聾に異ならず讀者幸に之を諒せよ、此行に就て大に幫助の力を致されたる滋野男爵と矢吹中將との芳志及秘露智利の兩國に於て觀察上大なる便利を與へられたる今村良治君亞兒然丁國に於て同じく名譽領事ハーバート、シエツフワード君、ヴェノスアイルス在留古川大斧君の好意並に伯刺西爾國に於て同國駐在帝國辨理公使故杉村濬君と三浦通譯官の周到なる盡力に對して特に感謝の意を表す殊に余が

(1)

(2)

サンパウロ移民及殖民會社長ベントヴェノ氏と我移民輸入の協商を遂げ其結果彼政府をして日本移民輸入に必要な法律案を議會に提出せしむるに至りたるもの一に故杉村濤君と三浦通譯官との力に由らずんばあらざるなり其効果や我移民の前途に大なる光明を發つものなり豈余が感謝の意を表するのみにして止むものらんや特に記して一言此に及ぶと云爾

一千九百六年十一月

著者識

目次

(1)

伯國の南部沿岸.....	二
伯國の首都.....	六
大統領日本移民を歓迎す.....	二
珈琲園の巡覽.....	三
各耕地の概況.....	一八
サンパウロ州の勞働實況.....	二七
サントス港.....	五〇
珈琲王.....	五三
サントス氏の農場貸附談.....	五三
渡航者に對する警告.....	五五
一大恨事.....	五三

南米渡航案内

水 野 龍 著

余は昨明治三十八年十二月二十一日を以て、東京を出發して南米行の途に上り、本年八月二十三日を以て歸朝せり。其間費す所の日子實に二百四十有六日。而して其經過せる所は秘露、智利、亞兒然丁、伯利西爾の四大國なりとす。而して余が此の行の目的とする所は、日本移民地としての伯國サンパウロ州を踏査するにありき。其目的已に伯國に在るを以て、通過の順序に拘らず、先づ筆を伯國に起して、然る後に及び以て余が踏査視察せる諸般の事項を記して、遠きを出でずして行はれんとする南米移民の手引案内と爲さんとす。今日までの我が著述界には移民に關する書冊少からずと雖も、悉く皆北米に關するものみにして、其南米に關するものに至りては、會社業務用の報告書か否からざれば零紙斷墨に過ぎざるは世の知る所。余が茲に先登第一として南米移民に關する本書を世に寄與するは最も光榮とする所なり。

- 秘露國……………六九
- 智利國……………七七
- アンデス越……………七九
- 亞兒然丁國……………八一
- 成功せる日本勞働者……………八四
- 北米シヤトルの瞥見……………八七
- 余が最後の斷定……………九〇
- 南米移民の斷行を望む(參考)……………九二
- 杉村公使の報告(參考)……………九六

伯國の南部沿岸

余が始めて伯刺西爾の地を踏みしは本年三月二十七日にして、其土地は即ち伯國の最南部リヨ、グランド、ド、スールとす。此州は廣袤九萬一千餘方哩、人口約九十萬にして一平方哩に九人強に過ぎず、而して獨逸の殖民最も多しと云へり。州の位置は南緯三十二三度にあるを以て氣温適好なり。港灣は頗る廣濶にして本邦にて云へば雲州松江の數十倍大なるものといふべく、其異なる點は松江に比して、周邊山嶺なく、灣口潮水淺く、船舶の出入に不便なるに在り。余が便乗せしシリヨ號（此のシリヨ號は余が上陸後は歐洲方面に航し西班牙近海に於て沈没して乗客三百名を溺死せしめたりと傳ふ）の如き二千噸未満の小船すら灣口外に止まること四日、即ち三月二十三日午後五時灣口に投錨し二十七日午前九時漸く入港したり。時恰も初秋と云はんよりは晩夏にして酷熱の候なりしも、市街を遊覽せしに我が東京に於ける夏の如き暑熱を感せざりし。

西海岸秘露より此地に至るまでは西班牙語の地方なりしも、茲に始めて葡萄牙語を用ゆる土地となれり。故に葡語の片言隻句をも解せざる余の上陸は不便少からざりき。蓋し本邦人にして此地に上陸したるは余を以て嚆矢とするならん。去ればにや此地の住民等は珍らしげに余に注目するを見受けたり。余は市中の一書肆に就て此地の地圖を求めんとし、其價を問ひしに唯二といふことを解し得たるを以て、不廉なることよと思ひつゝ、ポケットを探りて、伯貨ニミルを與へんとせしに、書肆の手代は頻りにノークといふ。余鉛筆を出して書せしむれば「是」と記す。余其高價なるに驚き買はずして去る。かくて東西徘徊の後、雜貨店に入る。日本商品あり、其表装に藝妓が三味線を杖て立つの圖あり。本邦人未だ到らざるの地、偶々商品あれば表装に藝妓を畫くを見る。日本の名を知るの外、人必らず同時に藝妓を聯想するも亦宜ならずや。日本の稱呼は外人をして第一に藝妓、貞奴を聯想せしめ、次に東郷乃木の兩大將に及ぶを常とす。余は日本商品の表装を見て窃に眉を顰むるの情に堪えざりき。此地の重なる物産は野菜にして、就中玉葱の産出最も多く、此港の積荷は玉葱の

みなりといふも過言にあらざるが如し。余は此地の内部に入らざるを以て其實況を知るに由なきも、牧草の盛んに輸入せらるゝを見て、野菜の耕作には牛馬を用ゐ、其飼料たる牧草は輸入に仰ぐものと思はれたり。リヨ、デ、ジャチイロ及びサン、パウロの如き、繁華の都會の食料野菜は多く此邊の供給に待ち、又此附近農家の食料品の重なるものは、悉く外國の輸入に待つもの、如し。本邦東北の地方が一年の不作の爲めに飢餓の民を出す如きは、寧ろ三十世紀の一奇談ともいふべき耶。

此州にては土地を區劃して十アルケリース(約我が二十五町歩)を以て一家族の耕地と定め、其價額二百五十ミル(一ミルは約我七十錢)より五百ミルとし、永年の年賦納として之を外來の移民に拂下げ。尙其他に小屋掛料及び一年間の食料品を貸與し、他日の收穫を以て之れを償却せしむと云ふ。其土地の開拓に忠實にして外來の移民を待つや厚しといふべきなり。

此港は港口の不便なるに似ず、港内の設備は最も完全にして、凡そ港内に入る船舶は悉く埠頭に横附して荷物の積卸を爲し得べし。余の乗船は碇泊三日にして、荷物の積

卸を終へ錨を抜く、即ち三月三十日午前八時なりき。

是れより風光盡も及びざるフロリヤ、ノーボリス、イタシヤイの兩港を経て、サン、フランシスコに到る。此邊凡て氣候溫和にして菓物を産する多し。サン、フランシスコは天然の良港にして、僅かに十餘間の棧橋を突出せしむるのみにして、船舶皆之に横附して荷物の積卸甚だ自由なり。此地亦日本人の會つて上陸せしものなかるべしと想はる。余は乃ち上陸して四邊の風光を觀る。土地の人怪んで余に注目す。余は逍遙市の盡頭とも覺しき山坡に至る。一邸宅あり、柑類累累黄金色を成す美しいふべからず。二三の少女あり佇立す。余の異相なるを觀て驚愕したりけん。其中の一人疾聲一番鈴の如き聲を發して相叫ぶ。聲に應じて邸内より走り出たるは妙齡の女子なりしが、余等を一瞥するや、暫く面を上げず笑を殺して相伏す。余等の眼に如何にも異様に感ずるは黒人のハイカラ姿なるに、彼地の女は黒人のハイカラに慣れて之れを怪しむを知らず却て余等を訝る。半開の伯國美人未だ眞の好男子を知らず亦可憐なりや。

伯國の首都

サン、フランシスコ港を辭しバラナグワ、アントニオを経てサントスに至りリヨデ、
ジャネイロに達す。其間到處海山の風物港灣の光景、氣象雄麗規模壯大。之に比す
る時は日本の山水は盆山盆水の觀あるを免れず。日本は世界の公園なりなどいふは南
米の山水を知らざるもの、鹽語のみ。リヨデ、ジャネイロは伯國の首都と港灣を兼ね
るものにして人口百萬と稱す。實に全國商品の吞吐場にして其港灣の濶大なる直に驚
異すべし。土地の人は此港の大以て世界の軍艦を吞吐するに足ると誇稱す。然り余も
此港は世界有數の一大良港なるを認む。唯惜らくは埠頭未だ何等の設備なく荷物の積
卸解船に由る其不便いふべからず。市中に山あり二條の電車を通じ直ちに其頂點コ
ルコパドーに到るべし。海拔三百メートル眼界の濶大世界無雙と稱す。中腹に至るま
で家屋ありサンタレンサといふ。高等の旅館多くは此中腹にあり。土地の酷熱に應じ
て其の設備至れり盡せりといふべし。此コルコパドーに架設せる電車の如きは、單に遊

覽の爲めに茲に登るもの、爲めにせるに外ならず。本邦にて云へば東京の愛宕山の如
き其他日光中禪寺箱根の如きには必らず是等交通に便する設備なかるべからず。外人
の名勝を遊覽するや之に要する費用の多寡よりも其便不便に重きを置くを常とす思は
ざるべからず。
伯國首都の氣候如何。或は風土病流行病の有無等に懸念する人々もあらん。依て余は
最近に於ける衛生報告書を携へ來りたれば、左に掲げて同地の衛生の行届ける實況を
知るの便に供す。

リオ市衛生月報(衛生統計局千九百零六年五月報)

當五月リオ市に於る衛生情態は極て良好にして、死亡者の數は尙前月に比し四〇、五六に對する三九、九〇の
割合を以て減少せり

天然痘患者の發生皆無にして、黃熱病及びペスト患者は、前者二名後者は僅に一名を出したるのみにて、其他
の傳染病に罹りたるもの數は、前月内に於いて大差なし。今其比較對照を示すに左の如し。

黃熱病	五月内	二名	四月内	八名
ペスト	五月内	一名	四月内	一名

天然痘	〇	〇
麻疹	〇	〇
猩紅熱	〇	〇
氣管支病	二名	一名
實扶的里	一	二
流行性加多兒	四十八	四十二
チフス	八	四
赤痢	五	六
ペリペリ	六	十三
癩病	一	一
洪水熱	二十一	三十一
結核症	二百二十五	二百〇六

常五月間に當局に於て執行せる戸口衛生調査は一萬六千五百九十二名に上り、其中衛生警察員の手に懸りたるもの一萬五千五百一十一にして、醫事検閲を行ひたるもの八萬五千〇八十一名其人員八千四百〇八名に達し、種痘百二十八名、ベスト豫防法を施したるもの一名あり。而して傳染病患者の届出数は九十件にて、内譯を種別、れば左の如し。(参考の爲め前月と對照す)

五月

四月

黄熱病	二名	十四名
ベスト	二	三
天然痘	三	四
實扶的里	九	六
チフス	三	一
結核症	六十九	七十四
ペリペリ	一	〇
洪水熱	〇	三

消毒本部にて居室の消毒法を履行せる數千五百〇三月にして、衣類の消毒六百七十八點、同じく焼棄したるもの四百三十七點なり。尙ほ當五月末日迄は焼殺せる捕鼠の數は總計八十六萬〇二百八十三匹に達す。而して蚊虫驅除法を行ふこと四十二回にして、次で集合點燈一萬三千七百三十七個を廢除したるも、其結果良好にして、僅に注意患者一名を出したるに勵まり、同患者は即時サンサマスチオン病院に收容せり。

當月は別に衛生検閲を行ふの外に大清潔法を執行し病毒撲滅に盡瘁せり。消毒の箇所は家根六百六十三ヶ所、暗渠五百十ヶ所、下水渠七萬五千四百八十二ヶ所にして、自動下水溜六萬五千二百十三、給水桶四千七百三十三個、タンク五萬四千四百個及び雜倉庫千六百二十八を洗滌す、而して右驅除法に使用したる材料はプレスロ一三十三基、硫黄二千五百七十九キロ、アルコール百〇七リトル、石油一萬三千八百二十四リトル、石炭酸二千五百五十三リトルなり。除去汚物の量數は家根及び溝より得たる塵埃運搬車二千六百九十五臺、家屋宅地

より出たるもの百四十八産を算す。
微菌試験所に於て行たる試験は實扶的里菌に對し九回にして其中眞症を發見する六回なり。ベスト菌試験の請求一回もなし。

水上衛生警察に於て港内碇泊の大小船舶百五十五艘に對し衛生檢視を行ひ孰も安全の状態を認めたり。同警察より當月内にミゼソルテヤ院へ入院せしめたる患者は其數十一にして孰も普通疾患なり。

工務局に於て工事上の検査を受たるもの七十三件。證明を得たるもの七十三通。而して報告十二回なり。製藥局にて藥種店七十九軒の巡回検査を執行し、調劑書の登録を経たるもの十一、製藥所開業許可を與たるもの十四。

クレートン式消毒器を使用して港内にある船舶陸上の給水管掃除口の清滌を行ふ。其數下水溜三千六百三十三ヶ所排水溝渠二百五十五ヶ所にして、是より得たる排泄汚物六十六車鼠鼠二十二匹を出す。

常月中避病院に隔離收容したる患者の數は僅に黃熱病二名にしてベスト、天然痘患者の死亡なし現時同院にては入院患者一名もなし。

戸籍登録は出産千三百九十二、結婚二百八十三、死亡届千二百三十七なり。

温度は平點二二、八二にして即ち最高三一、七最低一六、七とす。

人口の動態は海陸出入調査に基き九百六十九名の入増加を示す。

衛生統計 プリヨン、カルバリア

大統領日本移民を歓迎す

時は四月の十五日。余は杉村辦理公使の好意により三浦通譯官と共にサン、パウロ州に向ふ。翌十六日朝サン、パウロ市に達す。市に留まること四日間。十八日を以て余は前の内務長官ベントウエノ氏及び陸軍大佐クリンゲリーケツフェル氏と會し、兩氏の案内により政廳に到り、大統領及び農務長官に謁するを得たり。其際大統領は余に向ひ、

足下が當國に來らるゝことは外務大臣の通牒に依りて之を知れり。日本の餘れる人口を移して當國の開發に資するは余の最も望む所。足下の盡力に由り日本移民の端緒を啓くを得ば何の幸か之に加へん。

と言はれ次に農務長官は左の如く言はる、

日本の移民は當國の農事改良に至大の利あらんと信ず。足下が此事の爲めに渡來せられたるは深く謝する所なり。耕作地の視察に就ては屬官を隨行せしむべければ篤

と實地を審査せられ、尙移民の契約等に就てはサン、パウロ州移民及び殖民會社長(前の内務長官)と協議の上二日も早く日本移民の實行せらるゝ様盡力あらんことを望む。

余は右に對し深厚なる辭を辱うしたるを謝し、且つ微力の及ぶ限り日本移民の事に努力すべき旨を答へたりき。かくて余は二十日より珈琲耕地を巡覽するの意を農務長官に告げれば、長官は余一行の爲めに特に移民收容所の屬官を隨行せしめ、且つ汽車賃其他一切の費用を官給せしめたり。

珈琲園の巡覽

珈琲は伯刺西爾の一大産物なり、否な世界の一大産品なり、何となれば伯國の珈琲は全世界に於ける産出額の三分の二を占むればなり。故に伯國に於ける勞働の大部分は、珈琲に關せざるはなし。而してサン、パウロ州は伯國にて珈琲耕作地の本場を以て目せらる。余が南米行の目的は約して云へばサン、パウロの珈琲耕作地を視察するにあ

りといふも不可なし。是れ余が此珈琲耕作視察の舉ある所以なり。

二十日。此日は朝六時三十分汽車發の豫定なれば余は五時半に起きて旅装を整ふ。屬官は已に馬車を具し來りて旅館の前にあり。乃ち同乗して中央停車場に至り茲より汽車に搭す。十二時に及び已に杉村公使の所謂「珈琲海」中の人と成る。途上同公使の報告書(明治卅八年十一月廿八日發行通商彙纂掲載)に云ふ所の露西亞殖民地を過ぐ。殖民地内に停車場あり又附近の民家觀るに足るべきものあり。此附近は地味左まで佳良ならざるが如くなりしも、其の中央部に至らば豊沃の地ならんか。露國の殖民は未だ多く來住せざるも、停車場附近は殆んど開墾し盡されたるもの、如くなりき。途中停車する毎に或は茶を供し或は食物を供す皆屬官先生の取計ふ所にして、余をして一錢をも支出せしめず驢待も亦厚しといふべし。

午後三時一停車場に着す、此處にて乗換なりとて下車せんとす。折柄電報を手にする一老人扉を排して入り來り屬官と語ること數分。他の乗客皆去て在らず、余等一行のみ留まる。別に一機關車あり來りて余等の乗れる車室に接續せしめ、轟々然曳き去る

行くこと数分時にして珈琲乾燥場の在る處に停まる。壯丁三四人走り來りて余等の手荷物を運び去る、是れなんサン、パウロの市長アントニオー氏北堂の養老耕地にして、北堂の名に據りサム、ベリデーナの耕地と呼ぶ處にして、車中に來れる老人は即ち此耕地の支配人にして、農務長官の電報により余等一行を迎へしものなり。此耕地の面積は山林原野畑等を合せて約二千町歩に及ぶ。其植栽する所の珈琲樹六十萬本なりといふ。本年は珈琲作頗る豊饒なりと云ひ、特に收穫期に迫り爛熟の色美觀を呈せり。此耕地に着するや老支配人の案内により馬車にて耕地を巡覽す。或る高丘に至りて瞰望せしに滿目唯珈琲樹にして殆んど際涯を見ず。其耕作の行届ける其設備の充分なる一點の非難すべき所なし。此夜此耕地に宿す亦懇待を極む。

二十一日午前六時起床、浴を取り朝飯を終へ、七時老支配人の案内により裏門に出でて佇立するや、間もなく汽車の進行し來るあり。余等の面前に來りて進行を止め、余等一行を載せて發車す。此處素より停車場にあらず耕地の裏門前なり。想ふに前夜鐵道會社に電報して特に此處に停車せしめたるならん。正午チビリサの停車場に着す。

屬官先生の案内に連れて下車し停車場の前面に出づれば、レピロン、プラト農事會社の取締役ドクトル、フホルミヤノ氏は其支配人と共に出迎へ小汽車を用意して余等を待てり。余等其小汽車に乗れば、汽笛一聲珈琲園中を進行し去る。此レピロン、プラト會社は農務長官及びドクトルベントウエノ、ドクトルヒルミヤノ、ドクトルモレーラ氏等皆親族中にて組織せる會社にして其所有面積約一萬町歩を起ゆべしと想はる。植栽する所の珈琲樹三百萬本一望際涯なし。余等終に畫中の人となる。已にして汽車事務所の前前に到れば、日伯兩國の國旗を又掲して相待つ快言ふべからず。下車早々更に汽車を裝ふて耕地を奔馳す。かくて日没に及び事務所に歸りて晚餐の卓に就く亦美を極む。

二十二日。早起汽車を裝ふて耕地を巡る。汽車の通せざる所に至るや、馬車先きに來りて相待つ。余等之に乗りに園中を視る。中に移民の住家二十戸許り空虚なるを見る。ドクトル、フホルミヤノ氏指して曰く、日本移民來らば此家屋に收容すべし、期至らば修繕を加へんと。此附近にバナナ及び密柑の畑五六町歩程あり、果實累累黄金を綴

るが如し。余問ふて曰く、彼の果樹園は會社の有か、移民の作る所か。フェルミヤノ氏答ふ、會社の所有なり、年々移民の採食に任せ、剩す所賣上ニコント(約我が一千四百圓)を下らず、日本移民此に來り住まば擧げて之を與へんと。午前十時事務所に歸り食事を了へ。十一時チピリサの停車場に出で、ツィモントの耕地に向ふ午後一時着す。此耕地は英人組織の會社所有にして面積二萬町餘、植うる所の珈琲樹六百萬本。規模の宏大茲に至りて極る。耕地内鐵道縱横に布設せられ、移民四千人を使役す。余等汽車にて耕地を巡覽すること前日の如し。會社々長夫人共兩三日前に着せしといふ。夜に入り夫人ピアノを弄す、亦客中の一適なりき。

二十三日。午前九時會社の馬車に送られてサンマルチャーニヨの耕地に到る。此耕地の珈琲樹は二百三十萬本。市長アントニオー氏外數名の組織にかゝる會社の有する所に於て、其面積八九千町歩ありといふ。午前十一時を以て此耕地に達す。耕地内汽車の設備あるも、收穫期の外は運轉せざるもの、如し。馬車を驅りて耕地を巡覽す。終りて此處に一泊す。

二十四日。午前七時附近の停車場より汽車に搭じ、午前十一時バルミートの耕地に着す。此耕地はドクトル、モレイロ氏の所有にして、夫妻共に來りて耕地に在り、モレイロ氏は農務長官の縁弟なり。其植栽せる珈琲樹七十七萬本にして移民九十七家族を使役すといふ。耕作の美蓋し此地を以て最とす。移民と耕主との間柄頗る親密にして眞に主従の觀あり。移民の貯金するもの甚だ多く、其最少額のものすら一コント(約我が七百圓)を下らずとか。此耕地には鐵道の布設なし、馬上耕地を巡覽す。モレイロ氏の乗馬は東郷と呼ぶ。南米近來の一流行として、凡て最強最大の物犬馬鶏豚を問はず、東郷黒木乃木奥等と命名して得々誇稱せり。此一兩年生るゝ所の幼兒亦是等の名を命するもの甚だ多しといふ。現に故杉村公使の主治醫の夫人懷妊中にて、分娩の後男子ならば東郷の名を附すべしと樂み居たりき。

モレイロ氏は余等と共に耕地巡覽中、日本移民來らば此處に置かんか彼處に居らしめんかとい、幾多の屋舎を余等に自擧せしめたり。又此地を自作に任せんか彼の地を自耕に供せんかなど、日本移民を歡迎するの情頗る盛んなりき。此夜此地に泊す。

二十五日。午前七時馬車を隣の耕地に駆りて一瞥す。此耕地はチビロサの耕地に在りしドクトル、フェルミヤノ氏の所有に屬し珈琲樹三十萬本あり。元モレイロ氏の耕地と同筆なりしを分割したるもの、由にて、其耕作の景況は其隣地と異なる所なし。一覽後直にパルミートに歸り。十一時停車場に出てサン、パウロに歸る。時に午後七時なり。

各耕地の概況

二十日より二十五日に至る六日間の巡覽經過は大要上に記するが如し。更に概括して各耕地に共通する狀況を茲に略述せんか。珈琲樹は高地に適し濕地を忌む。故に高原丘陵を開拓して茲に之を栽培し。其低地に屬する所には事務所其他移民の屋舎を建設し、或は牧場を設け或は水力を利用して製材製粉の工場を置く。要するに珈琲耕地の組織は、汽車の修繕より農具の製作修繕に至るまで、凡て自營にて辨ずるの方針なるが如し。

家族移民の労働受負料は珈琲樹千本にて、一箇年六十ミルより百二十ミルまでなり。此受負料に此の如き差等あるは間作に多少の別あるが爲めなり。凡そ何れの耕地にても珈琲栽培地の其五分一の面積には、間作を爲し得べき空地を存せざるなし。故に家族移民が夫婦して三千本の珈琲樹の手入を受負ひたりとせば、其耕作地約四町歩の面積中八反歩は空地あるを以て、珈琲手入の序を以て別に多くの勞力を用ゐずして、其空地に玉蜀黍小豆黍等の間作を爲し得べし。而して此間作より得る作物は食料として優に餘り、其餘れる分を賣る時は労働者の日費を支え得るを以て、珈琲手入受負料と收穫時の珈琲採收賃錢は全然之れを貯蓄し得べし。故に瘠地にして間作し能はざる處、又は珈琲樹稠密にして間作の餘地乏しき處にては、手入賃は高からざるを得ず。又必らず高きなり。中には間作の行はれざる處にて珈琲樹千本に付玉蜀黍一車を給與するといふが如きもあり。日雇移民の賃銀は一日二ミルにして食料自辨なり。而して朝六時に出で夕六時に歸るを得べし。

收穫時の珈琲採收賃金は五十リートル入一袋五百レースにして、一人一日四袋乃至五袋を採收し得べし。往昔奴隷の一人役としては一日六袋を課したりといふ。右の外道路修繕の如き臨時の日雇は、日給三ミルにして食料自辨を通例とす。移民の常食はパン鳥獸肉及び小豆の類なり。パンは玉蜀黍粉を以て製するもの多し。玉蜀黍粉を得んと欲せば、耕主の水車場に玉蜀黍を持ち行きて其製粉となるものと交換するなり。例へば玉蜀黍一斗を持ち行けば製粉一斗を得べし。製粉して増したる分は耕主の利益なり。

馬齡薯甘諸其他菓物の自作栽培は随意なり。鶏豚山羊の畜養亦随意なり。自から之を飼はずとも交換買買亦自由なり。

凡そ日用品は耕地附近に在る町に到りて之を求むべし。町へは各耕地とも遠きも二三里にして到るを得。故に日曜日には家族を連れて町に出づるもの陸續たり。

耕地に於ける物價の一斑を云はんには、鶏一羽一ミル乃至三ミル大小に由りて價に差あり。鶏卵一ダース八十レース豚一頭七五ミル以上、山羊一頭三ミルより十三ミルに至る。

物價は不廉なるに相違なきも勞働して得る所のもの亦不廉なれば物價の高きも意とすに足らず。

米の上等物は首都に於て我が一升我が約壹圓に當るを以て、耕地には上等米は絶無といふべく、極下等米と雖ども我が五十錢を下らざるべし。小豆は我が一升我が四十錢内外なり。故に自作の小豆を賣りて米を買ふも強ち難事にあらず。况んや小豆は一年二度作なるに於てをや。

稻は伯國にて絶體的に之を作らざるにあらざるも、極めて少量にして先づ米と云へば東洋印度方面より輸入する所にかゝる、其價の高き固より怪しむに足らず。然らば稻作は伯國に適せざるかといふに、最も有望なるが如し。余はゾーモント耕地にて試作せる稻を目撃したるに、稻穂の尙未熟なるものにて其長さ身の丈けを超ゆ。而かも播種したるまゝにて肥料を施さずといふ。余は試みに右試作の一莖を携へ來りて、参考品として農事試験場に提出したるが、其莖に數本の枝出で結局九箇の穂を成せり。是に由て見れば稻作は大に望みあり。特に珈琲樹は高地を可とし、濕地は其儘に利用せ

られざるもの多きを以て、此濕地に稻作を爲す時は成育篤くべきものあらん。且つ稻作は將來如何に發達せしむるも珈琲耕地を侵すの懸念なきは尤も妙なり。

耕主の住宅移民の屋舎は低地に在り、隨て水の供給頗る潤澤にして、何れも水車の設備あらざるはなく、或は場處によりて沼池のある所もあり風景佳絶いふばかりなし。到る處水質甚だ佳良にして、流行病又は地方病等なきは何等天幸の地方ぞ。

耕地により移民の需用品供給店を設くるものあり。或は耕主之を設け或は移民中の或者の自營にかゝるあり。而も高價の物品を移民に強ゆる等の弊風は會て之なしといふ。

醫師は附近の町に住居するにより自由に診察を求め得べし。耕主によりては移民の所得金の百分の五を積立しめ、病氣の時は無料診察及び投薬をなすもあり。然れども移民地には疾病少きを以て、移民は多く此組織を忌み自治を望むが如し。醫師に對する報酬は一回の宅診五ミル同往診二十ミルなりといふ。

氣候は耕地一般大同小異なるが。今左に最も正確なる調査の結果に出づる表を掲げて参考に資す。即ち

サン、パウロ(停車場)に於ける千九百年の氣温左の如し。

	平均	高度平均	低度平均	最高度	其日付	最低度	其日付
十二月	一九九	二五五	一六三	三三三	廿二日	一三三	十四日
十一月	二〇〇	二五七	一七七	三三〇	十一日	一四二	九日
二月	二〇四	二七六	一七五	三五五	八日	一三七	十九日
三月	二二五	二七二	一七六	三三〇	五日	一三〇	廿九日
四月	二八〇	三三二	二四九	三〇二	二日	一三〇	廿六日
五月	二七〇	二二五	一三九	二五五	十二日	九六	七日
六月	二五一	二〇四	二二六	二四〇	十五日	九五	七七日
七月	二五七	三三一	一九七	二六六	十九日	五八	二日
八月	二六一	三三五	二一五	二六三	廿九日	三八	十一日
九月	二七一	三三三	二二三	三二七	廿二日	九〇	一日
十月	二八六	三三八	二四八	三三四	四日	二二八	廿八日

耕地の中央ともいふべきカンピナス停車場に於ける千九百年の氣温左の如し。

月	平均	高度平均	低度平均	非常高度	其日付	非常低度	其日付
十一月	一九五	二五六	一五六	三四〇	卅日	三六	卅日
十二月	二二五	二七二	一六八	三二八	二日	一五〇	十八日
一月	二二二	二七七	一七五	三二八	十一日	一五二	廿八日
二月	二二二	二八四	一六八	三三五	八日	一三三	十七日
三月	二二二	二八五	一七一	三三六	四日	一八一	十四日
四月	一九二	二三五	二四〇	三二八	三日	三二	廿五日
五月	二六〇	三三八	二九八	二七二	三日間	九三	十三日
六月	二六二	三三一	二〇一	二五八	四日	七二	十七日
七月	二七一	二四九	一〇四	二八二	十九日	八三	一日
八月	二七三	二五五	一一三	三〇一	廿五日	四〇	十日
九月	一九六	二七三	一一三	二二五	廿二日	一〇七	九日

移民の屋舎は煉瓦石造にして、二室のものあり三室のものあり、其以上のものあり。一戸の構造小なるは一コント(約我が七百圓)大なるは一コント半(約我が千五十圓)以上に及ぶ。窓の設備等まで注意行届けり。余が秘露にて見たる移民屋舎の粗末なるものとは雲泥の差あり。然れども今此屋舎に何等の設備を加へずして、日本移民を入らしめんか必らず不平の聲を聞かん。そは風俗習慣の異なるが爲めに於て此屋舎は悉く土間なり。歐洲移民は此土間に高大なる寢臺を備へて、之に起臥して不自由を感ぜざるも、若し日本移民をして此土間に入らしむ。彼等は畜生扱にせらるるとして不平を鳴さん。寢臺は移民の自辨なり。故に輕便なる寢臺を持ち來るあり、或は幾分の所得金あるまで土間に起臥するあり、或は賃金を前借して設備を爲すものあり。余は日本移民の來る場合には、一戸に付十尺平方以上の板を附與せんことを耕主に試談せしに何れも之を甘諾したり。此板さへあれば寢臺を作るも又は床を作るも各自の隨意たらん。日

本移民に取り尙一の不便を感ずるは便所の設けなき是れなり。亦是れ風俗習慣の異なるより起れるに外ならず。歐洲移民は便器を以て辨じ、後之を投棄し或は水流に投じ便所なきを不便とせず。且つ犬豚群居するを以て汚物の投棄するものあるも、直に之を片附けて悪臭を發するの恐れなし。日本移民の使用に就ては彼地の習慣に従はんか本邦の習慣に依らんか一考を要す。本邦の慣習に依るとするも便所の設備位は左程の難事にはあらずるべし。

余が珈琲耕地に就て日本移民輸出の目的を以て、調査したる要點は略上來述ぶるが如し。而し其實地の労働に關しては僅々數日の視察にて其詳かなるを知るべきにあらずるを思ひ。從者として伴ひ到れる一名の壯年者をレビロンプラト農事會社に托し、實地の労働に従事せしめ彼れをして労働の實況より歐洲移民の内情等までを研究せしむることゝなせり。今同壯年者の發せる第一回の報告を得たれば次に掲出す。次回以下の報告にして彼の地に渡航せんとする人々の参考ともなるべきものは隨時新聞紙の餘白を借りて世に公けにすべし。

サンパウロ州の労働實況

(一) 労働者の種類

珈琲園労働者は分ちて二種となす。一をカマラダと云ひ他をコロノと云ふ。カマラダとは日雇取の義にして、第一獨身者なり、第二一定の地に永住の目的なく東居西住好む所に任ず、第三其の労働は時間にして受負にあらず、第四労働期節に制限あり。コロノとは第一家庭を有す、第二一定の地に永住の豫定を有す、第三其の労働は受負にして時間にあらず、第四四季を通じて労働を有す。露骨なる批評を下さばカマダラには奴隸時代の面影として存す。以て伯國舊時代の労働界を想見するに足る。コロノに至りては始めて奴隸解放後に於ける農夫を見るべし。伯國新時代の労働界が如何に發展し來りたるか。詳細なる兩者の比較は頗る趣味ある問題なれども暫く他日に譲らん。

(二) 労働の種類及期節

労働者を異にするに従つて労働の種類を異にし來るは自然の結果なり。之れを分類す

れば、

カマラダの労働

- (一) 珈琲乾燥時に時ける雑多なる勞力……………自四月至九月
 - (二) 珈琲樹の伐枝……………自五月至十月
 - (三) 珈琲園の除草……………自十月至四月
 - コロノの勞働……………
 - (一) 珈琲實の摘取……………自四月至九月
 - (二) 珈琲袋運搬……………同 上
 - (三) 珈琲樹の施肥……………同 上
 - (四) 珈琲園の除草……………自十月至四月
- 勞働者に取りて好ましきことは、徒らに賃金の高くして期節の短からんよりは、假令低廉なる賃金を得るも四季を通じて都合よき勞働の需用にあり。蓋し勞力需用の延長と短縮とは勞働者の幸不幸を驗するメートルといふも過言にあらざるべし。カマラダ

の勞力需用の盛んなるは珈琲乾燥期にして、殆んど老幼を擧げて雇用せらるゝの觀ありと雖も、珈琲樹の伐枝は珈琲實の摘取の後を追ふて行ふものにして、時恰も珈琲乾燥期に當り、多少の技術を要すること、其の數極めて小數者に過ぎざることは、カマラダの數量と勞力延長に特記すべき増加を見ず。珈琲園の除草は珈琲乾燥の後を受けて其の勞働半年に渉るも、カマラダは僅かにコロノの勞力不足を補ふに過ぎず。即ち當耕地一千九百五年の統計に依れば珈琲樹總數百九十九萬七千三百四十六本の内コロノの受負外に屬するもの三萬五千七百四十九本とす。若し一回の除草に一人のカマラダが二千本平均を取扱ふとせば十三人にして悠々たる餘地を存す。當耕地の如き大耕地にして尙且然り。カマラダの大多數が珈琲乾燥期の終了と同時に鐵道新土工或は其の線路改修工事等の勞力に向つて走らざるべからず。恐らくは奔命に勞かるゝカマラダなきにしもあらず。又恐らくは珈琲乾燥期に温めたる懷中に小人閑居の時一文なしとなし、來るべき乾燥期を待ち焦がるゝものなきにしもあらず。故にカマラダの勞働は唯乾燥期にありといふの甚だ適切なることを感せざるを得ず。コロノの勞

働は第一珈琲實の摘取にあるは勿論、是れコロノの特權にしてカマラダの従事することを許さず。珈琲樹の施肥は雨天曇天等珈琲實を摘取し能はざる時に於て之れをなし。珈琲袋の運搬は摘取したる場所より乾燥場に通ずる鐵道線路附近に遠きは馬車を以て近きは肩にして運搬するものにして家族多きもの出で、之れに従事す。是等は皆季節を同うし、コロノの繁忙なる黄金時代を示して餘りありといふべし。珈琲樹の除草亦蔑視すべからざる收入あり。六ヶ月間に五回の除草をなし、その閑散時に小豆を蒔き玉蜀黍を植ゆる等、一年の食料を準備し、他の一半即ち珈琲實摘取に於て蓄財をなし得べく、殆んど四季を通じて勞力の回轉あり。是れコロノがカマラダよりも羨望せらるゝ所以なりとす。

(三) 労働時間と休暇

カマラダは午前四時半高臺上に建てる鐘の亂打によりて目を醒し、更に五時二十五分第二の鐘聲によりて起き上り。自己の番號を掛け置く所に走りて、其の係員より之れを受取り。五時三十分第三の打鐘を聞きて労働に従事せざるべからず。午前九時に

機械工場の汽笛鳴りて朝飯の爲め三十分間の休みあり。午後三時に晝飯の爲めに三十分間の休みあること朝飯の時に同じ。斯くて午後六時三十分前後に労働の終るを常とし、一日を通じて少くとも十二時間の労働をなさざるべからず。コロノは之れに反して労働時間に制限を有せず。然れども多くは五時半頃監督のラッパに依りて起き上り、六時より徐々として耕地に出で、夕五時半頃再び監督のラッパに依りて歸耕するを例とす。其の日雇に屬する施肥の如きも至つて莫大にして午前六時より午後六時に終るを規定とす。而してカマラダには日雇なく、雨天と雖も尙労働せざるべからず。事情に通せざる人或は一日の賃金さへ投げ出せば安息を取る自由なるべしと速断するならんと雖も、茲に一箇の看過すべからざる罰則あり。病氣或は事情已むを得ざる場合の外、労働を缺ぐものは一日二ミルを徴收せらる。カマラダが水車の轉々として止まざるが如く、暗きより暗きへ機械の如き労働に服しつゝあるの狀態知するに足るべし。コロノは土曜は午後三時まで労働し日曜は全く休息し、雨天亦労働に従事せず。悠々たる閑日月、宛として故園の百姓を見るが如き感あり。試みに本年珈琲摘取時に

於けるコロノが労働日数を示して参考に供せんか。

五月 尤も労働したる部落……………二十二日
尤も労働せざる部落……………十七日

六月 同 上……………十六日
同 上……………十日

それ斯くの如し、その不幸、自由不自由、彼れは峨々たる高山を走るが如く、是れは坦々たる平野を行くが如し。

(四) 収入 衣食費 貯金高

カマラダの賃金は珈琲乾燥時の六ヶ月間は一日二ミルレースにして他の除草時六ヶ月間は一日二ミルレース乃至二ミルレース半とす。假りに珈琲乾燥期節を百六十日とせば四百八十八ミルレースを得べく、他の二百餘日の除草時を一日二ミルレースとせば四百ミルレースとなり、合計八百八十八ミルレース餘の収入を得べしと雖も、是れ一日の休息なく、病臥なき計算なることを忘るべからず。探聞する所に依れば珈琲乾燥時は

豫定の所得を得るも、他の除草時は恰かも雨季に際會し、大雨沛然として至れば走りて寄宿所に歸り、雨歇めば又出で、働くなど一日の労働を満足になすこと少く、半日或は三分の一四分の一だもなさざることあり。(除草時は日曜日は休息す)一ヶ月四十ミルレース前後の賃金を得るに過ぎずといふ。之れに依りて計算すれば一ヶ月七百五十ミルレースを尤も勤勉なるカマラダの確定したる所得とす。然らば衣食に費し得て餘す所幾何なるべきか。

カマラダの食料は甚だ單純なり。曰く一日二ミルレース、是れ其の賄に仕拂ふ金高にして、其の或者はコロノの知人の家に食料を取るものあり。是れ亦少きも一ヶ月二十ミルレースを下らず。普通二十五ミルレースなりといふ。其の少數はパン、干魚などを買ふて自ら辨するものなきにあらざるも、斯くの如きことは尋常人の成し得る所にあらず。カマラダの食料費を一ヶ月三百六十五ミルレースと見るを最も確實なる計算といふべし。而して其の衣料に費す所の金高は一ヶ月五十ミルレース以内、少きは三十ミルレース以内と見ることを得べし。一見餘りに少額なるが如きも、余は其

の費す所更に少きことを信するものにして、左に興味ある説明をなすべし。
カマラダの多くは是れ裸一貫の徒なり。余は伊太利少年(十七八歳位)が風邪に打臥し
たる寢床を見舞たることあり。驚くべし病人なる彼れは労働服そのまゝいと短き珈琲
袋に何物かつめ込みたるもの、上に横り居たり。四邊を見るに同じく數人の風邪を病
めるものを見たるが、彼の少年と異なる所なく、汚れたるシャツ一枚にて腹這ひ居た
り。斯くの如くカマラダの多くは一室に蠢爾として労働着のまゝ、寢轉び何の着換をも
所有せず。甚しきに至りては上着を持たざる者も少からず。曉寒き冬と雨天とにツ
ルク袋を肩に掛けて平然たり。杖一本に一切の七ツ道具を引擔ぎて水草を追ふ牧者の
如く、甲耕地より乙珈琲園に轉徒する誠に易々として寢返りも音ならざる状況なれば、
彼等が衣料に費す所、吾人が意料の外にありといふべし。之れを聞く者或はカマラダ
の所得を疑ふあらんか、是れ尤も自然なる質問にして亦尤も誤まれる觀察なり。余が
現在寢床を置きつゝある所は大工、鍛冶、或は獨身者の監督など何れも一ヶ月百ミル
レース以上二百十ミルレースまでの所得ある者のみなるも、一箇の行李だも所持せざ

るものあり、ツルクの粗末なる袋に玉蜀黍の皮をつめたる寢床の上に安眠しつゝ、毫も
怪しむ所なし。余は試みにその労働年數を問へば曰く十一年、本國への送金高を問へ
ば十コントを少しく越えたりと、(一コントハ日本の七百圓)伊太利人の節儉は曾て聞
く所なりしが、かくも赤裸々にして貯財をなし、之れを母國に送金しつゝありとは常
識を以て解すべからず。支那人の思想と相去る五十歩百歩なりといふべし。勿論或者
は酒色に費す所少からざるべしと雖も、何處も同じかゝる徒輩に限り反て着換の一着
も有し居り、舉作、風采、躍如として遊客連中たるを察知し得べし。
斯くて計算せられたるカマラダの純然たる餘金は三百ミルレースより四百五十ミルレ
ースの間にありといふべし。酒煙草等の費用はその人々の費す所區々、好む所に任せ
て控除し去り、各ポケットに收むべし。
コロノの収入は複雑にして、カマラダの如く見易からざるも、大體に於て誤謬なき觀
察を下し得る必らずしも困難にあらず。一般の賃金率を擧ぐれば、

一、珈琲實摘取 ニアルケリスに付……………五十錢

一、珈琲樹の施肥 一日……………〔大人二ミル
 小人一ミル〕
 一、珈琲袋の運搬 一日……………二ミル
 一、珈琲樹の除草 千本に付……………七十ミル
 之れに依りて夫婦二人より成立せるコロノが一年の所得果して如何。余は諸種の材料に依り、七百ミルレースより千ミルレースの間にあることを信じて疑はず。之れを労働の種別に分てば、

一、珈琲實摘取……………二百五十ミル乃至三百五十ミル
 一、珈琲樹の除草……………二百ミル乃至三百ミル
 一、雑多なる勞役の收入……………五十ミル乃至百ミル
 一、玉蜀黍、小豆、雞、豚等の副産物に依る收入……………二百ミル乃至二百五十ミル
 勿論コロノの勤怠は其の收入を轉倒して或は三百ミルレースたり四百ミルレースたることは是れ多言を要せず。當耕地タンケに於ける大小五人より成立せるアンダラといふ一家族の五月中に於ける珈琲實摘取高二百五十アルケリスなるに、其の家族数を同う

せるアンダラなるコロノは百九十四アルケリスを摘取したるに過ぎず、テベレサに於ける六人より成立せる一家族は十七日間の労働四百五十アルケリスを摘取し、同じく六人より成立せる一家族は十六日間労働五百三十アルケリスを摘取したり。其の甚しき一例を擧ぐればジョアグインなる小兒三人大人四人より成立せる一家族の如き一日四十三アルケリスを摘取したり。セバステアノなるコロノは一人にして(妻はあれども働かずといふ)十二日間百二十六アルケリスを摘取し、一日よく十二アルケリスを摘取したり。斯くの如く一概に斷言すること能はずと雖ども、珈琲實の摘取より得る金額を二百五十ミルレースとなすは、深く其の底をたゞきたる音響なりといふべし。何となれば事實は何よりの證人なればなり。當耕地本年五月中珈琲實摘取平均高を各部落に就て見るに、

部落の名	コロノ平均摘取高	同上所得金額
テベレサ	二四二アルケリス	一二一、〇〇〇
モンケペーロ	一三四	六七、〇〇〇

モンテパナナーツ	二四六	七三、〇〇〇
サアンタンドーニョ	二二六	一一三、〇〇〇
サントマリア	六〇〇	三〇〇、〇〇〇
シンボラツ	二二七	一一八、五〇〇

是れ一ヶ月に於ける一コロノの平均所得高なり。尤も驚くべきはサントマリアにして一ヶ月間の摘取已に三百ミルレースを得たり。モンテペーロはスペイン人とニグロ人ととの部落にして、當耕地第一の怠惰者の集合地たり。五十アルケリス以下を摘取せるコロノ九家族を有しながら尙優に一ヶ月六十七ミルレース強の平均高を得たるが如き、珈琲實摘取終了期の九月下旬に於ける總計が豫定の二百五十ミルレースに達すべきは餘りに明かなる事實に屬す。

珈琲樹の除草は當耕地の臺帳に依りて調査するの便宜を得たるが、その如何なる家族と雖も三千本より少からざる珈琲樹を受持居るもの、如し。左に數家族の取數と家族數とを摘記せんに、

珈琲樹受持高	所得額	家族數	家族年齢
一〇、〇九〇	七七三、〇〇〇	八人	四十七、四十八、二十、十七
五、九九一	四一九、三七〇	九人	四十二、三十八、十六、十
三、一二七	二二八、八九〇	六人	三十五、三十二、八、二、
三、七一四	二五九、九八〇	八人	三十六、三十六、十一、九
三、六八九	二五八、一三〇	二人	三十一、三十
六、九四三	四八七、〇〇〇	二人	二十九、二十二
六、三二〇	四四一、七〇〇	二人	四十八、二十
七、九六七	五五七、六九〇	五人	六十一、三十九、十五、十

かくの如く區々にして、或者は二人の家族にして能く七千本に近き樹數を受持てるものあり、或者は八人の家族にして三千七百本に過ぎざるものあり。家族の組織即ち老幼の多少及其の勤怠に依り雲泥の差異を生じ來ると雖も、如何なる家族も三千本より

下らざる樹敷を取扱ひつゝあるは確然たる事實なり。故に一家族の除草より得る賃金を二百ミルレース以上となすの正當なることを知り得べし。雑多なる勞役に依る所得は部落に依りて甚しき幸不幸あり。乾燥場所在地なるシンボラツの如きは百ミルレース以下の所得をなすもの殆んどなしと雖も、遠く去りてタンケ、モンテペーロ、サンタントーニヨの如き五十ミルレース以下なるものもなきにあらず。目下賃金支拂期に際し、コロノ對會社の貸借關係を記載したる會計簿を各コロノより提出せられつゝあるに依り、試みに手當り次第數回分の所得を掲げて余が斷案の徒爾ならざるを示さん。

移民部落名	家族成立數		雑多なる勞役の所得金額
	十五歳以上	十五歳以下	
シンボラツ	四人	三人	三〇一、五〇〇
同	三人	二人	二〇八、〇〇〇
モンテバラナーツ	二人	一人	八八、〇〇〇
タンケ	三人	一人	五〇、〇一〇

然らば鶏、豚、小豆、玉蜀黍等の副産物に依る所得幾何なるべきか。余の知り得たる所に依れば是れコロノに取て隠れたる寶庫にして存外多大なるべしと信ず、サンシモンの某ファセンダ(耕地)に監督を務めたりし人にして數月前當耕地に備はれ來りたる某氏の談に依れば其收入は耕主より得る所得と平均し、夫婦者二人の一家族が得べき金額は五百ミルレースを算することを得べしと、之れと反對なる一説に依ればベニヒツシ(珈琲精選所)に働きたつゝあるコロノにして二百五十ミルレースに過ぎずといふ。何れにもせよ好箇の收入たるを失はず。

テベレサ	四人	三人	一六五、〇〇〇
マト	六人	一人	一一人、四四〇
トツカ	四人	二人	〇二〇、〇〇〇
モンテペーロ	二人	二人	四四、〇〇〇

全體の所得に至りては一家族一コント(約我七百圓)前後となすの説は何人も異議なき

もの、如く、収入少きを嘆ずる彼のベニヒツシのコロノも亦其の然ることを語りたるに依りても知らるべし。然れどもかく一言し去るは餘りに漠然たるの感なきにわらず。余は余の及ぶ丈け見聞を廣くして確實ならしめんことを務めたるが、數名の監督者相集りたる席上、聞き得たる所、或はコロノの所得を知るに足らんか。

夫婦二人より成立せる家族一ケ年の所得

- 一、珈琲園除草三千本……………二一〇、〇〇〇
- 一、珈琲實摘取……………二〇〇、〇〇〇
- 一、玉蜀黍二車……………(一車五十ミル)……………一〇〇、〇〇〇
- 一、小豆五袋……………(一袋十ミル)……………五〇、〇〇〇
- 一、豚三疋……………(一疋四十ミル)……………一二〇、〇〇〇
- 一、鶏二十羽……………(一羽一ミル乃至一ミル五十錢)……………二〇、〇〇〇
- 一、鶏卵二十ダトス……………(一ダトス一ミル)……………二〇、〇〇〇
- 一、雑多なる勞役の收入……………五〇、〇〇〇

計

八七〇、〇〇〇

小豆と玉蜀黍とは食料に供して餘りたる分を計上せるに外ならず。豚は其の大なるものに至りては一疋百ミルに賣ることを得べく、鶏は五ヶ月を経過すれば一ミルに賣ることを得べしといふ。移民村唯一の愛嬌兒を以て目すべき山羊は乳を絞り或は屠りて食料に供し、多くは賣ることなしといふ。

以上研究の結果を総合し來れば夫婦二人より成立せるコロノが一年の収入を豫想することを得べく、其の千ミルに内外にあることは最早争ふべからざる事實なりといふべし。

更に一步を進めて衣食の費用を觀察せざるべからず。余は諸種の見聞に依りて一家族一年の衣食費を三百五十ミルと見るの事實に近きを信せざるを得ず。一監督余に語りて曰く衣料に費す所百ミルを以て足り、食料に支拂ふ所二百ミルにより三百ミルにありと。又當事務所の野菜畠及庭園の手入を成し居るコロノの談に依れば彼れは小豆、玉蜀黍の末に至るまで一切買求むるも妻と小兒二人の家

族にて衣食費用總て一ケ年五百ミルンにて充分なりといふ。外に余が實見したる一例を語らんに當耕地の土工に従事しつゝある労働者あり（日本の土方にして乾燥場の労働者にあらず一年中働さつゝあり）彼等は數人一團となりて自炊しつゝあり。その食物は干魚あり、羊肉あり、野菜あり、米と小豆とあり、珈琲は好むに任せて飲む等、労働者としては美食にして且大食をなしつゝあるも尙一ケ月二十五ミルンを出でずと。

衣料品資料

余は生活資料を一層明白ならしめん爲め、衣食料品の物價を掲出すべし。

品名	代價	品名	代價
木綿シャツ	二、〇〇〇	靴一足	五、〇〇〇
同上ツボン下	二、〇〇〇	靴下一足	一、〇〇〇
同洋服一着(男)	一五、〇〇〇	中折帽子	五、〇〇〇
同上(女)	一五、〇〇〇	麥藁帽子	一、〇〇〇

シャロー

四、〇〇〇

頭に巻くハンカチ一、〇〇〇

(女の頭に被るものにして日本の更紗形付の風呂敷の如きもの)

(子クタイ代用にして之れも更紗形付の小風呂敷の如きもの)

食料費其他資料(備考に記載したる日数は凡て夫婦二人に對する計算なり)

品名	數量	依價	備考
米	一袋(六キロ)	二五、〇〇〇	六十キロは日本の十七貫目位にして一ケ年二袋にて充分なり
マカロニ	一カシヤ	四、五〇〇	日本のうどんにして一ケ月間の食料五ケ月間
砂糖	十五キロ	四、五〇〇	
鹽	二キロ	一、五〇〇	三ケ月間
珈琲	一キロ	一、〇〇〇	一ケ月間
干魚	三キロ	三、〇〇〇	一ケ月間
ビンガ	一樽	二〇、〇〇〇	半年間
石油	一罐	八、〇〇〇	一ケ年

煙草	半キロ	一、〇〇〇	一ヶ月
蠟燭	五丁	一、〇〇〇	
マツチ	十箇	八〇〇	
洗濯石鹼	一箇	一〇〇	

是れ數人のコロノより探聞したる所にして殆んど相一致す。數量は袋入にして多くコロノが一度に買求めたる量に依れるなり。ピングアの如きは各人の酒量に依りて異なるはいふまでもなく、甚しきは百ミルレースにして足らぬものあり、七十ミル八十ミル順次あるべしと雖ども是れ普通の酒量を示したるものなり。

マロノが食卓上如何なる美味を以て満たさるゝか。粗食に慣れたる日本人より見れば寧ろ満腹の御馳走たるの觀あり。朝六時珈琲にパン。午前九時飯、小豆汁、干魚、又は肉類、パン。十二時珈琲。午後三時マカロニ、小豆、干魚か肉類、パン。午後六時珈琲パン是れなり。時に據りサラダを飾り、ソップを盛ることある勿論なり。然れ

ども節儉なるコロノに至りては干魚、肉類を食ふこと極めて稀にして唯パンと小豆と、米とマカロニとに過ぎざるもの多きも尙且日本の農夫が飯に大根を混じ、黍粟等をふり掛くるに比し數等の上にあると云ふべし。觀察頗る枝葉に亘りたるか如きも亦唯その詳かならんことを欲すればなり。

衣料は甚だ簡單にして粗末千萬なることコロノもカマラダも伯仲の間に在り。平日は男女共裸足にして僅かに日曜に限り靴を穿つものあるを見るのみ。靴下の如きはハイカラ先生にあらすんば恐らくは年中足に着けざるべし。洋服も亦然り、二六時中汚れて赤くなりたるシャツとツボンとを着たるのみにて敢て意とせず。故に衣料に費す所の少きは親しく伯國を見たるものにあらすんば信する能はざる程なり。

かくて衣食の費用三百ミルレース内外を收入より除去すれば夫婦者二人の家庭が一年に残し得べき金高。多きは七百ミルレース少きも四百ミルレースに下ることなきを知り得べし。如何なる家族と雖も甚しき飲酒、甚しき怠惰等にあらすんば一年五百ミルレースを蓄財し得べしとはコロノ一般の許す所なりとす。

(五) 餘事

余は尤も簡短に日本移民の入伯に就て言ふ所あらんとす。是れ一は本稿の結論たればなり。カマラダの労働は時間の長さと休息なき二點の甚だ慘酷なるを見ると雖ども、力役を要すること比較的少く外、觀より望見したる程困難にわらず。現に十七八歳の伊太利の少年の之れに従事しつゝあるに依りて知らる。然れども由來日本人は飽き易き性質にして短時間の労働に長じ、一時的困難は能く忍ぶべしと雖ども、朝暮星月と戴て労働を爲し、而かも一日の休息を得ざる如きは良結果を收むる決して容易の業にわらず。日本移民が常に不評判を取り、苦情を起すはその労働の困難といふよりは、寧ろ時間の長きにあり。北米然り、秘露然り、カマラダの渡來の良否は經驗に乏しき余の到底明言する能はざる所にして充分研究に價することを注意し置かんのみ。之れに反してコロノとして日本人の入伯に至りては余は雙手を擧げて一日も早く渡來せんことを希望せざるを得ず。彼れには自由あり休息あり。収入の豊富なる亦カマラダの比にわらず。而して特に余をして痛切なる念を湧かさしむるは現在に於けるコ

ロノの状態にあり。ニグロ人は食ふてさへ居れば満足なる人種なり。ブラジル人とスペイン人亦悠々閑々としてペンガの香に酔つゝあり。伊太利人は其の勤勉を稱せられつゝある移民に屬するも余を以て見れば尙甚だ笑ふに堪えたる労働振なり。彼等が一樣にカマラダの勞役を厭ひ偶々従事するものあるも其の長閑さ加減一見して判別せらる。彼等は収入を増加すべき餘地を持ちながら今日は何、明日は何と徒らに休息すべき口實を考へつゝ、一家族に與へられたる反餘の畠地は小豆と玉蜀黍とを收穫したる外雜草の茫々たるに任かして顧る所なし。若し一度日本農民の來りて休時を利用して額面大の土地を耕すに馴れたるその手を下さば陸稻を蒔く可なり野菜を作る可なり。耕地に近き町民はこれが好需用地として高價を拂ふに躊躇せざるべきなり。案ずるに歐洲人は時間的の労働に長じ、日本人は受負的の仕事を得意とす。知るべし歐洲人がカマラダとしての勤勞彼れが如く、コロノとしての惰眠を貪ること是の如きを。カマラダの労働は歐人の手に任すべし。コロノの仕事は取りて日本人の掌中に握るべし。余はコロノの渡來が伯國人に歡迎せられ必らず成功すべしことを確信して疑はず。

最後に一言す。近來日本人の渡外熱盛んなるにつれ、第一に感染し易きは學生及多少事理を解する讀書生とす。是等の徒輩か空中樓閣を夢想して伯國に來るの危険是れなり。今日の時代は最早好奇心と冒險心との成功すべき餘地を殘さざるなり。伯國に於ける商業地はるざ知らず。農業地方の勞働は純然たる百性的にして北米の如く半ば以上讀書生的意味を持たず。且四邊の事情甚だしき失望と落膽の聲はその勞働の困難と共に大濤の襲來するが如きものあらん。徒らに成算なき輕舉を爲す勿れ。特に警告す。

サントス港

左なくとも余はサントス港を遊覽せんものと思ひ居りしに、一日サントスの豪商ジュンケイラ氏來りて、余等の爲めに遊覽の案内を爲さんことを談せらる。余等其厚意に任せて往て視る。サントスとサンパウロの間汽車時間約二時間なるが、其内一時間は急勾配の坂路にしてケーブルカーを用ゆ。元來此間に二線路あり、平日は上の一線

のみを運轉し、珈琲輸出期には上下兩線を運轉すといふ。兩線とも山腹の崑石を開鑿して路を作る所謂鬼斧神劃ともいふべく其工事驚くの外なし數多の墜道あり其間風光の明媚畫も亦及ぶ能はざるものありケーブルカーを下り盡くせば即ちサントスの灣底にして非常なる濕地を通じて鐵道を架せり。而してサントスの埠頭は長約二哩、如何なる巨船も横附にするを得べし。且つ一時に數十艘入港するも妨げなし。倉庫及び荷物積卸の機械等完備せざるなし。其詳細は故杉村公使の報告(明治卅八年十一月廿八日發行通商彙纂第六十九號掲載)に詳を盡くせるを以て茲に又贅せず。

ジュンケイラ氏は珈琲輸出商にして、兼て又珈琲耕主たり、三十萬本の珈琲園二ヶ所を有せり。彼れは耕作に由りて利を得、更に輸出商として利を收め、富巨萬を有し耕地の作物に對して前貸を爲し珈琲の買收に便す。サントスの商店には數多の店員を使用す。書記長の月俸八百ミルレオ最下級の月俸も三百ミルレオを下らずといふ。主人の曰く、日本商家生れの小僧十四五歳なるもの雇ひたし言葉の自由になる上は月俸三百ミルレオを與ふべし、又珈琲園にても二三の日本人を使用したし云々。

此外ドクトルモレイロ氏の如き、又は汽車中にて會せし幾多の耕主は日本人を試用したしと申出づるもの數名の多きに及びり。日本移民の前途も亦多望ならずや。

余等一日農務次官の案内にて移民收容所を視たるも、收容所の詳細は故杉村公使の報告(明治廿八年十一月廿八日發行通商彙纂第六十九號掲載)中にあるを以て省略す。唯余は視察の當日は其二日前に西班牙の移民三千人到着し頗る多忙なりしが、悉皆契約濟となりて一人を餘さず。各其勞働地に向つて乗車しつゝあり。移民需要の盛んなる此一事を以ても推想するに餘りあらん。

珈琲王

サンパウロ州に「珈琲王」と呼ばるゝ人あり、獨逸人シユミツツ氏は是れなり。彼れは今を距る十五年前に一移民として渡來し爾來日夜勤勉倦まず。今日は已に二百萬本珈琲樹の園主として、其聲望隆々、伯國中誰れ一人としてシユミツツの名を知らざるものなきが如し。彼れは自園の珈琲のみならず他人の收穫をも買入れて之れを輸出する

ものと見え、年々彼れの賣出す珈琲は實に八十萬アロバスにして、其價格五百萬ミルレースに上るといふ。然るに我が公使館雇員モンテイロ氏は彼のシユミツツ氏が十餘年前には家族と共に土間に起臥せるを見たりと語れり。十餘年前の土間移民、今は年に四百萬圓の珈琲を賣出す所の珈琲王たらんとは、以てサンパウロに於ける珈琲事業の如何に有利有望なるかを知るに足らん。

サントス氏の農場貸付談

ペツロボリスよりミナスに通ずる街道に當り、ミナスに接續して宏大なる一耕地あり、珈琲樹三十萬本を有す。之に相應する珈琲乾燥場の設備あり、尙他に砂糖栽培地及び製糖場の設けあり。是れ皆或る三名の合名會社の所有に屬す。其業務擔當者サントス氏といふは六十歳餘の老人なり。余此老人とペツロボリスの旅館に邂逅す。彼れ語つて曰く、吾れ年既に老ひ、加ふるに病魔に侵さる、最早繁劇の業務に當るを好まず。死後財産を譲るの子女なく、唯一人の姪あるのみ、此上財産を増大するの必要なし。

願くは日本人の來りて我が耕地を耕す者ならば、相當の契約をなして之に一任せん。余は借地料として年々珈琲收穫の半額を得ば、其他は砂糖なり副産物なり、悉く其日本人の隨意に任せん尙未墾地の開拓や珈琲樹の増植等亦隨意たるべし。今より其契約を爲すも差支なし、希望の條件もあらば實地檢分の上協定せんことを望む云々。余は之に對し滯伯中實地を檢分せんことを約せしも、終に機を得ずして之を果さざりしは頗る遺憾とする所なり。

余がサンパウロにて實地檢分したる所を以て推定するに、前述の珈琲三十萬本の收穫は中の下としても十萬圓を下らざるべし。此半額即ち五萬圓を得るに百戸にて之を耕作するものとせば一戸五百圓の收入となる。此外自作物の收入は食料に供して餘りあれば、五百圓の所得は全く純益と見るも不可なし。況んや實際の所三十萬本の耕作には六七十戸の家族移民にて足るに於てをや。斯くの如き有利なるものは本邦の農家には蓋し類例なき所ならん。殊に珈琲乾燥場の如き製糖場の如き、新に之を設備せんには數十萬圓を抛たざるべからず。今一金を投せずして自由に之を使用するを得、何

等の便利ど。且つ食料の如きも之を用意するを要せず。耕地現狀の儘之を貸附すと云へば、殆んど空手旅費を自辨して渡航すれば足る。然れども今直ちに之を實行せんと欲せば、北米を経て行くも歐洲を経て往くも、旅費のみにて尙一人二百餘圓を要す。百夫婦として尙六萬圓の金を要す。遠からずして日本移民の渡航する場合となり本邦より南米に直航するとせば、前述金額の三分の一にて渡航するを得ん。余が強いてサントス氏の望みに應じて檢分に行かざりしも、亦是等の事情あるが爲めなり。

渡航者に對する警告

昨年故杉村伯國駐劄辨理公使が發せる伯國移民に關する報告の世に公けにせられて以來。本邦人の彼の地の勞働界に注目するもの頗る多きを加へ。中には何等の交渉をも試みずして、單に同公使の報告書を根據として、渡航を企つる人さへあるの勢ひなれば、余が伯國にて遭遇せし一實話を掲げて、南米渡航企望者に警告せんとす。

余がペソポリス出發前即ち六月廿九日と覺ゆ。伯國首府リヨデジャチイロの一汽

船會社は我が公使館に書を寄せて曰く「貴國人三宅榮次郎なる者佛國マルセイユより到着せり。彼れはマルセイユ乗船の際盜難にかゝり一錢を有せず。殊に日本語の外、何國の言葉をも解せず。願くば日本語を解する者一人至急派遣せられよ云々」我が公使館は右の照會に對して未だ答ふる間もながりしに、翌三十日の朝彼の三宅なる者は突然公使館に來れり。而して彼れは語つて曰く「自分は京都市大黒町五條上ル大黒湯の所有者にして年齢三十四嘗つて遊佚に耽り母の勸氣に遇ひ、大黒湯を譲られて別家し僅かに湯の賃賃を以て生計の資となせり。遊佚の夢一たび醒むるや、夫に奮發して家道を興さんと決心せし折柄。偶々大阪朝日新聞紙に杉村辦理公使の報告を登載せるを見、伯國に渡航して勞働に従事せば家道を興すの資金を得るも容易なるべし好機逸すべからずと思ひ。終に本年二月九日を以て旅行免狀を得、四月四日横濱發の備後丸に便乗し佛國マルセイユに着し、彼の地に留まるること十日。かくて六月二日便船を求めてサントス港に向ひ同地を出發せり。然るにマルセイユ滞在中。一日買物を爲さんとて市街を徘徊する中。掏兒の爲めに紙入を奪はれ

一文なしとなれり。去れども幸にして乗船切符は已に購入後なりしを以て、指環等を賣却して小遣錢を作り乗船したるに、船中にては他の乗客と區別して頗る厚遇せられ。船員中余が盜難にかゝりたる事實を知る人あり。甲乙語り傳へて或は煙草を惠むあり或は金錢を與ふるあり。意外なる同情を得て船中何不自由なく二十日餘を経過し、六月二十四日を以て船はサントス港に着したり云々」而して其以後の狀況は彼れが語る所に依れば、彼れはサントス港に着するや、杉村辦理公使の報告に所謂五磅乃至六磅の渡航費を受取らんと豫期せしに、船員は彼れを遮り止めて上陸するを許さず。皆手を振りて「此處ベケおります」と云ひ、其他は何をいふやら解する能はず更に要領を得ず。已むなく船中に止まれば、船は二十七日錨を拔て翌二十八日午後リヨ、デ、ジャチイロに着し。翌二十九日夕に至り、彼れの荷物は小蒸汽船に移され彼れ亦之れに移さる。彼れは船員の爲すがまゝに一任したれば、上陸後直ちに旅館に投せられ。三十日朝早天汽船會社員再び旅館に來り、彼れの手荷物を携へ彼れを誘ふて旅館を辭し。汽船及び汽車の切符を彼れに與へて乗船せしめたる後

會社員は歸り去れりといふ。

是に由て見ればサントスよりリヨ、デ、ジャチイロを経てペツロポリスなる我が公使館に至るまでの間、旅館の止宿料汽船汽車賃解賃等まで、悉皆汽船會社の好意にて支出したるものにて其金額も亦少からざるものと想はる。彼れが宿泊させられたる旅館には余も歸途の折り立寄りたるに、一夜二十ミル以下の室は宿泊に堪へざるもの、如く見えたり。而して旅館の支配人は二三日前日本カピテン宿泊したりと語れるにて、汽船會社が如何に彼れを待遇せしかを推想するに足る。然れども斯る待遇は稀有の事柄にして決して之れを平常に豫期し得べきにわらず。今試みに三宅なる者が一文銭なしにて他に何等好意の助力もなくサントスに上陸したりと假想せば如何。旅館に宿泊せんか、一夜十ミル以上の宿料を要す。サン、パウロに至らんか、少くも五ミルの汽車賃を要す。一二時間の汽車賃と雖ども我が國の低廉なるが如くならず。是に於て進退谷りて天涯不知案内の境土に啞の乞丐となる外あるべからず。彼の移民收容所に入り得べきは獨り規程に據る移民にして歐洲人ならざるべからず。日本移民に對し

ては未だ何等保護の方法わらず。故に何等の交渉も手續をも得ず。單に公使の報告のみを楯として空手にして南米に渡航する者は、萬里不測の異境に不自由なる乞丐となるの覺悟なかるべからず。

右の三宅なる者は余が彼の地出發の際までは公使館にて三浦通譯官の厄介物たりき。伯國人にして智利の名譽領事たるグレース(現時日本名譽領事を兼ね)と云ふ人あり。此人は日本の名譽領事たらんとする希望を抱き日本人に對しては好意を有するものなれば、三浦通譯官は此人に對して三宅の奉公口を周旋せんことを頼みたるに、彼れは一二箇所聞合せたるも、小僧などは奉公口なきにわらざるも、三十歳以上のものは望手なしとて断れりといふ。余がサン、パウロ巡遊中日本人を雇ひたしといふもの數名あり。然れども此日本人希望者の使用地まではペツロポリスより二晝夜を費さなければ到る能はず。其旅費數十圓を要す一文なしの人間輸送の方便なきを奈何(三宅は米國大使館に奉公せしめたる由三浦通譯官の近信に見ゆ)元來公使館の所在地ペツロポリスと右の耕地との交通往復には十日を要し、時に或は郵便不達の虞れありて不便少からず。

ベツロボリスは本邦にて云は、函根又は日光ともいふべき多忙世界を離れたる幽閑の地にあるを以て、我が渡航者に對しては便宜を與ふるに容易ならず。又公使館を外にしてはサン、パウロに本邦人太平善太郎氏(農商務省實業練習生)あるに過ぎず。之れを要するに今日の所にては空手にて伯國に渡航するは頗る冒險に屬するを以て大に警戒を要す。此事たる獨り伯國に止まらず亞兒然丁、智利亦然り。南米各地に於ける日本移民の立脚地は未だ鞏固ならず、隨つて新來の勞働者に便宜を與ふるの場合に至らず。余がサンパウロ市に於て日本移民の件に就き協商したるはサンパウロ移民及び殖民會社長ベントグエノ氏(前内務大臣)にして其條件はサンパウロ州政府が歐洲移民に對して與ふる保護は凡て日本移民にも均しく之を附與し且つ歐洲移民の獨身ものには其旅費を支給せざるの規程なれども日本移民は獨身のものと雖ども家族移民に均しく之を支給すること及び其金額は歐洲移民より多額なること等にありて双方の意思全く相一致するに至りたれば州政府亦此協商の條款に同意し本年の議會に特別法案を提出し且つ豫算に於て日本移民に支給すべき旅費額を請求し其通過を待て日本移民輸入を開始

することなれり而して今や現にサンパウロ議會は開會中にて近信に依れば此十月十一日を以て前述の特別法案は議會に提出せられたる由其議事の經過如何は未だ之を知るに由なきも數日の後には報道あるべきを信す。前途特別法案通過の後と雖ども本邦人は何時彼の國に渡航するも歐洲移民同等の待遇を受け得べきものと早合點すべからず此事たる歐洲移民にありても同様に同國に於ける規程の保護を受けんと欲せば必らず之に必要な手續を要するを以て各人箇々隨意に渡航するが如きは右の保護に浴することを得ざるは勿論なり故に本邦人に於てサンパウロ州に移民たらんとする企望者は右特別法案通過の上は移民取扱人の手を経るか否らざれば他の方法に依り彼の國政府に何月何日何名の移民本國を出發し何月何日彼國に到着すべき旨を報じ豫しめ其承諾の報を得て然る後渡航するにあらざれば特別法に定むる待遇を受くること能はざるなり因て渡航企望者の爲めに特に此事を明言して注意を促がすとす。

一 大 恨 事

余が伯國滯留中起りたる一大恨事は杉村辯理公使の卒去なりとす。余は素と公使と深交あるにあらざるも伯國に到るや、一見舊知の如く殊に親交を得て、晝食又は夜食を共にせざるは幾んど稀れなる程なりき。余がベツロポリスに在るの日は常に公使と會談するを以て無上の快事となしたり。公使亦然りしか、其發病の前二日即ち五月十一日の夜の如き、余が辭し去らんとするに方り、今三十分談するも可ならんとて余を引留られたりき、此十一日には余は三浦通譯官と共に郊外に散策したるに、路傍廠の野生するものあるを見る、乃ち之を採りて歸宿す、其大なるものは蝙蝠傘大に及べり。翌日此廠を味噌汁となして試みたるに毫も本邦の産に異ならず。依て翌十三日の日曜には、公使と共に廠探りに出でんことを約し、夜九時歸宿したり。

十三日午前九時余は書類の認めものあり、公使館の一室にて認めんと其材料を携帶し、晝食後は公使と共に廠狩りに出掛けんものと、例の如く公使館に到れば、門前に馬車

あり見知らぬ紳士之に乗りて去る。館内に入れば三浦通譯官室に在らず。館僕出で、語らく「今朝公使急病口少し歪み涎出づ、夫人は中風ならんとて痛心中なり云々。余中風に就て不吉の經驗あり、中風の一語を聞いて膚に粟を生ずるの感あり。已にして三浦通譯官階上より降り來る。曰く公使小恙あれども左したることにあらず、醫師も中風とまでは診斷せず、明朝再診を約して去れり。今現に家族と談話中にて應對分明なり、深く意とする勿れと。更に又館の雇員モンテイロ氏は余に告げて曰く、醫師明朝來診或は緩に失せんか、今夜再診せしめては如何。是れ父(氏の父)の意見なり敢て告ぐと。三浦通譯余が意見を問ふ、余は無論其然るべきを答ふ。是に於て通譯官はモンテイロ氏に命じて其旨を醫師に傳へしむ。此時余は全身何となく氣力を失ひ顔色蒼白。乃ち辭し去つて宿に歸り、殆んど晝食を取るに堪へずして寢に就けり。余は午後六時に起き出で、再び公使館に到る。門前又馬車を見る、醫師の來診せるならんと意に介せずして館に入れば、館内頗る倉皇の模様。余直ちに階上に至りて見れば、公使は已に昏睡状態に陥りて人事を辨せず、唯僅かに呼吸を通ずるのみ。嗚呼

何たる意外の事ぞ。此騒動に館丁誤つて前に頼みしドクトルモデスト氏の外、近隣の醫師を呼び来る。幸にして一名醫にしてモデスト氏と共に診し急性腦出血と断じ、最早施すの術なしと匙を投げて去る。此醫師其後兩三回來診せしも常に悲觀して去れり。主治醫モデスト氏は曰く、固より重體なり。左れど公使は平素身體健全、又携ふる所の妻子ありて意氣旺盛。幸に好經過を得ば持續の望みなきにあらずと。病床に侍して投藥施術に怠らざるもの七晝夜、而かも遂に其効なく、十九日午後四時三十分を以て公使は終に永眠せられぬ。吁悲哉痛哉。杉村辨理公使は最も熱心なる日本移民の首唱者なりき。而して今や其人亡し。余豈に國家の爲めに慟哭せざるを得んや。公使には三男三女あり長男は彼の二十哩競泳の優勝者として有名なる陽太郎氏にして帝國大學に在り。次男欣次郎氏は高等學校に在り、共に日本に生る。三男は晚香坡に生る、其英領に生れたるを以て英三郎と名く。長女は朝鮮にて生るあさ子といふ。二女亦朝鮮南山に生るなみ子といふ。三女は臺灣に生る新高山にちなみてたか子といふ。長女は十四歳にして三女は九歳なり。公使の病中は夫人令嬢等終始傍に在りて晝夜看護に怠らず。十四日午後三時頃のことなりき。公使の容態益々宜しからず、時に三女たか子泣いて、余に訴ふるやう「バアバ死ぬ、イヤダ、水野さん嘘を云つた、バアバの手を視て、長生すると云つたじゃないか」と。余が少女の此の語を聴きし時の感想果して如何ぞや。余は往年尾崎行雄氏の戲譯にかゝれる手相學なる小冊子を一讀したることあり。余は其内に記するの概要を記憶し時に人の手相を判じて興味を覺ゆることあり。今回の旅行にても時々他人の手相を判じて閑中の一興としたることあり。余が従者公使館にて此事を噂せしものと見え。一夕杉村夫人の發言にて館内一同の手相を判せんことを求めらる。余一々之を相して終に公使に及び長命の手相なりと判じたりき。これを余が彼の無邪氣なる少女の爲めに水野さん嘘を云つたと泣訴せられし由縁なり。此一事を以て見るも老成人の一言一行が如何に彼の無邪氣にして透明なる兒女の腦髓に印象を與へつゝあるかを視るべきなり。現今此無邪氣なる兒女の側には、動もすれば忠君愛國は野獸的天性なり野蠻時代の遺物なりなど放言する人もあるなり、教育家たる人は深く留意せざるべからず。

護に怠らず。十四日午後三時頃のことなりき。公使の容態益々宜しからず、時に三女たか子泣いて、余に訴ふるやう「バアバ死ぬ、イヤダ、水野さん嘘を云つた、バアバの手を視て、長生すると云つたじゃないか」と。余が少女の此の語を聴きし時の感想果して如何ぞや。余は往年尾崎行雄氏の戲譯にかゝれる手相學なる小冊子を一讀したることあり。余は其内に記するの概要を記憶し時に人の手相を判じて興味を覺ゆることあり。今回の旅行にても時々他人の手相を判じて閑中の一興としたることあり。余が従者公使館にて此事を噂せしものと見え。一夕杉村夫人の發言にて館内一同の手相を判せんことを求めらる。余一々之を相して終に公使に及び長命の手相なりと判じたりき。これを余が彼の無邪氣なる少女の爲めに水野さん嘘を云つたと泣訴せられし由縁なり。此一事を以て見るも老成人の一言一行が如何に彼の無邪氣にして透明なる兒女の腦髓に印象を與へつゝあるかを視るべきなり。現今此無邪氣なる兒女の側には、動もすれば忠君愛國は野獸的天性なり野蠻時代の遺物なりなど放言する人もあるなり、教育家たる人は深く留意せざるべからず。

二十日。午前二時柩成る。杉村君の家は禪宗なり、伯國は耶蘇舊教の外、式を以て葬るべきなし。余は入棺の前、未亡人の許諾を得て、余が信する本門法華宗の碩徳日扇上人の遷にかゝる妙講一座の二三節を口誦して君が脱離を祈る。佛力空しからずば成佛疑ひなき所なり。已にして入棺二十一日午後一時の葬式と定む。

二十日。午前七時伯國外務大臣特に秘書官を公使館に遣して曰はく、杉村公使の葬式に對しては、伯國現職陸軍中將の資格を以て柩を送らんとす。唯奈何せん、ペッロポリスにては一箇師團の兵を出すに便ならず。願くばリヨ、ヂヤ、チイロに葬送せられなば、墓地一切の事伯國政府之を辨せんと。乃ち其厚意に従ふことに決せり。二十一日。午前七時三十分伯國政府差遣する所の特別汽車に柩を載せてリヨ、ヂヤ、チイロに向ふ。三浦通譯官及び余と館雇員モンテイロ氏の三人之を護し、十時中央停車場に着す。午後一時に至り一箇師團の歩騎砲兵悉く停車場前に集る。一時三十分柩を馬車に遷し、騎兵前後を護し、大小數十發の弔砲に送られて墓地に到る。會葬する者伯國政府各大臣各外國使臣以下其數を知らず。來觀者堵の如く往來雜沓す。以て

伯國の官民が杉村公使に對する同情の如何を推するに足る。

此一大恨事に於て殊に余の吃驚したるは醫藥診察料の高價なる是れなり。一週間の病に用ゐたる藥價約三百圓、四回來診せし醫師の診察料約七百圓、一二時間を費して姪を附けたる助手の賃料三十五圓なり。又主治醫モテスト氏に計算書を求めたるに彼れは白紙を興へたり。其意蓋し海外萬里の異境に此不幸に遭ふ、遺族の悲嘆察するに餘りあり、診察料は要求せずといふに在り。三浦通譯官は之に對し、厚意は謝するに餘りあるも、本國政府之を支拂ふにより、計算書を示されたと申出でしかば、彼れは診察料は晝二百五十ミル夜五百ミルの定めなれども、晝夜を通じて五百ミル即は一週官三千五百ミルにて可なりとて、其書附を出したり。大に節減して尙且一週の診察料二千四百五十圓とは余の聊か意外とせし所なり。此國にて醫師たらんとするには伯國語にて試験を受くるを要す。故に外國人にして醫師たらんことは先づ絶望に屬す、是れ即ち診察料の不廉なる一原因か。

今夫れ公使の死するに當り伯國政府の厚意なく、又我が政府特別の處置なしとせば如

何。遺族たるものが公使相當の葬儀を濟したる後、二三の家族及び僕婢を伴ふて歸國せんには、少くも一萬五千圓の費用を要すべきなり。官規に依り給する所恐らくは其半額にも充たざるべし。今日以後任に伯國に赴くものは、萬一の不幸に遭遇する時は、其家族の安危一に兩國政府の御思召如何に存せざるべからず。公使尙可なり、書記官以下に在りては如何すべきや。若し二三週間も大病にかゝりたりとせば、忽ちにして醫藥の資を辨ずる能はざるを憂ふ。死せば妻子をして異境に流浪せしむる外なく、幸にして病治るも所謂人參代のために首を縊らざるを得ず。斯くの如くにして尙且つ甘んじて遠く伯國の如きに使するものあるべきか。世の政治家動もすれば曰く我が外交は戦果に伴はずと。余は寧ろ我が外交家の手腕に於て疑を存するものにあらず。然れども伯國公使館に就て云は、新進第一等國を代表するの公使館として甚だ満足すべからざるものあり。伯國の如き半開國に對しては、却て歐洲先進の國に對するよりも、外觀の美麗及び贅澤の交際を要するものあらんか。随つて之が爲めに費す所又多からざるを得ず。然るに前記の如く外交官不時の手當すら尙不充分なるが如き

有様にては、誰か安んじて其手腕を揮ふの餘地あらんや。是に於てか余は我が外交家が其手腕を揮ふに要する資金を得るの道に於て内交の術に長せざるなきかを疑ふものなり。余は親しく杉村公使の恨事に遭遇して感ずる所あり。爲めに一言以て當局者の一考を煩さんとす。

秘 露 國

一月二十六日を以て秘露國カイヤヲ港に投錨。翌二十七日上陸、直に首都リマに入り、留まること三十日。

余は先づ今村書記生の通譯にて本邦名譽領事ブライス氏と會談し。尋で秘國大藏大臣レギヤ氏を訪ひ、往年吾が會社より兩度まで社員の來るあり、移民の事に關し氏の手を煩したるも、其目的を達するに至らざりしを遺憾とし、當時の好意に對して挨拶を爲し。今回は東海岸に行く爲めに渡來せるものにて、氏に對しては何等要求する所あるにあらずとの意を述べぬ。大臣は之に對して相當の用向もあらば何なり申立てられ

たしと來訪の意を謝し、尙二三の談を爲したるも、記すべき程のこともなかりき。
 一日森岡店員の案内によりサンタクラ、の農場を視察せり。此農場は名譽領事たるブ
 ライス氏の所有にて日本移民を使用せるもの、一なり。先づ移民の住居せる屋舎を視
 たるに、其屋舎は此國固有のアトベ（土を水にとかして乾し固めたるものにて土煉瓦
 とでもいふべきもの）を以て作りたるものにして、恰かも土塼の如き長さ屋舎にて、
 其の内部は二間或は九尺毎に壁を以て仕切り之を一戸となせるものなり。形容して云
 へば連續したる籠の如き觀を爲せり。而して此各戸には裏へ出づる出口のあるもの
 もあれども全く之なきもあり。床は移民の自辨にて設けたるもの、由にて其幾分を土
 間として使用せり。
 余は此内に住居せる移民に就て、一々彼等平素の業務其他のことを聴糺したるに、異
 口同音に苦痛を訴へざるはなかりき。中に一人あり、自家が幸福の境遇に在るを話せ
 り。そは熊本の移民にて手に左官の覚えあり、殊に支配人の寵を得て始終事務室其
 の修繕に備れ日給一圓五十錢を得るの外、妻は砂糖袋の口を縫ひ或は農業に従事して

日給七十錢を得、又主は毎朝牛乳の配達を爲して三十錢を得、一家にて都合一日二圓
 五十錢を得、本國へ送金もなし又相當の貯金をもなせりといふ。彼れは余を見て日本
 より親の來れるを見るの感ありとて、ビール、サイホンなどを持出して饗應せんとし
 たりき。此左官を除き他の一般移民は勞働日給一ソル（我が約一圓）の契約にて渡航せ
 るものなれども、事實に於ては八十錢を拂ふに過ぎざる處もありといふ此國に於ける
 日本移民全體の三十六年より三十七年に至る滿一箇年の日本への送金高は左表の如し
 以て秘露移民の成績を下するに足らん。

一覽表

渡航人員 平均	一人 送金額	送金者 平均	送金額
2671		73	20
1224		82	52
2384		67	42
533		80	05
1309		106	79
3083		58	42
3950		114	40
2101		85	50

次に日本移民一般の風俗を視又聽く所に依れば、其墮落の狀甚だ憂ふべきものあるが如し。今其一端を云はんに、夫婦ものとして渡來したる婦女にて、一人として婦徳を全うしつゝあるものなく。多くは獨身の移民と姦通し、或は姦夫と同棲するあり、或は姦夫の所より再び元の夫の所へ歸れるあり。以て其他を推想すべし。余は此一點より視て我政府が從來取り來れる彼の夫婦ものにあらざる單身の女子の渡航を禁ずるの方針を改めて、單身の女子と雖ども渡航を許すの必要を感せざるを得ず。政府が單身なる女子の渡航を禁ずるは醜業を事とするを憂ふるの意ならんも。苟くも責任ある移民會社の手を経て送る移民に對しては是等取締の方法なきにあらず。却て憂ふるは前述の如き移民地に於ける風俗の壞亂是れなり。而して其風俗の壞亂は單身壯年の男子のみを渡航せしめて、單身の女子を渡航せしめざるを主たる原因とせざるを得ず。余は特に右の事實を明記して當局者の一考を求めんとするものなり。

首都リマとカイヤフ港とは東京と横濱とに於けるが如く。リマ、カイヤフ間には電車汽車兩種の設けあり、二十分程にて行き又來るべし。市街の家屋は悉く土製なるは此

第貳回移露移民 皇三十八年八月一日 皇卅七年七月卅一日 比較送金縣別

縣 名	渡航移民總數	送金者人數	渡航移民總數對スル送金者百分比例	送 金 額
廣 島	222	81	36	5,929.47
愛 媛	182	27	15	2,228.00
福 岡	312	110	35	7,438.00
山 口	30	2	7	140.00
熊 本	155	19	12	2,029.00
福 香	36	19	53	1,110.00
井 川	44	15	34	1,714.00
計	981	273	28	20,610.47

國を見舞ふ何人にも奇異の觀を呈するものなるべし。元來此國の土質は水を掛くる時は凝結する所より、アトベ（即ち土煉瓦）なるものを作り、之を以て家屋の四壁を構造し。屋根は平に板を並べて其表面に土を塗り、其上には或は鶏や七面鳥などを飼ふもあり。此地方には殆んど雨の降ることなく五十年目若くは八十年目に一少雨のある位に過ぎずといふ。故に前述の如く屋根を傾斜せしむるの用なきなり。而して赤裸々の家屋は土製なれども巧みに之を裝飾するを以て、市の外觀は我が銀座街頭を觀るよりも更に華美なるを覺ゆ。余が投宿せし旅館はホテル、マウリと呼び此地の一等旅館なるが、室内の設備裝飾より食物の料理に至るまで、比較的完備清潔且の良好にして日本にあらゆるホテルに優るありて劣れるを感ぜざりき。

初め余がカイヤ港に着して第一に感ぜたるは港の設備の一事なりき。全體の港灣は素より濶大にはあらざるも數千噸の船舶は皆ドックに横附にすべく。我が大阪築港の如き完成の曉に至るも其の規模は尙之に及ばざるべしと想れたり。元來白人種と東洋人との思想に大差異の存する點は、一は交通機關を社交第一の要具とし、一は全然之

に無頓着なるに在り。秘露の如き劣等國に於てすら港灣並に鐵道に巨資を投せるもの豈偶然ならんや。

余が本國にて聞く所にては、當國は四時春氣色にして、百花絶ゆる時なく如何にも一大樂園の如くに想像じたり。然るに身親しく其地に到り看れば、海岸附近は山にも野にも木なく草なく、一望唯丘陵の起伏せる灰原を見るが如く。而して河流沿岸の水利ある所のみ甘蔗綿花其他の作物を見るに過ぎずして、所謂四時絶えざるの花草は特に庭園に栽培せるものに外ならざりき。彼のサンクラ、の移民屋舎に到れる時、余は其屋舎の周邊には甘蔗の外一の青き物なきを見て、移民に向ひ「何故草木を植て涼風を迎へざるや」と言ひしに。彼等は曰く「草木を植るは容易なれども雇主が植て呉れませぬ」と。亦以て彼等が懶惰風を成せるの一端を見るべし。

リマに於ける日本商店は森本商店橋谷商店の二にして、他は森岡移民事務所あるに過ぎず。伊太利人獨乙人等外來の人種少からざるも、支那人は商權の大分を握り。青物市場の如き日本人などは、支那商人の許可を得ざれば之に入るを得ざるの有様な

り。
 余が此國に入りたる一月の末は日本にて云へば丁度六月の炎天に當るを以て暑氣は随分烈しく。加ふるに往來人馬の便臭紛々たるは余の最も苦痛を感じたる所なりき。彼の公園の如き周邊には貸馬車のあるあつて便臭最も甚しく、鼻を摘んで公園内に入り、茲に漸く花香に接するを得て、一層公園の有難味を感じる程なりき。
 リマックとて我隅田川に比すべき河水あつてリマ市を貫流す。水道は多分此上流より引き來れるものと想はる。此河は夏期アンデス山の雪解けにて水量を増し。無雨の境土に一種の天恵を與へつゝあるものにて、之に架せる橋梁の如きは巨萬の金を投じたるものらしく、日本の如何なる鐵橋も之には比するに足らず。此河流に沿ふて小公園あり。一夕余は此小公園の柳蔭に憩ふて涼を納れんとして園内に入りたるに、早くも一種の惠臭鼻を撲つて感せり。依て四邊を熟視して驚くべき事實を發見したり。そは他にあらず、公園の河岸に沿ふたる所には杭を打ち之に鐵線を曳きありしに、一老人あり、鐵線に掛まり尻を河中に向けて用を辨じつゝあり、余も之には一驚を吃したり。

き。而して跡にて聞けば市中河岸の斯る處は市民の便所ともいふべく、殊に此小公園の河岸の如きは公然たる男女の便所にして、其石垣には一種黄金の落下せるもの斑々附着し居れりと。余が鼻を撲らしは正さに此黄金の香なりし、如何なる金殿玉樓にも廁なさを得ざるを思へば不思議にはあらざれども、白人種の都會にて街衢を貫流する河岸を公々然の廁と成すに至りては、聊か奇異の感なきを得ず。若し大雨あり沛然と天地を洗ふならば、往來の馬塵も河岸の黄金も意とするに足らざれども、唯春冬の候のみに濃霧の大地を濕すに過ぎざる土地に在りては尙更注意ありたきものと思ふ。

智利國

二月二十四日を以てカイヤオを發し、三月二日の午前に智利國イキケ港に投錨せり。同日上陸して港上の市街を視る。此港は當國の特産たる硝石の輸出港にして、主として硝石の爲めに繁華を致せるもの、如く。其他特に記すべき程の事物を認めざりき。三月六日智利國ミキンボに寄港し、茲に始めて屋根の傾斜せる人家を見、又屋外處々

に草木の蒼々たるを見て愉快を感じたりき。翌七日の午前十一時にはバルパライソ港(極楽谷といふ意味なりとぞ)に着上陸せり。此港は秘露海岸を通過し來れる旅客には其地名に意味せるが如き快感を興へぬ、そは他にあらず、草木翠蒼風光明媚なればなり。

智利國は南米の一國として他の諸國の如く人口稀薄殊に日本人を歓迎するは南米第一と傳へらる。然れども此國經濟の程度は余が通過したる南米諸國中に最も低位に在るもの、如し、故に日本移民を斷行せんには深く研究を要すべき土地柄と想はる。余は最早急は伯國に赴かざるべからざるの時期に迫りたるを以て、此國に於て調査の爲めに時日を費す能はざりしは頗る遺憾とする所なり。併し智利人が日本人を歓迎するの一點は余が親しく實見する所にして、他日若し日本人の移住する場合には、夫等の移民は最も愉快を感じるならんと想像す。

アンデス越

バルパライソよりグエノサイルスまでの間に於ける旅行は三晝夜を要す。其第一日は午前七時バルパライソを發し午後三時半にフンカルに着し茲に一泊し。第二日は朝五時にフンカル發の馬車にて有名なるアンデス山の絶頂(海拔一萬二千尺)を超え、正午十二時までにクエバスの停車場に着するを普通の例とす。然るに余は三月九日朝七時バルパライソを發し三時半にフンカルに着したるも、旅館には空室なしといふを以て茲に大に勇氣を越して、騾馬を雇ひ捷路を取りてアンデス越の途に上り、夜の八時を以てクエバスに着せり。此アンデス越の詳細に就ては長文の紀行あれども茲には全く割愛す。唯一言せざるを得ざるは智利、亞兒然丁兩國を界の相接する處に兩國平和の紀念として建てられたる基督の大銅像の下を經過したる時の光景是れなり。時恰かも明月の夜にて月は脚底の下界より離々として昇り、基督銅像の頭下より燦爛たる光線を捧げたる時の光景は、詞にも筆にも盡くし難く、眞に天下の絶觀なりき。其森嚴莊重にして而かも瑰偉雄麗なる光景は、今尙恍として眉睫の間に幻出するの感に堪えざるなり。此銅像の成れる由來は殆んど世界に類例を見ざる所なり。今より六

年前智利亞兒然丁の兩國は今にも干戈を交へんとして、兩國力の及ばん限り軍備を擴張し、何れも歐洲の造船所に最新式の大軍艦を二隻づつ注文し、其他戰艦準備の爲め巨萬の資金を費したり。當時の報告に依れば兩國の軍資に要せし金額は兩國とも國民一人の負擔額五弗に及べりといふ。而して此兩國確執の原因はアンデス山脈の國境問題なりしが、智亞兩國に駐在せる英國公使の斡旋にて、英國皇帝の仲裁に依り平和の解決を見るに至れり。前述基督の大銅像は乃ち其平和の紀念としてアンデスの絶頂なる兩國の境界に建設せられたるものなり。世界には紀念塔の類一にして足らず。近く十九世紀に建られたるものを擧ぐるも、曰く羅馬に於けるガリバルジ將軍の紀念塔、曰くウオートルローに於ける石獅子(拿破翁一世の墮淚碑?)曰くクリミヤに於けるクリミヤ戰爭の紀念碑、曰くハバロフカに於けるシベリヨフ將軍の紀念塔、曰く巴里に於けりガムベツタの紀念塔の如き其の有名なるものなり。然れども是等紀念物の多くは人類の血痕を意味するものなれども、獨りアンデス山上の紀念物に至りては全然之と性質を異にして、平和てう人類最高の理想を表彰せる最も光榮ある紀念物なり。余は此最も光榮ある銅像の下を過ぎて無限の感に打たれたり。是時我が國で云へば六月の炎天なるに拘らず、アンデス山中には處々の峰蔭に積雪ありて、其上を襲ひ來れる冷風は肌を透すを覺えぬ。

翌十日午後二時にクエパスを發し、其夜は汽車中に眠りて、翌十一日の午後七時を以てウエノサイルスに着せり。而してアンデス山麓メンドサよりは一望際涯なき茫茫たる平原にして、絶えて眼を遮る物なく、夜の明け日の暮るゝまで山もなく溪もなき平原海中を駛走し來れり。此茫茫たる平原の鐵道に沿える部分は皆牧場なり以て其牧畜業の盛大なるを想像するに足らん。

亞兒然丁國

余が亞兒然丁に滯留せしは僅かに十日に過ぎず。本年三月十一日同國の首都ウエノサイルスに着し同二十一日乗船して伯刺西爾に向へり。十日間の滯留中、名譽領事シエフワード氏及び在留本邦人の好意に依りて、種々の方面を視察したるに此國亦勞働者

の需用少しとせず。然れども伯刺西爾とは其趣を異にし、此國は主として牧畜を以て發達し來れるを以て、耕地少く隨て農夫を要する多からず。唯農夫を要するは新規開墾の爲めに外ならず。而して新規の開墾は爲すも可爲さぬも妨げずといふ有様なるより、旅費を支給してまでも日本人を呼ばんとするの意氣込なし。去れども利に敏なる彼の國人のとなれば、旅費を前貸して其返償を受くるの見込だに立たば、日本の勞働者を使用するや疑ひなかるべし。而して日本人が此地に來るものとせば、其勞働賃は彼地普通最下の賃錢にして一日我が一圓八十錢を得るは難事にあらざるもの、如し。此國の移民に對する亦頗る丁寧にして伯國サンパウロと同じく移民收容所の設けあり。歐洲移民の此國に來る者は、先づ此收容所に留泊せしめ食料を給し、雖て雇主の定まつて勞働地に向ふ時は、其汽車賃は無料の特典あり歡待至れりといふべし。唯サンパウロと異なる所は其本國より渡航する旅費を支給せざると、賃銀の支拂に就て政府の干渉なきの二點是れなりとす。

首都ヴェニスアイルスは人口百十三萬を有して、南米第一の大都會と稱せらる。街衢の

配置肆店の結構其他殷賑繁華の狀南米に其比を見ずといふ。日本人の此地に在るもの僅に十四人、而して日本人の雜貨店二あり、一は東郷と曰ふ神戸の瀧波文平氏の經營に係る、他の一を新日本と曰ふ大阪の安田喜十郎氏の設立する所なり。共に雜貨を陳列して小賣に従事す。日々の商賣高二百圓乃至三百圓に及べりと。外に榛葉登雄氏の商業事務所と丸井古川兩氏の商業事務所あり、各見本商ひをなせり。支那人にして日本雜貨を商ふもの一戸あり、商品の豊富なる遙に日本店の右に出づ。主人は支那服を着けずして洋服を着け、英語を巧みにし又西班牙語を繰る。其客扱の輕妙なる遠く日本人の及ぶ所にあらず。日本人たる余すら均しく買物をするならば、日本店よりは此支那店に於てせんと感あり。况んや外人に於てをや、本邦商人の彼の國にあるもの奮勵一番を要す。

此地に於て殊に余の感を動かしたるものは、秘露に於けると同じく埠頭の設備の完備せることなりき。元來ヴェニスアイルスは首都にして又港口を兼ねる處なるが。ドックは第一號より第四號に及び尙號外として二箇のドックあり。故に巨艦大船一時に數十

隻幅濶するとも、之を呑吐するに於て綽として餘裕あるもの、如し。余の経過せし所にては南米に於て人工を加へたる完全の港灣はウエノサイルスを第一とし。又天然の良港としてリヨ、デ、ジャチイロを以て世界有数のものとして推さざるを得ず。

成功せる日本労働者

アムステルダムに在る本邦労働者中に一成功者を以て目すべき人あり。即ち相州三浦三崎の人眞池金藏(今年四十三)といふ。嘗て彼れの家郷に在るや。繼母との間折合面白からず、加ふるに次男のことゝて彼れは早くも親の脛嚙りを辭して、立身の策を立てんとこそ志ざしぬ。已にして人の説くを聞けば外國船の乗組員となるは立身の早道なりと一たび此説を聞きたる彼れは如何にかして外國漁船に乗込まんと種々苦心の末。終に上海往復の外國漁船に乗込むことを得たるは彼れが十七歳の時なりき。夫れより二年の間はボーイを務め傍ら水夫見習を務めたり。然るに放縱なる一般水夫の悪風はイツの間にかこの可憐なる一青年をも悪風に誘はんとせしかば、彼れは以爲らく帆船に乗

換へなば重もに船中生活にて誘惑も少く蓄財も出来んと。轉じて英國の帆船に乗込み働くこと三年。其の間の辛酸は筆紙の盡くす所にあらず。或る時の如きは印度洋航行中烈風の爲めに帆柱より海中に吹き落されて九死の内に一生存得たることあり。或る時は同輩の悪戯の爲めに劇薬を含まされて健齒の大部を失ふに至れり。此くの如き苦難の間にも多少の蓄財を爲したる彼れは千思萬考の末、海上生活は到底身を立つるの道にあらずと決断しぬ。斯て断然志を決して上陸したるは南米のアムゼンチン國なりき。然るに豫て苦樂を共にして貯金を爲し將來の運命を開くべく契りたる悪友の爲めに彼れの貯金は残らず拐帶し去らるゝの不幸に遭遇せり。是に於て彼れは無一文にて天涯萬里の異郷に依るべく又頼むべきなき捨られ人となりぬ。此時の彼れの心情は如何なりしぞ。我等は想ふに忍びず語るに堪ず、唯讀む人の推想に任せんのみ。嗚呼天はこの憐れむべき青年を捨てざりき。當時アムゼンチン國にては鐵道建築其他の建設事業勃興の時にて、彼れは働さ口を見付け異郷の餓鬼となるには至らざりき。然れども彼れが労働にて得る所の賃銀は、彼れが携へ居れる一頭の洋犬の食費八圓と

自分の食費宿料とを辨じて殆んど餘す所なし。左ればシャツ、ツボン下の如きは休日
 を待つて清流に到り自から洗濯を爲せりと。然れども彼れはコルドバ市に於ける労働
 界の前途に深く望を屬して、彼の旅から旅にさまよふ所の浮浪労働者を學ばずして、
 熱誠に機敏に白人の労働者彼れ何物ぞと勇を鼓して働けり。斯くの如くして日を経る
 久しきに及び鐵道會社役員の注目する所と爲り感激する所となり。材木運搬人足は一
 躍して機關運轉手見習と爲り、俸給は前に五倍するに至りぬ。是より彼は益々精勵且
 つ勤勉を以て機關運轉手となり、毎月得る所の月收二百五十ペン（一ペンは我約九十
 五錢）に及べり。斯くて益々貯蓄を爲し今より九年前に四千ペンを投じて邸宅を買ひ
 求め、之と同時に豫て意中の愛人たりし今の妻（佛人と土人との雜種）と結婚の式を舉
 げ。今は夫婦の間に四歳の子を儲け、巨萬の富を貯へ何不足なき中流の生活を爲
 すの家庭を作るに至れり。

彼れの邸宅はコルドバ市の町外れへチアルバス（平和）といふ所に在り。道には綠草の
 間に群羊の戯むるを眺め、後には静けき清流の囁くありて、頗る詩的趣味に富める住

95

居なり。又後園には四季の花卉其の他の嘉木奇草を植栽し、紅白紫黄の花四時絶ゆる
 時なく清香奇芬人の衣襟を薫す。此邸宅に優遊して日夕人生の歡樂を享けつゝある家
 族は、主人の外妻と少供一人外に召使の幼兒少女との五人也。

北米シヤトルの瞥見

余は歸途北米シヤトルに留まること一週間に及べり。同地は日本の出稼人意外に多し。
 領事館員の語る所に依れば、精確のことは云ひ難きも、在留日本人は凡六千人位もあ
 らんと。而して其多くは労働者にして旅館のクック、停車場の赤帽、鐵道の工夫、水
 車場又は農園の雇人等、到る處日本人を見ざるなき有様なりといふ。其内二三の成功
 者と稱せらるるものは、大抵は日本人相手の商業に従事するもの、如し。
 余一々散歩して或る市街を過ぐ。戸々皆日本字の看板を掲げ、或は床屋、或はめし屋
 等、宛然日本市街なり。日本飯に渴したる余は忽ちめし屋に飛び込んで、八箇月目に
 味噌汁附の日本飯を味ひたり。此めし屋は本國の繩纒同様のものにて、客は何れも

労働者のみなり。余は食事中同じく一卓を圍める甲乙に就て聞く所左の如し。

甲曰く、私は元來カリフォルニアにて、數年稼ぎ居りしも、兩親の不幸に遇ふて歸朝し、今年再び渡航し來れるなり。旅行券を得るは随分困難なれども、再渡航のことゝて左したる面倒もなかりしが、直接此地に來るには、所謂見せ金の入ることゆゑ、ビクトリヤにて上陸したり。同地には日本人の宿屋二軒あり。此宿屋のもの検査醫と結托して、眼の療治を爲すと稱して、上陸者の少くも七分は、五日以上長きは一ヶ月も止宿せしめ、本人の有金は大抵巻き上ぐるの悪風ありどか。自分は幸に故障なく通過し來れり。日露戦争後は戰勝國など、申しても、私共には何等の光榮も加はらぬ。今回渡來の節ビクトリヤ港外にて検査の際、我々三等客は皆デツキの上に整列せしめられ、ズボンのボタンを放つさせられ、衆人稱立の中にて陰部まで検査されたり。キャビンの客などは皆笑を忍んで此有様を見居たりき。乗客中に一人の露國人あり、之は我々同様の検査を受けざりし。戰敗國でも白人の待遇は別なるが如し。唯呼び聲丈け一等國でも、我々には何等の光榮をも加らぬは痛歎に堪えず云々。

乙曰く、私は近江の百姓で學生ではない。夫故移民會社の手を経て布哇を通過して來る外はない。私は此一月横濱を出發し、同船者三百七人中、五十人は布哇に残り、他は皆本州に渡れり。本州へ渡るには何等の面倒なし。着船直に領事に證明を願ひ、次の船にて桑港なり當地なりへ渡るべし。金がなければ會社がありて貸し與ふべし。其代り返金するまでは身體を束縛せらる。兎も角布哇までの船賃さへあれば、本州に來るは譯もない。仕事は幾らもある。私しのやうな言葉の解らぬものは鐵道工夫が好い。工夫ならば幾千人も雇ふ。伴さんはポートランドで千餘哩お持です。古屋さんも千哩お持です。私し等はドコへ行つても仕事がなく困るやうなことはない云々。(此伴さん古屋さん云々は是等の人が鐵道會社と約して、何哩間の人夫供給を受負ひ居るものならんと想はる)

右の外洋服職工あり、靴職工あり種々の雑談を聞きたれども、前述二人の談にて移民状態の一斑を見るに足らんか。願れば内地に於ける移民會社は莫大の保證金を積みて

氣息奄々たる有様なるに、北米太平洋沿岸にて成功者の中に數へらるゝ者は、潜り移民の口入業を爲す者に多し亦奇妙なる對照にあらざるや。太平洋沿岸に於ける日本労働者は所謂呼寄せなるものか、又は布哇轉航者か、否らざれば學生の名目の下に渡航するもの及び脱走者にして、何れも潜り移民と稱すべきものなり。此潜り移民中、學生を外にしては總て其成績よるしく、三ヶ年若くは五ヶ年の後は幾千金或は萬金を懐にして歸朝するものあるは余が親しく視たる所なり。是等の現象は我當局者一顧の値なきにあらざるべきか。

(附言) 鐵道工夫は賃錢九十仙乃至一弗三十仙、家庭労働者は食料主人持にて月給三十弗以上、停車場赤帽は月給四十弗。農家奉公は月給三十弗。而して農家労働は時間長くして十三時間に及ぶあり。鐵道工夫は十時間。其他ハウスボーイは仕事の制限により時間の制限によらずといふ。

余が最後の斷定

余は數年來彼の北米に於ける日本移民の實情と、北米人並に歐洲移民等の日本移民に對する態度とに鑑み、日本移民の爲めには更に別天地を發見せざるべからざるを思ひ、近くは韓國滿洲遠くは南米南阿南洋に及び私に研究する所あり。終に南米の可なるべきを斷じ、南米に就て其利害得失を研究し。結局南米中にも伯國、其伯國中にもサンパウロ洲の我が移民地に最も適當なるを信じてありき。然るに昨年日露戰爭の酣なるに及ぶや、凱旋軍人の中一時多數の失業あるべきを想ひ、之を南米移民の先鋒として本邦移民の端緒を開くは時機を得たるものならんと信じ。一篇の意見書を刺して朝野諸先輩の意見を問ひたるに、何れも其可なるを稱せざるはなかりき。然れども責任ある計畫としては、公使の報告其他の材料のみを根據として事を斷ずるの不可なるを思ひ、身一たび彼の地を踏査して然る後實行の可否を斷せんと欲し、南米行を企つるに至れるものなり。

身親しく南米に航し西海岸より東海岸に過りて伯國に到り、更にサンパウロ州に入りて踏査研究する所あり。嚮きにサンパウロ州を日本移民の適地ならんと推斷せしむ

の益々其謬りなさを確かむるに至れり。其理由蓋し一にして足らざるも(一)彼の州の官民舉つて日本人を歓迎すること(二)氣候の日本人に適して流行病地方病等のなき事(三)該地の經濟程度の高くして労働者に利益なる事(四)労働の傍らに間作を許され其收穫を得る事(五)從來未利用の儘に存する低地は稻作に適し、其耕作は如何に發展せしむるも地方固有の耕作と衝突するの憂ひなき事(六)労働者貯金の後には右未利用低地を買受け稻作を以て生活の根據とし、隨時雇労働に従事して獨立の生活を營み得べき事(七)其の他事業經營の才能あるものは牧畜に鑛業に將た商業に唯其の人の才能に従ふを得べき事。是れ其重なる條項にして凡そ是等の條項は余が上來説き來り叙し去りたる各種の事實を綜覽して明白なれば、今更に之を絮説するの要なかるべし。唯昨年余が申せし南米移民の意見書は一般に世に公けにしたるものにあらざるを以て、本書を讀む人々の参考として其全文を左に掲出す。

南米移民の斷行を望む(明治三十八年十月五日稿)

日露の間、和約既に成れり。之に次いで當面の問題として世論の云々する所は、滿洲軍撤退に要する費額並に論功行賞の費額を併せ幾億圓の支出法如何といふに在るが如し。是れ固より當面の一問題たるに相違なからん。然れども不肖の考ふる所に依れば此當面の問題よりも更に重大にして互つ解決に困難なる問題の眉端に迫れるものあり。待の世論が當面の問題として云々する軍隊撤退に關する費用並論功行賞に要する費途に就ては多少の議論はあるべきも、大體に於て此問題の解決は決して至難なるものにあらず。之に比して幾層の至難問題は日ならずして凱旋し來るべき軍人及び非戦闘員を併せて數十萬人の生活問題即ち是れなり。此問題は未だ世論の注意を引かざる所なれども我が國家經濟に取りては容易ならざる大問題なり。殊に日清戦役後に於ける國家經濟と全然其の趣を異にせる日露戦後の經濟界に取りては更に幾層の重大問題なりと謂はざるを得ず。不肖自から謏劣を揣らす此問題に對し聊か卑見を開陳せんとす。

今爰に旋凱後の状況を豫想せんに、現役兵は始らく措き豫備後備の軍人は各其の

軍功の如何に由り、一時賜金の恩典に浴すならんと雖ども、其金額たるや將來生計の資本として一に之に依頼する程の巨額ならざるべく。且つ久しく戦場にありて辛酸を嘗め盡せる反動として、動もすれば賜金を浪費するの傾向なき能はず。且つ直ちに劍銃を棄て、鋤犁を手にし、田園に歸臥するを厭ふの情あるを免れざるは、過去に於ける戦後の情況に願て明白なり。若し夫れ戦後の經濟界にして日清戦後に於けるが如き活氣ありて、一時に諸般事業の勃興するあらんには、經濟界は軍人の轉職に幾多の便宜を與ふるも左程の難事にあらざるべきも。今回の戦後の經濟界は一般の警戒寧ろ過嚴に失するが如き傾向ありて、日清戦後の情況と大に趣を異にせり、是に於てか凱施軍人は開戦前と同一なる條件の下に職業を求めんとするも容易に之を得べからず。而して各種租税の増加未だ舊に復せず。物貨日に騰貴し職業を求むるもの遽かに多きを加ふるに於ては、豫備後備軍人の生計問題は實に至難の大問題たらずんばあらず。况んや純然たる軍人のみに止むらずして、尙他に多數の非戦闘員の歸來せるものあるに於てをや。然らば此至難問題を解決する如何にせば

可なるか。曰く之を解決する移民政策に勝れるものあらず。乞ふ左に其の理由を説かん。

我が國數年以來國家經濟の大勢は、人口増加の急激なるに反して人口を支持する要素の増加は甚だ緩慢にして、物價は騰貴の一方に傾き滔々として底止する所を知るべからざるもの、如し。而して人口増加の割合は毎年約五十萬人強にして、人口支持の要素中今單に食料品の隨一なる米の産額を見るに、明治二十三年以來昨年まで十五年間の産額は下表の如く一低一高定りなく。三十三年の如きは十年前の二十三年に比して却て少額なるを見。又三十五年も十年前の二十五年に比して一割餘の減額を見る。人口の増加は定率を以て年一年に多きを加ふるも、食料は定率を以て増加せざるのみならず、時としては減額を見るに至る。是に於てか米の輸入は比年増加し、過去十三年の平均の輸入超過金額は五百五十萬圓に及び、尙且つ米價は十三年間に十割六分の騰貴を致せり。米の外人口を支持する要素の産出如何は今之を略すと雖ども、我が需要の食料なる米の産額と人口の増加との關係にして既に此くの

二十三年	四三、〇八四、〇四四
二十四年	三八、二八一、四〇五
二十五年	四一、四二九、六七六
二十六年	三七、二六七、四一八
二十七年	四一、八五九、〇四七
二十八年	三九、九六〇、七九八
二十九年	三六、二四〇、二五一
三十年	三三、〇三九、二九三
三十一年	四七、三八七、六六六
三十二年	三九、五九八、三二二
三十三年	四一、四六六、四二二
三十四年	四六、九一四、四三四
三十五年	三六、九三二、二六六
三十六年	四六、四七三、二九八

如くならずすれば、以て生活問題の趨勢如何を卜知するに難からざるべし。乃ち茲に明治二十三年以來十五箇年間に於ける米の産額表を掲ぐ。

三十七年 五一、四三〇、三三二

北米合衆國の如きは人口の増加激甚ならざるにあらざるも、食料の主たる麥の産出は人口の増加に比して數倍の増加を爲し。又英國に於ては近年に至り麥價の低落殆んど五割に垂んとすといふ。故を以て英米に於ては人口の増加するに拘らず、食料の増加若くは其の價の低落に由りて何等の逼迫を感せずと雖とも。我が國に於ては人口の増加と食料の増加とは相伴ふ能はずして、一年一年に此兩者の間に不平均を來たし、物價の騰貴を免れざるに至れり。凡そ國力の發展は人口の繁殖を以て最も重大の原因とす。故に我が人口の増加は固より之を賀すべきも、人口を支持する要素就中食料の増加の相伴ふ能はざるは一大缺點と謂はざるを得ず。夫れ已に斯くの如くなれば今遽かに幾十萬軍人の歸來するなしとするも、我が大和民族は早晚島國的蟄居の舊風を破りて、海外に發展せざるべからざる運命を有するものなるは言を俟たざる所なり。然らば則ち凱旋軍人を海外發展の先鋒として大和民族の膨脹を講ずるは寔に時機の宜しさに適するものにあらざるや、况んや凱旋軍人が我が戦後の經

濟事情に於て最早戦前と同一條件の下に職業に就かんとするは、頗る困難にして他の非戦闘員と共に今後の生計問題は極めて難問題たるに於てをや。此難問題を解決するは移民政策を措いて他に何等の方策かある。

更に轉じて財政の大體を見るに、外債の總額は戦前及び戦時の發行を合算して十億圓以上に達するを以て、其利率を平均五分として毎年五千萬圓を支拂はざるべからず。且つ戦後處分費約四億圓の外債を加ふるものとせば七千萬圓の利子支拂を要すべく、之に元金の償還額を加算するに於ては、今後外債償還の爲約壹億圓の正貨は年々海外に流出せざるを得ず。此外貿易上輸入超過より起る正貨流出、其の他諸會社の外債並に個人の手を経て、海外に流出するもの亦尠からざるべしと雖ども、是等は姑く除外するも尙且約壹億圓の正貨流出を免るゝ能はず。知らず當局者は如何にして兌換制度の基礎を擁護せんとするか。戦後の我財政方針に就いては目下開會中なる商業會議所聯合會に於て、大藏農商務外務の各當局官の爲せる演説は政府が擁抱せる意見の大體を洩らせるものと見るも妨げなかるべし。阪谷大藏欠

官が會禰大藏大臣の代理として演説されたるものを見るに戦後に於ける財政策の最も急なるものは内外國債の整理是れなりと云ひ。又清浦農商務大臣の演説中には今後の經濟界は外資の輸入を必要とす。政府が鐵道抵當法工場抵當法を發布したるは之が爲めに外ならずと云ひ。珍田外務次官石井通商局長は滿韓方面に對する輸出奨勵のことを説けり。是れ皆實に目下の急務にして何人も異議なき所なり。然れども所謂内外國債の整理は高利なるものを低利なるものに代ふるに過ぎざるべく、又鐵道工場等の抵當を以て外資を民間に招來するは必要なるに相違なきも、夫れと同時に利子の海外支拂あるを免るべからず。滿韓の貿易事業是亦力を致さざるべからずと雖ども、是れ唯通常の商品販路を擴張するといふに外ならず。不肖の考ふに所にては是等の政策以外更に重要な一政策のあるを認む。他なし移民政策即ち是れなり。戦後に於て正貨流出の急ならんとするに方りては、之に應ずる方策の一として必らず移民政策を斷行せざるべからざるを信ず。乞ふ先づ我が國の海外移民が若干の正貨を本國に輸入するかを看よ。

海外出稼人の送金 (外務省調査)

布哇	五、二四八、六一五
北米	三、〇六七、三〇三
加太	一、九一八、九〇二
濠州	一〇八、八四九
浦鹽	五〇〇、〇〇〇
朝鮮	七五一、八六五
樺太	四〇〇、〇〇〇
其他	一九五、〇〇〇
合計	一二、一九〇、五三四

夫れ此くの如く我が移民約十二萬人は一箇年に一千二百餘萬圓の正貨を内地に輸入しつゝあり。即ち彼等は一人百圓づゝを逆金するものなり。彼等若し日本に在らば一年約百圓の食料を消費すべし。今は此消費を内地に爲さずして却つて百圓を送金するを以て彼等の産む所は實に二百圓に當る。且つ此外歸國の際移民各自に携帶

する所の金額亦尠からず。是れ皆一種の外資輸入なり。而かも無利子の外資なり、償還を要せざる外資なり。去れば今假りに五分の利率とすれば二億四千萬圓の債權を外國に有して、毎年其利子として二千二百萬圓を我れに收むるに異ならず。又貿易に由りて一千二百萬圓を得るとせんか、今假りに一割の純益ある輸出品より此金額を收めんには。實に一億二千萬圓の價額ある輸出品に由らざるべからず。我が輸出貿易の要品たる製茶の輸出價額すら年々一千萬圓内外に過ぎずして、假りに二割の純益あるものとすると其輸出に依りて得る所は僅かに二百萬圓のみ。是に由りて觀れば我が海外移民の本國に輸入する正貨は、冥々裏に於て我が國家財政の基礎を鞏固ならしむるの點に貢献する所少からざるを知るべきなり。彼の清國の貿易が毎年大なる輸入超過を繼續するに拘らず、國際貸借の決済上に於て破綻を招かざるは海外出稼人の正貨輸入の力に由らずんばならず。亦以て海外移民の國家經濟に非常なる貢献を爲しつゝあるを知るべきなり。

上來説く所に依れば第一には人口の増加と生活要素の増加と相伴はざる點より海外

移民策を取らざるべからざるの要あり。第二には戦後財政の状態より移民策を取らざるべからず、即ち戦後の財政に於て正貨流出約一億圓に及び我が兌換制度の基礎動搖せしめんとするを見れば移民策は實に今日の一大急務とすべきものならん。然るに今や戦地より歸來する數十萬人の生活問題を如何に解決すべきかといふに移民策に由る外なしとせば、左なきだに移民策斷行の必要ある時機なるに於ては。愈々益々移民策斷行の已むべからざるを知るべきなり。戦後窮迫の經濟界に於て強いて數十萬人の生活問題を解決せんとせば、實に經濟界の窮迫を緩和する能はざるのみならず却つて益々窮迫ならしめんとす。若かず茲に斷然たる根本的解決を下し、以て一面には移民策に伴ふ所の國利を收め、他の一面には經濟界の窮迫を緩和せんには。是れ不肖が彼の戦地より歸來する數十萬人の生活問題の解決として、移民策を今日に實行するの已むべからざるを主張する所以なり。

は今邊かに移民策を斷行して我が工業に必要な勞力を海外に輸出するは策の得たるものにあらずと。是れ決して憂ふるに足らざるなり。前にも已に説くが如く我が人口は五十萬強を以て増加しつつあるを以て、戦後如何に工業の勃興するありとすも容易に勞力の欠乏を訴ふるが如きことあるべからず。英國は工業を以て世界に鳴るの邦國なり。然るに尙且つ多數の移民を國外に出すも勞力の缺乏を憂ふるに至らざるを以て見るも明白なり。千八百三十七年より千八百九十七年に至る六十年間に英國より外國に移民せる人員左表の如し。

英國六十年間の移民數(自一八三七年至一八九七年)

北米合衆國	七、三二〇、〇〇〇
歐洲	一、五八〇、〇〇〇
加拿多	一、五六〇、〇〇〇
合計	一〇、三六〇、〇〇〇

其當時英倫、愛爾蘭、蘇格蘭を合せて人口約四千萬に過ぎざるに尙且つ一千餘萬人の

移民を出せり。而かも之が爲め英の工業は勞力の欠乏を訴ふるに至らざりき。然るに我が國の如きは明治十八年以來十七年間の移民總數は三十三萬九千二百十三人にして英國が毎年十七萬人餘を出せしに比して我が國は毎年僅かに一萬九千人を出せしに過ぎず。然らば則ち我が國が勞力の欠乏を憂ふるが如きは遠き將來のことにして今日之を説くは所謂杞人天の落つるを憂るの類に外ならず。然らば則ち歸來軍人(豫備後備)の生活問題解決の一策として將た我が國の對外政策として移民の方針を取るとせんか。知らず其移民國は何れを擇ふべきか。北米か南米か。將た濠洲か滿韓か。不肖斷じて曰はん、南米の善さには若かずと。以下其の然る所以を説かん。今日まで世界の三大被移民國と稱せらるゝは北米合衆國、濠太利、南米(伯刺西爾、亞爾然丁)是れなり。先づ北米に就いて言はんは北米は最大の被移民國たりしも、近く數十年來勞働の競争漸く激甚にして、彼等勞働社會は成丈け競争者を少なからしめんとの念慮より、先づ異人種なる東洋人即ち黃人を排斥するに若かずと爲し、種種の排斥運動を試み往々にして州議會の議員を動かし、其の議決を以て排斥法を制

定するに至れるは、既に世の知る所なるが。此排斥熱は近來に至りて益々烈しく、支那人の如きは此排斥熱に反抗して、近頃上海商業會議所が米國貨物の取引を拒絶し、以て米國の支那人上陸禁止を解くに至るまで、之を續行せんことを議決したるを始めとして、上海を中心として清國到る處の商業地は之に同盟して米國に對する報復手段を取るに至れり。北米の支那人に對する已に此くの如し。然らば日本人に對する如何といふに日本は露國に對する百戰百捷の餘響として、彼の國に名聲噴噴たるにも拘らず、桑港の「クローンクル」新聞は盛んに日本人排斥論を鼓吹し。次いでカリホルニヤ州議會には日本人排斥案出で大多數を以て通過し、其餘勢はオレゴン、ワシントン兩州に及び遠くテキサス州に飛火を見るに至れり。勿論是等の日本人排斥は下等勞働社會の主張に過ぎずして、新聞紙は多數の勞働者に媚びて排斥論を喋々し、州議會の議員は次期の選舉に多數の投票を得んが爲め勞働者に諂ふて排斥案を通過せしむるものなるべく。新聞も州議會も共に下等勞働者の蓄音器たるに過ぎざるも、而かも之に由りて米國勞働社會の競争の激甚なるを見るに足るべし。

獨り之に止まらず米國に於ては日本人と支那人との間にも競争あるを見る。故に若し他に移民すべき邦土なしとせば已むを得ざるも、苟くも他に移民を容るゝの邦土あらば、何を必らずしも北米のみに移民せざるべからざるの理あらんや。然らば去て濠洲に向はんか、是れ亦白人労働者の競争激甚にして支那人と共に日本人をも排斥すること北米に於けるに異ならず。然らば滿韓方面に向はんか、滿韓は勞銀低廉にして且つ天産物の豊富ならざる、今遽かに多數の移民を容るゝの餘裕なきを遺憾とす。説いて茲に至らば戦後に於ける軍人の移民地は夫れ唯南米か。南米は(一)天産物に富めり(二)未だ移民間に競争起らず(三)殊に移民を歓迎す(四)近き未來に於て世界の一大貿易國たらん。不肖此四箇の理由に依りて南米伯刺刺爾國を移民地として選擇せんとするものなり。乞ふ此三項に就いて述ぶる所あらん。

(一)伯刺西爾の天産物に富むや、殆んど無盡藏とも謂ふべく。咖啡は全地球産出額の三分の二を産し、綿花は合衆國と競ひ、甘蔗は印度と争ふべし。而かも此三品は開墾せられたる一小部面の産出に過ぎずして、今後開墾の行はるゝに於ては其の産

出は幾何の多額に至るを知るべからず。千九百一年より同二年に至る間にリオ、デ、シヤチーロより輸出せる咖啡の産額は一千六百萬袋の多きに及べり。又サンパウロには壹萬五千七十五箇所の咖啡栽培所あり。而して其の一箇の栽培所は多きは二十萬少きも五萬を下らざる咖啡樹を有せり。砂糖製造所は全國を通じて九十七箇所あり。單にパルナムプ州より輸出する砂糖のみにても一百九十七萬三千八百六十袋に及べり。又同州に於ける綿花の産出は一箇年二十八萬九千八百二十六包に及びしことあり。綿糸製造所は全國を通じて百五十五箇所あり。其の總資本金は一億「ミルレース」(我が約七千萬圓)之に使役する労働者は二十萬人に達す。既に咖啡、砂糖、綿花の三大産物ありて世界の大貿易國たる資格を有するに拘らず。尙護謨、煙草、菓實等の産出少からず。殊に地中には金、銀、錫、マンガン、鐵、石炭、石油の埋藏せらるゝあり。その他金剛石並に有價寶石を出せり。又草原には牛馬羊等の繁殖するあり。之を要するに伯國は天賦の富に於て南米諸國中第一位を占むるのみならず。世界萬國の内にて第三位を下らざるべしといふ。

(二)伯刺西爾の面積は八百三十三萬七千二百八十八基米突平方にして、之を我が日本の面積に比すれば約二十一倍大なり。然るに其の人口は極めて稀薄にして最近の調査に依るに一千四百三十三萬三千九百十五人なり。之を日本の人口に比するに約十分の三に當る。故に一基米突平方の人口は遽かに一人七分に過ぎずして、日本の一基米突平方百十三人なるに比すれば、人口の密度は日本の約百分の一強なり、去れば日本人口密度の割合を以て人民を繁殖するものとせば新に九億三千三百七十六萬八千四百十六人の大數を容るゝに足る。然るに各國よりの移民數は千八百七十一年より千八百九十二年に至る間に八十六萬九千九百九十一人にして、此二十一年間の移民數は北米に於ける一年間の移民數たるに過ぎず。而して千八百九十八年の國別移民數は左の如し。

國別	移民數(一八九八年)
意大利	三三、二七二
葡萄牙	一一、六六二
西班牙	五、九四三

奧地利	六六九
獨逸	四七七
佛蘭西	二四七
露西亞	一三七
瑞典	一一九

前表に示すが如く意大利は第一の移民國なるに、一昨年來伊國政府は同國民の契約移民として伯國に渡航するを禁せしより、サンパウロ州の如きは一時廢止せし移民補助費の支出を再行して、來年末より葡西兩國の移民に對し、二十歳以上の男女には各五磅、二十歳以下の男女には二磅十志宛の渡航費を與へて移民の渡來を奨勵せり。是に由りて見るに伯國には移民の競争未だ起らず。無限の寶藏は外人の來りて開扉するを待ちつゝあるの觀あり。

(三)移民歡迎の情況はサンパウロ州が移民補助費を葡西兩國の移民に給與するを以て已に明白なれども、同州が更に日本の移民を歡迎せんとする情況は左の一書之を證明して餘りあるべし。

伯國に於ける日本移民歓迎の事情(杉村辨理公使の報告)

國書捧呈の爲め大統領閣下に謁見す。其の際閣下に餘談として日本移民に及べり。其の後大藏大臣を訪問す。大臣又曰く我が國人口未だ足らず、願くは日本殖民地を作ること力盡されんことを云々。後又サン、パウロ州を巡視せしに、同州の官民は熱心に日本移民の誘導を懇請して已まず、殊に同州の農務長官及び重なる農場主は予を導て移民收容所は勿論遠く各農場を巡視せしめ且つ移民誘導の方法に就いて懇々要請する所ありたり。因て思ふにサン、パウロ州が日本移民を切望するは左の四點に原因するもの、如し。

- 第一 内地の農業開發に益々多數の耕夫を要する事。
- 第二 従來は伊國移民に依頼したるも伊太利の移民は不潔なるのみならず、多くは出稼的にして去來常なく、咖啡收穫時期の如き多數の労働者を要する際には、往々にして耕主等に支障を蒙らしむる事。

第三 兩三年前移民のことに關して伊國政府と葛藤を生じたる末、伊國政府の要

求を拒絶したるより、伊國は其の報復手段としては契約移民の渡航を禁じたる爲め、サン、パウロ州は特に移民の缺乏を感じたる事。

第四 歐洲各國殊に獨逸の如きは移民の奨励と共に勢力扶植の底意あるもの、如くなるを以て之を悦ばざる事。

各方面より考察し得たる結果、右の如くにして日本移民の歓迎は、決して假装的にわらざることを信す。

移民旅費償給に關し農務長官と我が杉村公使との問答

杉村公使は移民旅費償給の事に關して、サン、パウロ州農務長官に對して左の如き三問を爲せり。

- 第一 日本移民は未だ當州に來りたるものなく、土地の事情に暗く、最初より永住的家族の移民を望み難し。乍去移民は年一年と當州の生活を樂み親戚朋友を誘致する形勢に推し移りたる場合には、家族連れの制限を勵行するも可なり。若し當州にして現行法を固守し家族連れにあらざれば旅費を償給せずと云は

日本移民は或は成功し難きを恐る。之に對して變通の考案なきや。

第二 政府は移民旅費を幾許まで償給し得べき見込なるや、政府償給の外に雇主より補給の道なきや。

第三 右旅費は後日返済を要せずして可なるや。

右の三問に對する農務長官の答へ左の如し。

第一 御申出の事情は尤と聞ゆれば最初は日本移民に限り特別法を設け單身者とも雖ども旅費を償給することゝ爲すべし。乍去單身者は去就常なく雇主に困難を感せしむること多ければ、三五人一組となり一家屋に居住し互に相制して容易に耕地を去らしめざる様したし。當州政府は日本移民を希望すれば最初は可成丈鄭重に之を取扱ふことゝすべし。又最初移民を送る時期は四月頃を可とす。同月は漸く秋冷に向ひ且つ咖啡收穫の季節に近づき移民の収入最も多き際なれば、何卒其頃に到着する様計畫あらんことを望む。

第二 歐洲移民に給與する旅費は、距離の遠近に従ひ幾分の等差あるも大抵六磅内外なり。日本は距離遠しと雖ども、政府の都合もあれば、七磅位迄を給與し得る見込なり。但し此點は緊要問題なれば必要の場合に臨み書面にて協議すべし云々。

(附言)本官(杉村公使自身曰ふ)等を案内せる重なる耕主の一人は政府より七磅耕主等協議の上七磅共計十四磅まで給與するも行はれ難きにあらざると云へり。尤も此等は愈々移民を送らるゝ場合に我が當業者と同州の當局者と協定を遂げたる上ならでは確言し難し。

第三 旅費は後日返済を要せず。

(四)南米は遠きを出でずして世界の一大貿易國たらん。然らば今日よりして南米に好箇の移民地を占有して、他日の地盤を作るは國民發展の上に缺くべからざる政策なりとす。今や歐洲大陸の人口は一大潮流を成して北米に向つて滔々乎として注ぎつゝあれども、限りあるの面積に向つて限りなく増加する人口の潮流を吞了するは

數理の許さざる所なればなり。マルホール氏の調査に依る文明諸國の人口増加割合は左の如きものあり。

國別	一八三一年	一八九六年	増加	百分比率
英吉利	二四二〇	三九五〇	一五三〇	六三
佛蘭西	三二五〇	三八四〇	五八〇	一八
獨逸	二九八〇	五二二〇	二二四〇	七五
露西亞	五五〇〇	一〇五八〇	五〇八〇	九二
奧地利	二九九〇	四三四〇	一三五〇	四五
伊太利	二二〇〇	三二二〇	一〇二〇	四八
其他諸國	三六〇〇	五八五〇	二二五〇	六二
歐羅巴	二二八四〇	三六九〇〇	一四〇六〇	六二
合衆國	九七〇	七〇四〇	六〇七〇	六三
米領殖民地	一九〇	一一六〇	九七〇	五二〇

歐米諸國に於ける人口の増加比率已に此の如きものあり。又東洋に於ては支那國の毎年約四百萬人を増加するあり。更に又日本の約五十萬人を増加するありとせば、遠からざる將來に於て南米は移民の競争點となるべく。既にして稍勞力の此地

に滿つるに至らば咖啡、綿花、甘蔗等の産出物は世界の各市場に分配せらるべく。近く數年前に南米に見たる咖啡恐慌の如きは之を見んと欲するも得べからずして、是等の天産物に由りて南米は近き將來に世界の一大貿易國たるや疑ひを容るべからずアルトン氏曰く今日に至れるまでの世界貿易は同一地帯の内にて東西の間に行はれたるも、將來は地帯を異にして南北の間に行はるべしと。是れ豈南米の近き將來に一大貿易國たるべきを豫言するものにあらずとせんや。然らば則ち早く今日に於て此方面に向つて移民の地歩を占め置くは策の得たるものと謂ふべきなり。獨逸國が近來に至りて伯國南部のサンタ、カタリナ州及びリヨグランデ、ド、スール州に盛んに移民し。且つ鐵道、港灣、船渠其他の公共造營物の資本は悉く自國より出資せしのみならず。伯國の外債券六千五百九十一萬七千五百九十七磅の三分の二を獨逸資本家の手に買占め、着々經營を進むるが如きは、蓋し此國の將來に見る所あればなり。不肖が移民地として伯國を擇ばんとするは今日の獨逸國と所見を同するものと謂ふべきか。

上來陳述したる四項の理由に依りて我が戦後の移民地としては伯刺西爾を推撰せざるべからず。而して同國內に於ては前述杉村公使の報告に重きを置き特にサンパウロ州を推撰せざるを得ず。伯國の首府リオデジャネーロは最先に開かれ、今日に於ても貿易は國中第一位に居るも同地は夏期數月に亘り氣候酷熱なるを以て外國人の多くは茲に居住するを好まず。之に反してサンパウロ市は夏季に於ても温度七八十度を昇降するに過ぎず、且つ一般に健康地たるは氣候の善良なるに由るべしと雖とも、衛生法の發達も亦與りて力あるもの、如く、杉村公使の報告に依れば同州の衛生事務は伯國第一なりといふ。又リオ市は商業地として廣大なる商品産出地を附近に有せざるも、サンパウロ市は全國輸出の三分の一を占むる珈琲の産出地を控ゆるの外、耕耘に適する無限の未開地を有して前途頗る多望なり。而してサンパウロ港はサンパウロ州に於ける唯一の貿易港にしてサンパウロ市との間には鐵道の布設ありて二時半にして來往するを得べし。此鐵道は英國の資本にて布設せられたるものにして、山路昇降の十餘哩間には二線(複線にあらざる別路なり)を設け將來の交通

頻繁を豫見して兩線併用の目的に出でたるものなりと云へり。且つサントス港は天然の良港たる上に巨費を投じて設備を完全にしたるを以て、獨り船舶の碇泊に安全なるのみならず解舟を要せず直ちに堤岸に幾隻の船舶を横附して貨物の揚卸を爲すべし。蓋し伯國第一の良港ならん。土着の人々は堤岸の長を誇りて世界第一と稱せり。貿易額は今日の所にてはリオ市が全國貿易の百分の二十九強を占むるに對して、サントス港は百分の二十五強を占むるに過ぎざれども、將來後者が前者を壓倒するに至るは疑ひなし。又サンパウロ市は現時は尙第二の都府として首府リオ市の人口八九十萬と號するに對して三十五萬を稱するに過ぎざるも是亦た遠からざる將來に於て首府を凌駕するに至らん。サンパウロ市とサントスとは相須つて同國隨一の都府たらんとするは、彼の廣大なる珈琲の産出地と無限なる未墾地とを背後に控ゆるの點より觀察して何人も之を想像するに難からず。英國が此の兩地の間に二線の鐵道を布設して近き將來の勃興を豫期しつゝあるもの豈偶然ならんや。是れ不肖が伯國二十一州の内に於て特にサンパウロ州を撰擇して我が移民地とすべしを首倡する

所以也。若し夫れサンパウロ州と他の各州との面積人口の現時に於ける比照は左表に示すが如し。

伯刺西爾の面積人口（一九〇三年政治年鑑）

州名	面積	人口	密度
アゴラス	二二、五八〇	五二一、四四〇	二二、一
アマソナス	七三二、二五〇	一四七、九一五	〇、二
パヒヤ	一六四、六〇〇	一九一九、八〇二	一一、〇
セアラ	四〇、二四〇	八〇五、六八七	二〇、〇
エスピリト、サント	一七、三二〇	一三五、九九七	七、二
ゴイヤス	二八八、四七〇	二二七、五七二	〇、七
マランハオ	一七、五二〇	四三〇、八五四	二、四
マツト、グロツソ	五三二、五五〇	九二、八二七	〇、二
ミナス、ジエラエス	二二一、八九〇	三、一八四、〇九九	一四、三
パラ	四四三、七九〇	三二八、四五五	〇、七
パライバ	二八、八五〇	四五七、三三二	一五、七
パラナ	八五、四三〇	二四九、四九二	二、八

茲に翻りて伯刺西爾國に於ける近年貿易の大勢を見るに、一千九百二年及び同三年間全國の貿易總額は左の如し。（伯國には金貨なきも税關納税の際適用する假定金貨八「ミル」八百八十八「レール」八八八を以て英貨壹磅に當るものとす）

輸出入	一九〇二年	一九〇三年
輸	三三三、八九二、五四六	三二七、八五〇、四二二
入	二〇六、九二八、一六〇	二一五、一八〇、五三九

直轄地	面積	人口	密度
ヘルナムアゴ	四九、五六〇	一〇三〇、二二四	二〇、七
ロアオイ	一一六、四九〇	二六七、六〇九	二、三
クオ、テ、ジヤチーロ	二六、六三〇	八七六、八八四	三三、九
リオ、グランデ、ドノルト	二二、一九〇	二六八、二七三	一二、八
リオ、グランデ、ド、スール	九一、二五〇	八九七、四五五	九、八
サンタ、ガザリナ	二八、六二〇	二八三、七六九	九、九
サン、パウロ	一一二、二八〇	一三八四、七五三	一一、三
セルジューバ	一五、〇九〇	三一、九二六	一一、三
直轄地	五四〇	五二二、六五一	九六〇、五
合計	一、三二八、一三〇	四、三三三、九一五	四、五

合計 五三〇、八二〇、七〇六
 五四三、〇三〇、九五一
 而してサンパウロ市を中心として集散する貿易品の價額は、我が貨幣に換算して、輸出壹億貳千七十餘萬圓輸入四千八百八十餘萬圓(一千九百三年)にして共計壹億六千貳百五十餘萬圓に達せり。又伯國と各國との輸出入貿易比較は左の如し。

國別貿易表

(甲) 輸入表

國名	一九〇二年	一九〇三年	總計	百分率
獨 國	一三、六七〇、〇二〇	二六、五〇六、三六六	一一、四四	一一、三二
亞爾然丁	一八、五二四、四四五	一九、二五九、六七六	八、九五	八、九五
澳 洲	三、八一八、七二五	三、九二〇、〇六三	一、八四	一、八二
白 耳 義	四、九一六、六七五	六、二九〇、二五二	二、三八	二、九二
北米合衆國	二五、三四八、八二四	二四、二八三、八〇一	一一、二五	一一、二九
佛 國	一八、二七四、三七八	一八、九五五、三〇八	八、七五	八、八二
英 國	五八、二四八、二〇八	六〇、九六八、九〇二	二八、一五	二八、三三

伊 太 利	七、五八二、二〇六	八、〇一一、一九二	三、六六	三、七二
葡 萄 牙	一四、三三七、六七三	一五、五三七、一一一	六、九三	七、二二
英 殖 民 地	一一、八六六、七八三	二〇、一二五、六五三	六、二二	四、七一
烏 爾 圭	一〇、九三六、五五四	一一、六三七、八四八	五、二九	五、四一
其他諸國	八、五〇五、六七九	九、六八四、三六七	四、一一	四、五〇
總 計	二〇六、九二八、一六〇	二二五、一八〇、五三九	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇

(乙) 輸出表

國名	一九〇二年	一九〇三年	總計	百分比率
獨 國	五一、二二二、四〇〇	四八、六二〇、八九三	一五、八一	一四、八三
亞爾然丁	九、一二三、一三六	七、〇八四、四九七	二、八二	二、一四
澳 洲	九、五一八、七四一	八、八九四、九三二	二、九四	二、七一
白 耳 義	七、二七〇、〇八二	六、二二八、四六二	二、二二	一、九〇
北米合衆國	一一九、八六一、二九三	一三五、一一六、三六〇	三七、〇一	四一、二一
佛 國	三三、七三八、四八四	三〇、九六七、六九五	一〇、四二	九、四五
英 殖 民 地	二、九八七、九二二	一、四五〇、八八一	〇、九二	〇、四八
烏 爾 圭	三、九〇六、八一三	二、八七六、三〇二	一、二二	〇、八八

其他諸國 二三、九九六、四六九 一六、三六〇、六七三 七、四四 四、九〇
 總計 三二八、八九二、五四六 三二七、八五〇、四二二 一〇〇、〇〇〇 一〇〇、〇〇〇
 又一千九百三年に於ける伯國と英獨佛米四國の出入船舶數を見るに左の如し。

	入港船舶	出港船舶
英國船	一、六九九	一、六九六
獨逸船	七六四	七六九
佛國船	三四九	三五〇
米國船	二八	三一

目下の所にて伯國へ渡航するの捷路は紐育を経由して同港より出づる一箇月一回の定期船又は毎月一二次の臨時船に由るか、又は西班牙國リスボンよりする定期航路によりて渡航するに在り。然れども愈々日本移民を實行する際には五百人以上の團體を爲さば支度費及び船賃等一切にて毎一人二百圓にて渡航せしむるを得べく、而して渡航船は特に之が爲め準備するを以て目下に於けるが如き迂回の航路を取るに及ばず。聞く所に依れば東洋汽船會社は南米西岸航路を開始すべしと。蓋し西岸に

は既に二千餘の日本移民あるを以て先づ此航路を開始するならんと雖も、他日東岸にも續々日本移民を見るに至らば、同會社が更に東岸航路を開始するや疑ひなかるべし。近來獨逸の伯國に對する航海の非常に發達したるは移民の餘響に外ならず。願ふに移民の到る處には必らず其の本國との通商を伴はざるはなし。何となれば人情として本國産の物品を消費せんとするは、自然の勢ひにして隨つて移民は本國の貿易を擴張するに最も力あればなり。他日我が國にして伯國に移民を試むるに至らば、又大に我が貿易を此方面に擴張せしむるに至るや明白也。

其の他特に記すべき一事は伯國政府は務めて外國人の渡來に便宜を與へ、歸化法の如きは其の方式を簡易にして只管外人を歓迎して措かず。聞くが如くなれば伯國に於ては人口七萬以上の移民には一種の獨立自治を許すべしといふ。果して然らば彼の北米にて日本人は縦令ひ幾年の久しき間住居するも市民權を許與せざるが如きの比にあらざるなり。

以上開陳したる理由に依り、今回戰地より凱旋し來れる幾十萬の軍人及び非戰鬥員

の今後に於ける生活問題の解決として、南米伯刺西爾國サンパウロ州に幾團の大移民を斷行せんことを主張するものなり。今や我が軍凱旋の日迫るの時に方りて此議を爲すを聞かば、人或は一時の窮策を以て目するも知るべからずと雖ども是れ決して然らず。内我が國の經濟情態に觀、外列國の發展に察して、早晚我が國民は島國蟄居を打破して海外に發展せざるべからざるの運命を有するものたり。是れ世上識者の一齊に看取する所にして、今や端なくも多數軍人の新に戦地より歸來せんとするに臨み、之を一大動機として早晚斷行せざるべからざる移民政策の端緒を茲に發すといふに過ぎず。即ち後來必然行はざるべからざるの政策を今日の機會に行はんとするのみ。若し夫れ軍人其の人に在りては現役は無論之を除外し、豫備後備の諸氏に至りては、身戰場に出で國民たる者の盡すべき本務を十二分に盡したり。今より田園に歸臥して優遊餘生を樂むも不可なしと雖ども、而かも各自の希望に由り更に餘勇を鼓し大和民族發展の先鋒と成りて、戦功の光榮と海外移民の名譽とを併せ收むるも亦男兒の一快事ならずとせんや。因て茲に南米移民策斷行の議を開陳して

大方諸君子の裁斷を仰がんとす。若し夫れ伯刺西爾國に於ける歐洲移民の方法、其の他の國情は別紙參考書(省略す)に載す併せて瀏覽せられんことを望む。又本書中明治三十八年十一月廿八日發行通商彙纂に故杉村辨理公使の報告書掲載あることを記したれども通商彙纂は讀者中或は之を得るに容易ならざる向もあらんかと慮り參考として左に摘録す

南米伯刺西爾國「サン、パウロ」州

移民狀況視察復命書

(明治三十八年六月三十日附在伯刺西爾帝國公使館報告)

「サンパウロ」州ニ於ケル移民情況總說

南米ト云ヘハ一般ニ未開ニシテ蠻風ヲ脱セサル國土ノ如ク思惟セル本邦人蓋シ少シトセサルヘシ然ルニ伯刺西爾ノ南部ニ於ケル「サンパウロ」州ノ首府「サンパウロ」市ハ其人口三十五萬ヲ有シ其市ノ廣袤ハ十八「キロメートル」ニ十二「キロメートル」ニシテ佛都巴里ト相匹敵シ北米ノ大都巨市ニ於ケル如ク天ニ聳エル大厦高樓ナシト雖モ市ノ中央ハ三層若クハ四層ノ巨屋櫛比シ四邊ノ塲末ハ二層又ハ平屋相連リ兎ニ角巴里大ノ面積ヲ蔽フヲ見ル故ニ高ニ登リ之ヲ望ムトキハ極目家屋ニシテ幾ント歐洲ノ大都ニモ讓ラザルノ觀アリ而シテ其間ニ電車馳セ馬車走り電信電話ノ線ハ電車ノ線ト相交错シテ滿天蛛網ヲ張ルカ如ク數萬ノ電燈ハ肩摩轂擊ノ夜ヲ照シテ晝ノ如ク其繁榮熱

間ノ程度モ歐洲第二流ノ都會ト伯仲ノ間ニ在ルカ如シ加之同市住民ノ大多數ハ白人ニシテ當國北部ニ於ケルカ如ク黑人ヲ見ルコト甚タ少ク隨テ百事進歩的ニシテ北部ノ人情ト其趣ヲ異ニセリ南米諸國豈一概ニ未開視スルヲ得可ケンヤ而シテ同市如上ノ繁榮ハ僅ニ三四十年以來ノ發達タルカ故ニ歐洲諸國ノ市都ノ繁榮ノ既ニ爛熟若クハ枯渴ノ境ニ瀕シタルモノ、比ニアラスシテ當市ノ繁榮ノ發達ハ恰モ少年ノ進境ニ在ルカ如ク其迅速ニシテ且活潑ナル幾ント其底止スル所ヲ知ラサルハ思アラシメタリ右ノ如ク同市ヲシテ俄ニ發達セシメタルハ一ニ廣大ナル内地事業發達ノ反響ニシテ内地事業ノ發達ハ一般ニ氣候溫和土地豊穰ナルハ言フ迄モナク殊ニ同州内ハ珈琲ノ栽培ニ適スル特種ノ地形地味及氣候ヲ具備スルニ原因スルモノト認メタリ仍テ今少シク内地ノ情況ヲ説キ及サントス

沃野千里極目無際ナル語ハ本邦ニ於テハ關東又ハ濃尾ノ廣野モ之ニ當ルニ足ラスト雖モ「サンパウロ」州ノ内地ハ實ニ沃野千里極目無際ニシテ本官カ急行スル汽車ニテ一直線ニ十二時間ヲ走リタルモ猶之ヲ極ムル能ハサリキ而シテ其極目涯ナキ千里ノ沃野

ハ珈琲、甘蔗、米及綿花ノ耕作ニ好適スルノミナラス牛、馬、鶏、豚ノ牧畜飼養ニ好適スルカ故ニ比較的勞力ヲ費スコト少クシテ功果ヲ收ムルコト多ク手ヲ下シテ耕耘シ又ハ牧養サヘスレハ必ス相當ノ收穫利益ヲ得サルナシト去レハ内地ノ發達ハ中々侮ル可カラスシテ鐵道縱横ニ通シテ交通運輸ノ便ヲ助ケ今ヤ其延長併セテ三千七百七十「キロメートル」ニ達シ而シテ鐵道附近ニ勃興スル新市邑亦尠ナカラスシテ内ニハ人口四五萬ヲ有スルモノアリ州内電燈ヲ用ユル市邑既ニ二十二箇所ニ及フト云フヲ以テ見ルモ其發達ノ程度如何ヲ推考スルニ餘リアリ而シテ「サンパウロ」州カ一般ニ此如長足ノ進歩發達ヲ盡シタル所以ノ原因ハ是全ク外國移民ノ力ナリト云ハサル可カラズ州政府カ多年來巨額ノ資金ヲ投シテ移民ノ招來ヲ勉ムル所以知ルヘキナリ

第一章 「サンパウロ」州ノ地理、風土

位置「サンパウロ」州ハ伯國ノ中央以南ニ位シ「グリンヅイッチ」點起西經四十七度ヨリ五十二三度ノ間ニ在リ南緯二十度ニ起リ二十五度ニ至リテ盡ク面積 二十六萬「キロメートル」平方ニシテ北海道、九州、臺灣ヲ除ケル本邦ヨリ廣

キコト尙幾「キロメートル」ナリ然ルニ其人口ハ僅ニ二百五十七萬ノミ故ニ之ヲ「キロメートル」平方ニ見積ルトキハ其住民僅ニ九人強ノ割合ニ過キス(我邦人口ハ「キロメートル」平方百十三人ノ割合ナリ)

氣候 伯刺西爾ト云ヘハ世人ハ概シテ炎熱堪ユ可カラサル處ノ如ク想像スルハ大ナル誤ナリ當國北部赤道附近ニ在リテハ護謨ノ好產地タル「アマゾン」、「バラ」二州ノ如キ若クハ其附近「ペルナムブコ」、「バイア」等ニ在リテハ炎熱ノ度稍々甚シキモ赤道ヲ去ル南方二十餘度ノ遠キニ在ル「サンパウロ」州ノ如キハ其温度融和ニシテ炎熱ヲ感スルコト薄シ然レトモ伯國ノ冷温ハ必スシモ經度緯度ニ依リテノミ斷定ス可カラス「サントス」港ハ「サンパウロ」市ノ如セハ汽車程僅カニ二時間ノ距離ニ過キサリニ拘ハラス「サントス」港ニ於ケル炎熱ト「サンパウロ」市并其内部諸邑ニ於ケル冷涼トハ實ニ甚シキ相違アレハナリ概シテ海濱ノ低地ハ炎熱ニシテ内地ノ高地ニ入ルニ隨ヒ大ニ冷涼ナリト知ル可シ

「サンパウロ」州ハ其内地ニ入ルニ隨ヒ海面ヲ拔クコト五百乃至七百「メートル」ノ

高サニ在リ「サンパウロ」市ノ如キハ七百五十「メートル」ニ在リ冬期ニ於テ寒暖計
 稀ニ攝氏零度以下ニ降ルコトアリ夏期ニ於テハ三十五度ヲ超ユルコトナシト云フ今
 「シエルメン、ダンヌシー」氏ノ十二年間ノ統計ニ據レハ夏期最モ暑キ時ニ於テモ日
 影ニ於テハ決シテ三十度ヲ超ユルコトナク其一年ノ平均ヲ見ルニ海濱ニ於テスラ二十
 三度ニシテ高地ニ於テハ十九度ナリ尙内地珈琲園所在ノ地ニテハ冬期間々降霜ヲ見ル
 コトアリト云フ

雨量 十年間ノ平均ニ依レハ年平均一千五百「ミリメートル」ナリ
 之ヲ要スル「サンパウロ」州ノ温度ハ歐洲南部ノ氣候ト殆ント同一ニシテ但シ南歐諸
 國ニ於ケルカ如ク冬期ニ於テ激烈ナル沍寒ト夏期ニ於ケル酷暑トノ無キハ當「サンパ
 ウロ」州ノ大ニ優レリトスル所以ナリト云フ當州ニ於ケル歐洲諸國ノ移民カ能ク勞働
 ニ堪ヘ氣候風土ニ關シテ一言ノ不滿ヲ口ニセザルモノ蓋シ之カ爲メナリ

地味 當州ノ地味ハ極メテ膏腴ニシテ珈琲其他諸植物ノ耕作ニ會テ肥料ヲ要セスト云
 フ佛國地質學者ノ調査ニ依ルニ土壤ハ深ク地下二十三「メートル」ノ厚キニ達スルヲ

以テ對所ノ土地皆耕耘ニ適ス而シテ其最モ珈琲ノ栽培ニ適スル所以ハ其氣候酷熱ナラ
 ス又寒冷ナラス地味ハ鐵分ヲ含ミ地勢ハ拔海四百「メートル」乃至一千「メートル」
 ノ高サニシテ其凹凸起伏及其波動傾斜ノ程度特ニ珈琲栽培ニ適合シ（北部「バイア」地
 方ニテモ珈琲ヲ栽培スレトモ酷熱ニシテ成熟不揃ナリ又珈琲樹ハ痛ク霜害ヲ恐ルト云
 ヘリ）他國又ハ伯國內ノ他州ニ比較スレハ其勢少クシテ其收穫多キカ故ニ競フテ珈琲
 ヲ栽培セリト云フ乍去其地味カ強チ珈琲ノミニ適セリト云フニアラスシテ能ク甘蔗、
 米、棉花、玉蜀黍、馬鈴薯、甘薯并ニ諸種ノ菓物ノ栽培ニモ適合スルヲ以テ近年此等
 諸作物ノ耕作大ニ發達シ現ニ或地方ニ於テハ精米所ニテ粳米ヲ精ケ又我三十萬圓程ノ
 巨費ヲ投シテ精糖所ヲ建築シ居ルヲ目撃セリ

第二章 「サンパウロ」州ニ於ケル移民ノ必要

「サンパウロ」州カ受クル天然ノ惠澤ハ前ニ略述セシカ如ク其氣候地味共ニ珈琲其他
 米穀、甘蔗、綿花等ノ耕作ニ適合シ就中珈琲ノ栽培ニ適スルコトハ世界中第一位ヲ占
 ムルハ左ノ産額ニ依リテ見ルモ明カナリ蓋シ世界ニ於ケル珈琲ノ産額ハ大凡千九百五

十萬袋ナリ然ルニ其大部分タル千六百二十四萬餘袋ハ當伯國ノ產出スル所ニシテ其内千二百萬袋ハ現ニ當「サンパウロ」州ノ產スルモノタリ伯國稅關ノ收入高ヲ見ルニ當州ノ港口「サントス」ハ「リオ、デ、ジャネーロ」港ニ次テ伯國中ノ第二ニアリ而シテ其輸出高ハ伯國港中ノ第一位ヲ占ム即チ全伯國ノ輸出三億五千餘萬弗中「サントス」港ノ輸出スル所實ニ一億千五百萬弗ニシテ而モ其最大部分ヲ占ムルモノハ即チ珈琲ナリトス去レハ從來ハ珈琲栽培ノ利益大ナルコト他ノ諸作物栽培ノ利益ニ數倍シタリシカハ州民一般偏ニ珈琲ノ栽培ノミニ務メテ又他ヲ顧ルニ違アラサリシ有様ナリシカ四五年前ニ至リ珈琲ノ産額剩多ノ爲メ遂ニ世界ノ消費高ニ超過スルニ及ヒ茲ニ珈琲價額ノ暴落ヲ來シテ所謂珈琲恐慌ノ時代トナリ小耕主等ハ間々勞働者ノ賃銀ヲ支拂フコト能ハサル者サヘアルニ至レリ是ニ於テカ從前ニアリテハ年々幾萬ヲ以テ數フル程ナル歐洲移民ノ渡來頓ニ減少シ且ツ州政府モ亦從來給與セシ移民渡航費ヲ中止シ加之從前伯國ノ移民供給國ノ第一位ヲ占メタル伊國政府ハ或ル事情ニ依リ伊國移民ノ渡航ヲ禁シ(三十五年四月十五日以後)テ今尙其禁ヲ解クニ至ラス、然ルニ近來ニ至リ珈琲價格

ハ稍々上騰シ市場漸ク好況ヲ告クルニ至リ加之ナラス四五年以來州政府カ頻リニ指導獎勵セシ多種耕作ノ方策ハ近時漸ク州民一般ノ歸向スル所トナリ甘蔗、米作若クハ綿花耕作等ニ從事スルモノ多キニ及ヒ是ニ至リテ同州ハ復々頓ニ移民招來ノ必要ヲ感スルコト急ナルニ至レリ依テ州政府ハ一時中止シタル移民渡航費ヲ復活シ昨年既ニ西班牙、葡萄牙及埃國ヨリ渡航補助金ヲ與ヘテ七千五人ノ移民ヲ招來シ今年ニ至リテハ更ニ西、葡兩國ノ移民一萬人ヲ招來セシカ爲メニ同州々會ハ之カ補助費ヲ可決セリ今其渡航補助金ノ割合ヲ見ルニ左ノ如シ

自十二歲至四十五歲男女一人ニ付	英貨五磅乃至六磅
十二歲以下七歲迄ノ男女一人ニ付	同二磅十志乃至三磅

州政府カ斯ノ如キ渡航補助金ヲ與ヘテ移民ノ招來ヲ爲スヨリ見テモ如何ニ同州カ勞働者ノ必要ニ迫ルヤヲ知ル可シ而シテ同州カ移民ヲ要スル所以ノ理由當ニ一二ニ止マラス其重ナルモノヲ舉クレハ

第一、珈琲栽培勞働者ノ欠乏

第二、甘蔗、米、綿花等ノ耕作労働者ノ欠乏
第三、未墾地開拓労働者ノ欠乏

第四、家族的永住民ノ欠乏

右ノ内第一第二ニ就テハ前段既ニ述ヘタルヲ以テ今第三以下ノ理由ヲ略述セン
前ニモ既ニ云ヘルカ如ク同州ノ氣候地味ハ諸種ノ耕作物ニ好適シ珈琲、米、甘蔗、綿
花等ハ云フモ更ナリ、甘薯、馬鈴薯、小豆、豌豆等ノ諸作ニ適合シ特ニ玉蜀黍ノ如キ
ハ年四回ノ收穫ヲ爲スヲ得而カモ土壤ノ膏腴ナル嘗テ肥料ヲ施スノ要ナシト云フ而シ
テ其收穫ナルモノ實大ニシテ粒多ク我邦禾穀ノ到底比較スヘキニアラス、甘薯、馬鈴
薯等ハ一根ニシテ能ク頭大ナル四五ノ實ヲ結フヲ見ルモノ特ニ珍トナスニ足ラス天然
ノ惠澤此ノ如クナルヲ單ニ労働者欠乏ノ爲メ内地ノ過半特ニ鐵道交通ノ便アル處ニ於
テスラ尙空シク雜草ノ繁茂ニ委セラル、ノ廣地其幾十萬里ナルヲ知ラスト云フ有様ナ
リ是レ「サンパウロ」州官民カ移民招來ヲ必要トスル理由ノ一ナリ
第四ノ理由、今ヲ距ルニト十八年前「ペドロ」二世皇帝ノ時黒奴ヲ解放シタルカ爲メ

ニ地主等ハ大ニ労働者ノ欠乏ニ苦ミ俄ニ従前ノ黒奴ノ労働ニ代ユルニ白人ノ出稼移民
ヲ以テセリ然ルニ其出稼移民特ニ伊太利、葡萄牙、西班牙等ヨリ來リシ者等ハ兩三年若
クハ四五年間伯國ニ居リテ多少貯蓄ヲ爲ストキハ之ヲ携ヘテ多クハ歸國スルノミナラ
ス甚シキハ珈琲收穫期即チ労働賃銀ノ最モ高價ナル季節ヲ視テ四五ヶ月間來伯シ其季
節ノ終リニハ所得ヲ携ヘテ歸國スルモノ甚タ尠ナカラス如此ニシテ伯國ノ富ノ一部ハ
毎年必ス外國人ノ懷ニ入リテ伯國ヲ逃レ出テタリ加之彼等ハ最初ヨリ土着ノ念ナキ者
ナルカ故ニ永久的經營ヲ爲シテ伯國ノ國富ヲ増進スルカ如キトニハ毫モ着手スル者ナ
ク只タ眼前一時ノ利益ヲ獲得セントニノミ之レカテ伯國カ必要トスル人口増加ニハ
何等裨益スル所ナカリキ去レハ近年ニ至リ官民共ニ茲ニ着眼スルニ至リ従前ハ移民ニ
土地ヲ讓與スルコトナカリシカ兩三年以來政府モ人民モ共ニ讓與若クハ賣渡シテ以テ之
カ土着ヲ獎勵スルコトハナレリ特ニ現農務長官「カルロス、ボツテリヨ」氏ハ右移民土
着制度ノ發案者ナルカ其熱心ト精勵トヲ以テ頻ニ大地主等ヲ説諭シ途ニ今日ニ至リテ
ハ州ノ輿論ヲシテ全ク二時的出稼移民ヲ好マヌシテ家族的永住移民ヲ擇フニ至ラシメ

タリ是一時出稼の移民ニハ自然壯男獨身者多ク而シテ獨身者ハ其去就定リナキモ反之家族的移民ニハ比較的土着永住スル者多ク正ニ伯國カ之ヲ要スル所ノ人口増加ノ條件ニ恰當スレハナリ是實ニ近時伯國移民撰擇方針ノ一變トシテ見テ可ナリ即チ「サンパウロ」ノ官民ハ今ヤ移民ニ向テ奮ニ勞働ヲ求ムルノミナラス亦タ人口増加ヲ求ムルコト、ハナレリ而テ右土着永住移民ノ所謂眞ノ移民ノ開始トシテ同州大統領ハ去五月三日露西亞移住民ノ爲メニ新「オデッサ」ト名クル殖民區ヲ新設シテ之ニ關スル勅令ヲ發布セリ右勅令ハ今後陸續新設セラル可キ殖民區設定ノ例範トナル可キヤニ思考セララル

第三章 「サンパウロ」市ニ於ケル移民取扱局

「サンパウロ」州カ移民ノ必要ヲ有スルコト前述スル所ノ如シ去レハ州政府ハ可成多クノ移民ヲ誘入センカ爲メ奮ニ其渡航費ノ補助ヲ與フルノミナラス尙移民等カ伯國到着後ニ於ケル便利ヲ與ヘンカ爲メニ二十餘年前ヨリ移民取扱局ナルモノヲ設置セリ移民取扱局 (Hospedaria de Imigrantes) ハ「サンパウロ」市ノ南端ニ在ル廣大ナル建物ニシテ本州農務省ノ直轄ニ屬ス此建物ハ「サントス」港若クハ中央鐵道ニ依リテ

「リオ、テ、ジャネーロ」港ヨリ來レル總テノ移民ノ集合所ナリトス左ニ本官カ觀察シタル重ナル點ヲ記述セントス

移民取扱局ハ移民ニ關スル事務所ト移民到着ノ際ニ於ケル宿泊所トニ充ツル所ナリ移民到着ノ際一週間丈ハ州政府ノ費用ヲ以テ茲ニ宿泊セシメ其間ニ於テ事務局ハ移民ノ勞働先キヲ周旋ス而シテ大概ハ皆一週間内ニ於テ雇ハレ先キヲ見出スヲ得ルト云フ若シ稀ニ一週間以後宿泊スル者アルトキハ移民ノ自費トシテ一日五百「レース」ノ割合ヲ以テ後日之ヲ返納セシムル規則ナリト云フ

移民事務所ノ主ナル事務ハ移民ト移民雇入人トノ間ニ立チテ双方ノ便利ヲ圖ルヲ第一トス例ヘハ珈琲園主其他移民ノ雇入ヲ希望スルモノハ其人數又ハ給料額等ヲ指定シテ事務所ニ之カ周旋ヲ依頼スルナリ而シテ事務所ハ移民船ノ到着スル一週間前ニ兼テ移民雇入依頼者ニ移民到着ノ日取并ニ其人數等ヲ通知シ依頼者ヲシテ移民受取ノ爲メニ當局ニ出頭セシム

又何等豫約ナクシテ到着セル隨意移民ニシテ勞働ノ口ヲ求メント欲スル者ハ必ス此事

務所ニ就テ其雇ハレ先キノ周旋ヲ依頼ス右等ノ場合ニ於テ移民ト雇主トカ労働ニ關スル契約ヲ爲スニ當リ事務局長ハ必ス之ニ參加シテ以テ双方ノ便利ヲ計リ又ハ土地ノ事情ニ通セサル新來移民等ヲシテ雇主ノ過酷ナル要求ニ應スルコトナカラシムル等全ク移民ヲ保護スルニ在リト云フ尙又事務局ハ移民到着ノ際ニ於テ其姓名、國籍身分、職業、年齢等ヲ一々書類ニ照シテ検査シ其合格ト否トヲ定ム

同局長ノ語ル所ニ依レハ常ニ労働者ノ欠乏ニ渴シタル同州ハ一時ニ二三千人ノ來着スルコトアルモ大抵一週間以内ニテ其雇ハレ口ヲ得サルコト無シト云フ且ツ右事務所ハ昔ニ渡來移民ノ周旋ヲナスノミナラス歸國スヘキ移民ニ關シテモ亦其世話ヲナスト云フ去レハ移民事務局ハ労働者雇込希望者并ニ來伯移民双方ノ便利ヲ計ル爲ニ政府ノ設置シタル雇込人口入所ト見テ大差ナカルヘシ

右移民取扱所即チ移民一時ノ宿泊所ハ煉瓦造リノ廣大ナル二階屋ニシテ其外觀ノ立派ナルハ玆ニ附屬シタル寫眞ヲ見テ知ルヲ得ヘシ其家屋ヲ圭字形ノ如クシテ空氣ノ流通ト光線ノ透入ヲ善クス是レ移民ノ多數集合セル時ニハ同時ニ五六千人ヲ宿泊セシム

ルコトアルヲ以テ空氣ノ流通ト光線ノ透入トニハ極テ思フ疑シタルモノナラズトテ同局長ノ語ル所ナリ其前部第一棟ノ階下ハ事務所應接所炊事場等ニ充テ其後部第四棟ノ下部ヲ浴室及移民所持ノ荷物置場トス中央ハ廊下ヲ以テ縦貫シ以テ往來ニ便ス其他ハ上下共皆移民ノ宿泊ニ充ツル所ナリ一室ノ廣サ二十四間四方位ノモノ凡ソ四十餘室アリ之ニ盡ク移民ヲ容ル、ニ於テハ能ク八千人ヲ收ムルニ足ルト云フ然レトモ移民ハ大抵前後相繼テ至ルヲ以テ一時ニ三四千人落合フコトハ稀ニシテ大抵ハ二三千人程ヲ一時ニ容ル、ニ過キスト云フ

浴室ノ構造ナト中々意ヲ用ヒタルヲ見ル第四棟ノ下方全部ヲ以テ盡ク浴室ニ充テ其數凡ソ三十有餘相併列セリ

本官カ農務長官ノ案内ニテ之ヲ視察シタルノ日ハ恰モ好シ其前日ニ到着セル西班牙移民一千八百人ノ宿泊セルモノアリシヲ以テ親シク其實況ヲ目撃スルヲ得タリ(西班牙移民ハ其健康、氣力、知識、労働共ニ本邦移民ニ比スレハ稍々劣ルモノト認メラレタリ)彼等ハ大概家族的移民ナルヲ以テ老幼男女各々自己ノ携へ來レル毛布等ヲ敷キ又

毛布ヲ有セサルモノ等ハ（西班牙移民ノ多クハ無一物ナリトス）事務局ヨリ無代價ニテ貸渡ス所ノ蒲蓆ヲ敷キ（此等ノ室ハ夜ニ入レハ移民ノ共同寢室ニ充ツルモノナリ而シテ目下寢臺ノ新調中ニテ既ニ調製済ノ分モ二十有臺アリ其價一箇ニ付三十「ミルレース」凡二十一圓程ナリ今年中ニハ千餘箇ヲ調製スル筈ナリト云フ）踞踞シテ談スル者アリ眩ヲ枕ニシテ憩フ者アリ、物ヲ食フ者アリ、手紙ヲ書ク者アリ而シテ兒童ハ其間ニ相嬉戯ス宛トシテ之レ下等船客ノ室ヲ見ルニ異ナラス然レトモ毎室洒掃ヲ善クシ且ツ日光ノ透入ト空氣ノ流通ヲ善クセシカ爲メニ各室二三十人ヲ容レタルニ拘ハラス少シモ惡臭ヲ感セス

洗濯所ハ第四棟ノ傍ニ更ニ一棟トシテ建テラレ石ヲ以テ疊ミタル恰好ノ場ナリ水ハ螺旋ヲ以テ自由ニ開閉スルノ仕掛ニテ移民婦女等ハ頻リニ洗濯スル者或ハ衣ヲ乾カス者等ヲ見受ケタリ

病室アリ茲ニハ寢臺、椅子、洗面器等一通リハ備ハリテ十二三室モアルヘシ移民患者ヲ療養スル所ニシテ事務局附ノ醫士アリ診察、藥價共ニ無料トノコトナリ視察ノ當日

ニハ一人ノ患者モナカリキ

炊事場ハ第一棟ノ下層ニ在リ流石ハ多數移民ノ宿泊スル所丈ケアリテ「スープ」ヲ煮ル釜、肉ヲ煮ル釜、飯ヲ焚ク釜等ノ大ナルモノ五六箇相併ヘリ右等ノ食物ヲ試嘗スルニ「パン」、「スープ」、肉、米飯等移民ノ食物トシテハ案外ニ善良ナリ其各自ニ與フル分量モ勞働者ノ平素ニ割合シテ與フルカ故ニ決シテ少量ニ苦ムコトナシト云フ、同局長ノ云フ所ニヨレハ壯年男女一日一人ノ食料ヲ一「ミルレース」（現今騰貴シタル相場ニテ我凡七十錢内外）ト見積ルト云フ水ハ清冷ニシテ一般市内ニ使用スルモノト同シ是レ同一水道ノ水ナレハナリ

移民宿泊所ノ屋後ニハ「サントス」港税關ノ派出所アリテ此ニテ一々移民携帶ノ荷物ヲ検査ス之レ移民ニ取リテハ都合ヨキ仕組ナリ抑モ「サントス」港ハ「サンパウロ」市ヲ距ルコト汽車二時間程ノ所ニアル同州唯一ノ港口ニシテ旅客貨物ノ出入頗ル繁劇ナルヲ以テ移民等カ一時ニ五六百人若クハ千人以上モ「サントス」港ニ到着スルニ際シ若シ其税關ニ於テ移民ノ荷物ヲ検査スルコト、ナセバ當ニ多クノ時間ヲ要スルノミナ

ラス移民ヲシテ空シク船中ニ留マラシムルカ又ハ上陸シテ其荷物ノ検査ヲ待タシメタル可カラス此等ノ不都合ト混雜トヲ避クルカ爲メニ移民等カ「サントス」港ニ到着スルヤ否ヤ列車ハ直ニ海岸ノ繫船場ヨリ移民及貨物ヲ搭載シテ例時「サントス」、「サンパウロ」間來往ノ汽車ニ接続ス而シテ汽車ハ「サンパウロ」停車場ニ達スル前ニ移民取扱所ノ傍ヲ通過スルニ當リ移民及荷物ヲ搭載シタル列車ヲ玆ニ取離シテ進行ス是ニ於テ移民等ハ直ニ其宿泊所ニ入りテ休憩スルヲ得、荷物ハ列車ニ載セラレタル儘取扱所構内ノ税關出張所ニ止ル仍テ右ノ荷物ヲ徐カニ検査シ終リタル後番號札ト引換ヘニ取扱所ノ倉庫中ニ整列ス而シテ移民カ右宿泊所ニ滞在セル間ニ於テ移民局ハ各々其ノ雇ハレ先キヲ周旋シ且ツ其雇人トノ契約ニ立合ヒ双方ノ便利ヲ計リテ契約ヲ取結ハシメタル後其移民ノ到達地ニ至ル間ノ汽車賃并ニ宿泊料共皆官給トナスコトヲ取計フナリ一言セハ移民着伯後ハ全ク一錢ヲ費スコトナクシテ其勞働地ニ達セシムルコトヲ得ル組織ナリトス要スルニ「サンパウロ」州カ移民ノ必要迫レルニヨリ隨テ移民誘入并ニ之カ保護ニ關スル設備ハ頗ル整ヘタリト云フヲ得ヘシ

第四章 移民ノ種類并ニ其勞働及賃銀

前章ニ述ヘタル如ク「サンパウロ」州ノ官民ハ今ヤ家族的永住移民ヲ多ク誘入セシコトヲ希望スルハ一般ノ傾向ナリト雖モ是レ全ク兩三年來新タニ案出シタル制度ニシテ素ヨリ急ニ其實行ヲ望ムヘキニアラス唯タ一時の出稼移民ヨリハ永住的移民ヲ得ンコトヲ希望スルト云フニ過キサレナリ且ツ「サンパウロ」州ガ移民ノ必要ニ迫レルノ急ナル未タ一時出稼ノ移民ヲ拒ミテ永住的移民ノミヲ容ル、ト云フカ如キ時機ニ達セサルノミナラス此等ノ時機ハ尙幾十年ノ後ニ於テ來ルヤ否ヤ疑ハシムル程ナリ去レハ今「サンパウロ」州ノ官民ハ實際ニ於テハ其一時のタルト永住的タルトヲ問フニ違アラスシテ苟モ移民ト云ハ、之ヲ歡迎セサルヘカラサル境遇ニ在ルモノナリ唯々其希望ヲ云ヘハ獨身者ヨリモ家族的ノ移民ヲ擇ヒ且ツ均シク家族的移民ニテモ一時出稼的ノ移民ヨリモ永久的土着ノ移民ヲ擇フト云フニ在リ而シテ其理由ハ獨身者ハ去就定リナキカ故ニ一定ノ年月其勞働ヲ必期シ難キニ反シ家族的移民ハ比較的永ク一所ニ止リテ之カ勞働ニ從事シ數年間他ニ轉スルノ恐ナケレハナリ殊ニ移民雇入主ノ獨身ノ移民ニ

關シテ最モ恐ル、所ノモノハ珈琲收穫期即チ例年五月ヨリ九、十月ノ交ニ在リテハ(場所ニヨリテハ十一月又ハ十二月ニ至ルコトモアリト云フ)短期間ニ多量ノ珈琲收穫ヲ要スルカ故ニ人夫ヲ要スルコト非常ニ多ク隨テ此時期ニ於テハ勞働賃銀又非常ニ昂騰ス此際ニ於テ家族ノ關係ナキ獨身者ニ在リテハ偏ニ賃銀ノ高キ所ノミヲ擇ヒテ之ニ就カントスルヲ以テ容易ニ前雇主ノ家ヲ去リテ比較的賃銀高キ他ノ園主ニ雇ハル、ノ恐アレハナリ、然レトモ獨身移民ハ必ス拒絕スト云フニアラスシテ比較的是ヨリハ彼ヲ擇フト云フニ在リ故ニ今移民ノ種類ヲ區別セハ左ノ三種トナスコトヲ得ヘシ

一、獨身移民

二、家族的移民)一時出稼ノ移民又ハ都合ニヨリ永住スルモノ

三、永住的家族移民

是ナリ而シテ其勞働賃銀所得ノ方法亦自然ニ異ナレリ

一、獨身移民ノ賃銀 獨身移民ノ雇入方ニハ年極メト日雇トノ二種アリ日雇ハ臨時ニ雇入レ平時ニ在リテハ賃銀凡二「ミルレース」ナリト云フ又年極メノモノニ在リテハ

一箇月大抵七十五「ミルレース」ヲ給與スト云フ即チ一日ニ「ミル」五百「レース」ニ當ル割合ナリ(日雇ヨリモ年極ノ給料ヨキハ後者ハ雇主ニ少クモ一年間其所ヲ去ラサルヘキ安心ヲ與フルカ故ナリ)而シテ孰モ食料ト宿所トハ主人持ナリト云フ、珈琲收穫時期ニ在リテハ收實セル分量ノ多寡ニ從ヒ別ニ給與スル所アリ一日ニ少クモ五六「ミルレース」ヨリ多クハ七八「ミルレース」ヲ得ヘシ此種ノ勞働者ハ平日ニ在リテハ耕主ノ命スル雜務ニ從事シ其耕地ヨリ附近町村ヘノ用達シ小使ヒ又ハ耕主ノ野菜家畜等ヲ附近ノ町村ニ賣リ出シ若クハ市場ヨリノ買物等ヲナシ又ハ野菜ノ耕作、珈琲手入ノ手助ケ等ヲナサシムルモノニシテ一定シタル勞働ナキモノ多シト云フ然レトモ獨身勞働者五六人若クハ十二三人相集マリ共同シテ合宿シ一週又ハ一箇月毎ニ輪番ニテ炊事ヲ司リ宛トシテ一家族ノ如キ組織ヲナスモノアリ此等勞働者ハ家族的移民ト同様ナル勞働ヲ取ルカ故ニ其勞働所得ノ割合ハ下ニ説ク所ノ家族的移民ノ賃銀ニ同シト云フ

二、家族的移民ノ賃銀及其他ノ收入 移民地方ニ於ケル重ナル勞働ハ固ヨリ珈琲栽培

ニアルヲ以テ一般勞働賃銀モ亦之ニ依リテ定マルモノ、如シ、故ニ今珈琲園家族移民ニ就テ之ヲ述ヘン

家族的移民ハ概シテ年極メ勞働者ニシテ雇主ノ無賃ニテ貸與セル家屋ニ居住シテ各々別戸ヲ爲ス其食料ハ自辨ナルモ珈琲手入ニ要スル農具等ハ雇主ヨリ無料ニテ貸與セラレ、ト云フ（其衣食住等ノ有様ハ後章ニ細述スヘキヲ以テ此ニ略ス）

勞働者ノ珈琲手入除草等ノ標準ハ一千株ヲ以テ單位トス其一千株ニ對スル給料ハ地方ト耕主トニヨリテ多少異ナレトモ一ヶ年平均凡ソ七十五「ミルレース」トス（目下ノ爲替相場ニ依レハ我凡七十錢ハ伯貨一「ミルレース」ニ當ル以下之ニ從フ）而シテ勞働者一人ニテ少クモ三千株ヲ受持チ得ルト云フ故ニ一ヶ年二百二十五「ミルレース」ヲ得ヘキナリ此ノ外又右ト計算法ヲ異ニスルモノアリテ珈琲樹ノ手入ハ年凡五回ヲ要スルカ故ニ其手入一回毎ニ千株ニ付十四「ミルレース」ヲ拂フト定ム耕主アリ此法ニヨレハ千株ニ付年七十「ミルレース」ニシテ若シ勞働者一人ニ付三千本ヲ受持チ得ルトセハ一年ノ所得ハ即チ二百十「ミルレース」ナリ

然レトモ珈琲樹手入ノ給料ノ如キハ移民カ其所得トシテ待ツ所ノ重ナル部分ニアラスシテ移民ノ待ツ所ノ重大ナル所得ハ別ニ之レアリ即チ珈琲收穫時期ニ於ケル所得是レナリ、收穫期ハ五月ヨリ九月末又ハ十月ニ至ル然ルニ大耕地等ニ在リテハ數千「エクタール」滿園ノ果實ヲ右短期ノ間ニ一時ニ之ヲ摘ミ取ラサルヲ得サルカ故ニ日モ之足ラサル多忙ノ期ニシテ隨テ勞銀最高ノ季節ナリト去レハ耕主ハ移民ニ前述ノ珈琲手入世話料ヲ拂フノ外此季節ニ於テハ特ニ移民ノ勞働即チ珈琲實收ノ分量ニ應シテ其勞銀ヲ給與ス右割合ハ採收果實五十「リートル」一「アルケール」即チ七基半入ノ一袋ニ充タス毎ニ五百「レース」(半ミル)ヲ與フルコトヲ去レハ強壯勤勉ノ者ハ一日十袋以上ヲ採收シ此季節間毎日必ス七、八「ミルレース」ヲ得ルト云フ（本官ノ實視セシ所ニヨレハ一日ニ、十二「ミルレース」ヲ得タル者サヘアリ）而モ其採收ノ勞働ハ必シモ難澁ナル事業ナラサルカ故ニ童幼婦女亦之ニ從事スルヲ得テ一日平均二三「ミルレース」ヲ得ルコト容易ナリト云フ故ニ今其最少額ニ於テ之ヲ見積リ日ニ五「ミルレース」トセハ其平均ニ近カラシ平兎ニ角此時期間移民家族一戸ノ所得ハ少クモ千

「ミルレース」ヲ下ラスト云フ而シテ右ハ普通ノ家族即チ一夫婦并一二幼童ヲ有スル者ニ就テ廣ク之ヲ云フモノニシテ若夫レ其家族中能ク勞働ニ堪ユル者三四人若クハ五人以上ヲ有センニハ之カ收入亦隨テ増加スルコト、知ルヘシ勞働者ノ給金ハ每月末ニ拂渡ス地主モアリ又ハ毎年二回ト定ムル耕主モアリ此所ハ當初ノ約束ニ基クト云フ間ク所ニヨレハ地主ト移民トノ契約ハ大抵ハ口約ニ止リテ書面契約ハ甚タ稀ナリ

移民ノ所得ハ前述ノ珈琲樹手入ノ給料ト收穫時ニ於ケル收實賃銀トノ外ニ尙移民ノ臨時收入ナルモノアリ夫ハ移民カ珈琲各樹ノ間隙（此間隙ハ凡六尺位ナリトス）ニ植付クルコトヲ許サレタル玉蜀黍、小豆其他ノ野菜ヲ賣リテ得ル所ノモノト尙移民住宅ノ後方ハ必ス野菜畑及羊、豚、鶏、鶯等ノ飼養ニ用フル地面アルヲ以テ之ヨリ得ル家禽等ヲ自家用ニ充テタル外ハ賣リテ以テ移民ノ臨時收入トス右臨時收入額ヲ知ランカ爲メニ二三ノ耕主ニ就テ之ヲ尋チシモ勞働者等ハ就モ其金高ヲ耕主ニ明言スルヲ嫌フヲ以テ之ヲ確知スルニ由ナシ然レトモ勤儉ナル移民ニ在リテハ毎年若干ノ貯蓄ヲナシ若クハ故國ニ送金スルヲ以テ此等ノ額ニ依リテ移民ノ總收入高ヲ推量スルヲ得ヘシ聞ク

トコロニヨレハ移民ハ概シテ一戸ニ付毎年少クモ三百圓内外ノ貯蓄若クハ故國ヘノ送金ヲ爲スカ如シト云フ是近頃埃國移民等ノ送金統計表ノ明示スル所ニシテ埃國政府カ近年頻リニ伯國移民ヲ獎勵スルノ理由蓋シ此ニ基クモノ多シト云フ

右移民等ノ勞働ハ普通一般ノ野外勞働ニシテ必スシモ苦難ヲ感スヘキ程ノモノニアラス珈琲樹間ノ雜草ヲ除去シ樹株ニ培土スルヲ主要ノ業務トス其他枯枝又ハ折枝ヲ截リ去リ又ハ幼樹ヲ植込ミアル寓穴中ヨリ枯葉雜草塵芥等ヲ取去ルニ過キス珈琲乾燥ノ業務ノ如キ又同ク容易ナル勞作ナリトス而シテ父兄壯者カ野外ニ於テ爾キ勞働ニ從事スル間婦女等ハ炊事、洗濯又ハ家畜飼養ノ世話ヲナシ又餘暇アレハ自ラ珈琲樹下ノ雜草ヲ蒞除スル等ノコトヲ爲シテ以テ男子ノ勞働ヲ助ク

家族的移民ハ如斯三四年若クハ五六年間勞働シテ多少ノ貯蓄ヲ爲シタルトキハ或ハ之ヲ携ヘテ故國ニ歸リ去ル者アリ又ハ其貯蓄ニテ伯國ニ於テ地所ヲ購入シ家屋ヲ建築シ以テ或ハ農業ヲ營ミ或ハ商業ニ從事シテ自活ノ計ヲ立ツルモノアリ其農商業等ノ利益ハ之ヲ故國ニ於ケル農商業ノ徒ラニ勞多クシテ利益少キニ比スレハ伯國ニ於テ自活ス

ルノ反テ容易ナルヲ認メ遂ニ其儘永住スルモノ尠カラスト云フ「サンパウロ」州ニ於ケル伊國商人等ハ皆始メニ出稼移民ニシテ遂ニ永住的移民トナリシモノナリト云フ而シテ同市内移住者ノ數ハ少クモ十萬ニ下ラス既ニ同市ニ於ケル Rua Immigrantes (移民町)ハ悉ク伊國人ノ占ムル所ニシテ中ニハ既ニ巨萬ノ富ヲ有スルモノアルニ至レリト、要スルニ伊國移民ノ同市ニ住スル者ノ多キコトハ同市ノミニ於テ三種ノ日刊伊字新聞アルヲ見テモ其如何ニ盛ナルヤヲ推知シ得ヘシ

三、永住的家族移民 トハ前述スル如ク自己ノ都合ニヨリテ偶然土着永住スルコト、ナリタル移民ヲ云フニアラスシテ始メ故國ヲ出發スル際ニ於テ既ニ全ク伯國ニ永住スヘキ決心ヲ以テ來ル所ノ移民ヲ云フ然レトモ伯國南部ニ於ケル南「リオ、グランデ」及「サンタカタリナ」州ニ年々來航スル獨逸移民ノ如キハ素ヨリ永住的家族移民ナレトモ是亦此ニ述ヘントスルモノトハ別種タルヲ記憶スヘシ何トナレハ茲ニハ特ニ「サンパウロ」州ニ於ケル永住的移民ニ就テノミ記述スルモノナレハナリ

扱「サンパウロ」州ニ於ケル永住的家族移民ハ前述ノ如ク全ク近來ノ創設ニシテ獨リ

移民ニ向テ勞働ヲ要スルノミナラス同時ニ「サンパウロ」ニ土着シテ其州ノ人口増加ヲ補益セントスル一舉兩得ノ方法ニ出テタル新制度ナリトス

此種ノ移民即チ永住的家族移民ハ其ノ移民等ノ享有スル便益保護(即チ其渡航補助金并ニ永住スヘキ場所迄ノ汽車賃及途中宿泊料)ヲ受クルノ外尙更ニ特別ナル便益ヲ享有スルモノトス、特別便益トハ廣大ナル地面ヲ或條件ノ下ニ非常ナル廉價ヲ以テ購置シ得ルコト是ナリ

今其條件ノ重ナル者ヲ舉クレハ移民一月ニ付二十五「エクター」(「エクター」ハ凡我三千六坪)ノ耕作地ヲハ「エクター」ニ付四十乃至六十「ミルレース」ノ廉價ヲ以テ讓與セラレ而シテ右地價拂込ノ方法ハ五ヶ年賦トナシ且ツ第一期ニ於テ地價ノ五分一ヲ拂込ミタル者ハ之カ假所有者タル權利ヲ讓與セラル、ノミナラス右地價ヲ全ク拂込ミタル者ハ其住宅地トシテ二千五百平方「メートル」ノ一區ヲ無代價ニテ讓與セラル、等是其重ナルモノナリ其詳細ハ左ニ譯載セル露亞西移民ノ爲メニ創設セラレタル新「オデッサ」殖民區設定ノ勅令ニ就テ見ルヘシ

勅令一千二百八十六號（一千九百五年五月三日）
 「サンパウロ」州大統領ハ一千九百年三月十五日勅令第七百五十一號第二條ニ依リ附
 與セラレタル權限ニ基キ露亞西移民ノ爲メニ「新オデッサ」ト名ツクル殖民區ヲ新
 設シ左ノ事ヲ勅令ス

第一條 州ノ所有地「ポンパール」莊地 (Fazenda Pombar) ニ全ク露國農業者家族的移民ノ爲メニ「新オデッサ」ト名ツクル殖民區ヲ創設ス

第二條 右莊地ハ左ノ如ク區分ス

(a) 凡ソ五十「エクタール」ノ面積地ハ試作場トシテ政府ノ保管ニ屬ス

(b) 其他凡ソ五十「エクタール」ノ地面ヲ莊地ノ中央ニ於テ撰定シ之ヲ市街建設豫定地トス其地面内ニ先ツ
 學校建築（政府ノ費用ヲ以テ）ニ要スル地所ヲ撰定シタル後其餘ノ地所ハ移民ノ住宅建築地ニ充ツル爲
 メ之ヲ一區二千五百宛ノ平方「メートル」ノ割合ヲ以テ區分ス

其殘餘ノ莊地ニ就テハ先ツ初メニ基地ヲ撰定シタル後（管轄區役所ト打合セノ上）其餘ノ土地ハ移民ノ
 耕作地ニ充ツル爲メ一區二十五「エクタール」宛ノ割合ヲ以テ區分ス

第三條（第一項）耕作地區ノ價ハ其土地ノ肥度、位地ノ良否等ニ隨テ「エクタール」ニ付四十乃至六十
 ルレーヌ」トス

（第二項）地區ノ代價拂込ノ方法ハ左ノ如ク之ヲ定ム

(a) 第一期地價拂込トシテ地價ノ五分一ヲ拂込ミタル者ニハ假所有者タル地券ヲ授與ス右ノ地券ヲ有セザ
 ルモノハ地區ヲ占有スルヲ得ス

(b) 第二期地價拂込ハ第二農業年度ノ終リニ於テ之ヲ爲ス

(c) 第三期地價拂込ハ第三農業年度ノ終リニ於テ之ヲ爲ス以下之ニ準ス

（第三項）前項ニ所謂農業年度トハ九月一日ヨリ始マリ翌年八月三十一日ニ終ルモノトス

第四條 地區讓受人ニシテ最終ノ地價拂込ヲ終リタルトキハ其地區ノ確定所有者タル本證書ヲ授與セラレ

第五條 家長死亡ノ場合ニ於テ其継テ讓受ケタル地區ノ第三期拂込ヲ終リタル者ナルトキハ政府ハ其未亡人ノ
 爲メニ殘餘ノ拂込ヲ免除シ其未亡人ニ右地區所有者タルノ本證書ヲ授與スヘシ

第六條 若シ地區讓受人ニシテ其地區内ニ牛馬豚鶏等ノ飼養場又ハ其他ノ建物ヲ建設シ又ハ苗木場ヲ設ケ又ハ
 菓林ヲ作り又他凡永久的經營ヲ爲シテ其地區ノ價格ヲ増スコト第四期及第五期拂込額ニ相當スルモノナルト
 キハ右地價ノ拂込期限ヲ一農業年度ノ間猶豫スヘシ

第七條 第三期地價拂込ミテ終リタル後ニハ地區讓受人ハ其地區ヲ賣渡シ又ハ抵當ニ差入ルコトヲ得、但シ
 右賣渡抵當等ニ關スル際ニハ必ス政府ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス政府ハ右等ニ關シ保證條件ヲ指定スヘシ
 右ノ場合ニ於テハ政府ハ地價拂込ノ期限ニ關シ猶豫ヲ與フルコトナシ

第八條 耕作地區ノ確定所有者タル證書ヲ有スル者ハ無代價ニテ莊地ノ中央市街建設豫定地内ニ於ケル住宅建

築地區ノ所有者タル證書ヲ授與セラル

初メ移民カ耕作地區ノ讓與ヲ得ルト同時ニ右住宅建設地區ノ利益權ヲ取得ス故ニ移民ハ其地區ニ自費ヲ以テ

家屋ヲ建設スルコトヲ得

第九條 移民カ住宅建設地ニ自己ノ家屋ヲ建築スルニ至ル迄ハ政府ノ建築ニ係ル移民會内ニ無代價ニテ宿泊ス

ルコトヲ得但シ其期限ハ二ケ年ヲ超ユルコトヲ得ス

移民ノ家族ニシテ喧嘩爭鬪ヲ爲シ又ハ品行不良ニシテ移民地區ノ風俗秩序ヲ擾亂スル者ハ本條ノ保護ヲ受ク

ルヲ得ス

第十條 移民ニシテ住宅建設地區ヲ有スル前ニ其地區内ニ家屋ヲ建設センコトヲ請願スル者ニハ政府ハ管ニ其

建築ニ便宜補助ヲ與フルノミナラス尙耕作ニ必要ナル諸器具并ニ牛馬等ヲ貸與ス

第十一條 移民ハ自費ヲ以テ建設セント欲スル家屋ノ形態、構造并ニ其價格ヲ定メテ之ヲ申出テ政府ニ其建築

ヲ請クヘシ但シ右家屋ノ形態ハ必ズ勞動者向キノ屋舎ナルヲ要ス

前條并ニ本條ニ規定セル耕作諸器具并ニ牛馬及家屋ノ代價ハ各自讓受地區ノ價中ニ合算ス而シテ右代價拂込

期限并ニ其方法ハ地區代價拂込ノ手續ニ同シ

第十二條 一家屋ニシテ勞動ニ堪ユル者五人以上ヲ有スルトキハ其家屋カ最初讓受ケタル耕作地區ノ隣地ニ於

テ尙一耕區ヲ讓受ケルコトヲ得

故ニ右ノ場合ニ於テハ其隣地ノ一耕區ハ三年間何人ニモ讓與サルコトナガルヘシ

三年間右家族ハ最初讓受ケタル地區ト同價同條件ニテ右ノ隣地讓受ニ付選擇權ヲ有ス

第十三條 耕區讓受人ニシテ其讓受地ノ代價拂込ヲ全ク終ラサル間ハ其讓受地内ニアル建築用材、薪炭用材ノ

商業ニ從事スヘカラス之ニ違フ者ハ耕區讓受ケル權利并ニ以前既ニ拂込ミタル地價ヲ沒收セラルヘシ

第十四條 政府ノ費用ヲ以テ耕區内ニ試作場ヲ設置スヘシ右試作場ニハ地方ニ適合セル諸種ノ農作物ヲ植付ケ

且ツ學理ニ基テ各種農作物ノ最良ナル耕作方法ヲ示スヘシ

第十五條 移民等ノ家畜改良又ハ善種保有ニ關シ便宜ヲ與フル爲メ政府ノ費用ノ以テ耕區内ニ飼養場ヲ設ケ地

方ニ最モ適合セル取種ノ家畜ヲ飼養スヘシ

第十六條 移民ノ農業生産上ニ便宜ヲ與ヘンカ爲メニ政府ハ耕區内ニ農業中央工場ヲ設置スヘシ而シテ右工場

備付ケ農業機械使用貸トシテ移民カ拂込ム金高ヲ以テ右工場ノ修繕及維持費ニ充ツヘシ

第十七條 政府ハ農業諸器具及耕作用并ニ運搬用ノ牛馬等ヲ多數備ヘ置キ之ヲ殖民地創設一箇年内ハ移民ニ貸

與スヘシ

第十八條 若シ地所讓受人ニシテ其生活費ヲ得ルカ爲メ貸銀ヲ得ツ、勞動セント欲スル者ニハ政府ハ右殖民地

内ニ於ケル政府所屬ノ地所ヲ耕サシメ相當ノ貸銀ヲ與フヘシ

殖民區監督官ハ最初ノ一箇年間ハ地所讓受人ヲシテ咖啡收穫時期ニ於テハ其附近ノ咖啡園ニ雇ハレテ労働ス
ルコトヲ周旋スヘシ(譯者註)咖啡收穫時期ハ毎年五月ヨリ十一月若クハ十二月ニ至ル其間ハ労働賃銀最高
ノ時期ニシテ壯者ハ平均一日八九「ミルレーン」ヲ得、移民ニ取リテハ最幸ノ季節ナリトス)而シテ右附近
非園ニ雇ハレ労働スル者ノ爲メニ政府ハ其労働者ノ往復共所要ノ汽車賃ヲ免除ス

第十九條 讓受地區ノ確定所有者タル證券ヲ附與セラレタル移民ハ自由獨立者ト宣布ス殖民區皆自由獨立者
ル時ニ至レハ政府ハ單ニ試作場ヲ管理スルニ止メ差支ナキ限リハ全ク他ノ監督ヲ解クヘシ

其際ニ現存セル種畜、農業中央工場及農具諸器械労働用畜類等ハ將來共從前ノ如ク殖民地ノ共同使用ニ供セ
ンガ爲ニ右殖民等カ組織セル組合ニテ無代價ニテ拂下クヘシ

第二十條 殖民區カ自由獨立ノ宣布ヲ得サル限リハ政府ハ殖民等ノ身上并ニ労働ニ關シテカ監督ヲナスヘシ

政府ハ監督官ヲシテ專ラ殖民地取捨規則ノ施行並ニ殖民區ニ於ケル風俗秩序ノ維持ヲ監督セシム

政府ハ醫員ヲシテ定期ニ殖民地巡回セシメ患者ノ診察治療ニ從事セシム

政府ハ殖民區ニ通譯兼書記ヲ置キ移民ト外人間トノ談話並ニ通信ヲ便セシム

右通譯書記ハ兼テ會計事務、記録并ニ文書發送等ヲ司ル者トス

第二十一條 政府ハ農業者タル「サンパウロ」州人又ハ他ノ伯國人若クハ外國人中ヨリ適當ノ人物ト認ムル者
ヲ擇テ無俸給ナル特別ノ委員ヲ任命シ之ニ屬國殖民長ノ稱號ヲ授ク

右殖民長ハ專ラ殖民區ノ行政即チ政府ト殖民間ニ立テ兩者情意ノ疎通ヲ圖リ同時ニ殖民等ノ生活法其他萬
事殖民等ノ便宜ヲ計ル爲メ相談ニ應スルモノトス

第二十二條 地價拂込ノ猶豫ハ前條ニ規定セル場合及地所讓受人ニシテ直ニ其地所ヲ開拓スルカ又ハ其地區内
ニ住居ヲ定ムル者トノ外ハ之ヲ許サス

第二十三條 本勅令ニ抵觸スル法令ハ總テ之ヲ廢棄ス

一千九百五年五月二十四日「サンパウロ」州廳ニ於テ

大 統 領 「チビリサ」
農務長官 「カルロス、ホツテリオ」

一千九百五年五月二十六日發布

移民事業ノ當局者タル「サンパウロ」州農務長官ノ言ニ據レハ右創設ニ係ル露國殖民
區ハ云フモ更ナリ尙其例ニ從テ續々設立スヘキ殖民區ハ勉メテ鐵道附近ノ地ニ於テ之
ヲ撰定シ殖民區ノ產物ヲ附近市場ニ輸出スルノ便ヲ計リ若シ又鐵道ノ未タ布設セラレ
サル地方ニ於テ殖民區ヲ設立スルカ如キ場合ニハ政府ハ豫メ官費ヲ以テ輕便鐵道ヲ布
設シテ殖民區ノ運輸交通ニ便スヘシト云ヘリ而シテ其實例トシテ甘蔗及米ノ耕作區々

ル官有殖民地「フニル」ト名ツクル所ニハ汽車程三時間ニ亘ルノ輕便鐵道ヲ布設シ以テ殖民等ノ便ニ供セリ

右等將來新設セラルヘキ殖民區ノ氣候地味等ハ共ニ前述ノ如ク犁鋤ノ入ル處必ス好收穫アル沃土ナルハ疑ヲ容ル、ヲ要セサル所ト知ルヘシ尙農務長官ノ言ニヨレハ若シ日本人ニシテ新殖民地ヲ設立セントスル者アラハ前陳露國ノ例ヲ基礎トシテ尙其上出來得ル限リノ便宜ヲ與フヘシト云フ本邦移民又ハ起業者等ノ爲メニハ特ニ熟考ヲ要スヘキ事トス

第五章 珈琲、耕地及移民生活ノ情況

「サンパウロ」ト云ヘハ伯國ニ於テハ同時ニ珈琲ヲ聯想セサルヲ得サラシムル程珈琲ノ好産地トシテ聞ユル地方ナレハ其珈琲耕地ノ廣濶ナルハ先ツ想像スルヲ得ヘシ就中「サンパウロ」市ヲ距ルコト北方汽車程三時間半ニ在ル「カンピナス」以北ハ同州中特ニ珈琲産地トシテ名高キ程アリテ北行十二時間餘汽車ノ通過スル所其遠近ニ於テ必ス珈琲園ヲ見サルハナク殊ニ「サンパウロ」ヲ距ルコト四百二十三「キロメートル」

北方内地ニアル「リベラオン、ブレイト」地方ニ於テハ極目無涯ニ廣濶ナル地ハ之レ盡ク珈琲栽培畑ニシテ四方滿目只タ整然タル珈琲園ノミニテ人ハ恰モ珈琲海中ニ在ルカ如シ此地方ニ在リテハ一園主ニシテ一萬「エクター」以上ノ珈琲耕地ヲ有スルモノアリト云フ若シ夫レ七八千「エクター」ヨリ五六千「エクター」ノ所有者ニ至リテハ固ヨリ屈指ニ遑アラス

「サンパウロ」州ニ於ケル珈琲耕主ノ數ハ大小併テ一萬五千ニシテ其所有地積四百二十九萬「エクター」ナリ而シテ其重ナルモノハ多クハ「リベラオン、ブレイト」ノ附近ニ在リト云フハ如何ニ珈琲耕地ノ廣大ナルカラ推知シ得ヘシ珈琲王トシテ知ラレタル獨逸人「シユミツド」ノ耕地及有名ナル「サントス、ジユモン」ノ耕地モ亦皆「リベラオン、ブレイト」ニ在リ、「シユミツド」ノ耕地ハ周圍七十五「キロメートル」ニシテ珈琲樹三百萬株ヲ有ス耕地ハ之ヲ十區ニ分チテ一區凡五六十戸ノ移民ヲ有セリ、其隣地「ジユモン」ノ耕地ハ輕氣球發明者トシテ有名ナル「サントス、ジユモン」ノ父祖ノ所有タリシ耕地ニシテ今ハ英國合資會社ノ有ニ屬シ其面積一萬三千「エ

「カー」アリ珈琲樹五百萬株勞働五千人ヲ有スト云フ

本官カ「リベラオン、ブレート」ニ於テ視察セル耕地ハ Buénopols ト稱シ Riberao Preto ヲ西南ニ距ル凡汽車ニテ一時半程ノ所ニ在リテ農業合名會社ニ屬ス其面積五千「エクタール」ニシテ之ヲ八區ニ分チ各區毎ニ一人ノ監督者ヲ置ケリ其勞働者ハ八百五十ノ家族ニシテ人數併セテ三千人ナリト云フ此ノ如キ耕地前後左右相聯續ス滿目只タ珈琲園タルノ理由以テ解スヘシ

扱珈琲耕地ノ大小廣狹ハ上述ノ如ク相異ナリト雖モ其組織ハ殆ント同一ナリ左ニ其概略ヲ説カン

耕地ノ中央ニ當ル所ニハ必ス其園主ノ家若クハ差配所アリ耕地總監督ノ住宅ニシテ則チ耕區ニ於ケル一切ノ事務ヲ總轄スル所ナリ故ニ遠近ノ耕區ニ來往スルノ道路一トシテ皆此處ニ集マサルモノナシ是珈琲收穫ノ際ニ於テ遠近各區ノ珈琲ヲ一所ニ集ムルニ便センカ爲メナリ例ヘハ各區ノ耕地ハ車ノ輻ノ如ク此中央ノ地ハ猶其軸ノ如シ各輻皆此ニ集中ス去レハ其家ノ周圍ニ水車仕掛ノ珈琲精撰所及廣濶ナル乾燥所アリ厩ト牛

舎トハ珈琲倉庫ト相並ヒ農具ノ修繕、製作ヲ爲ス、鍛冶場、大工場又之レト櫓ヲ聯ヌ而シテ其家宅ノ前園後庭ニハ野菜圃ト菓林トアリ是レ園主自家ノ用ニ供スルモノタリ

耕地ハ其地勢ニ從ヒ之ヲ分テ區トナス其大ナル區ニ在リテハ五六十ノ家族ニテ其耕區ノ珈琲樹培養ヲ負擔スル者アリ小ナル區ニ在リテハ七八軒ノ家族ナルモノアリ如此耕區ヲ分チ各所ニ散シテ移民ノ家屋ヲ建ツル所以ハ移民ヲシテ可成其受持珈琲樹ノ近隣ニ住居セシメ受持所ヘノ往來ニ便センカ爲メナリ每區ハ概シテ國ヲ同フスル家族移民ヲ以テ組織スルヲ常トス例ヘハ甲區ハ伊太利人ノミヨリ成リ乙區ハ埃太利人ノミヨリ組織スルカ如シ去レハ伊太利人ヨリ成ル耕區ニ埃國人ノ家族ヲ見ルコト極メテ稀ナリ是言語風俗習慣感情等ヲ同フスルモノヲ可成一區ニ集メテ以テ移民諸般ノ便益ヲ計ルニ出テタルノミナラス每區必ス移民監督人ナル者アリテ此モ多クハ其耕區ノ移民ト同一國人ヲ以テ充ツルカ故ニ若シ一區ヲシテ異ナル國民ヨリ組織スル時ハ監督者ノ勞極メテ多カルヘキヲ以テナリ他日若シ日本移民ニシテ當國ニ來ルモノアル場合ニ當リテ

モ亦必ス此例ニ從フヘキヲ以テ日本移民ノ住スル一區ハ宛然タル日本村ノ觀アルヘシ
 而シテ右移民監督人ハ固ヨリ耕主ノ費用ヲ以テ雇入ル、モノニシテ之カ月給等ハ其監
 督受持移民家族ノ多寡又ハ耕區ノ大小等ニ依テ差等アルモ中ニハ一ヶ月「コント」
 五百「ミル」レ「ス」凡我千五十圓ヲ受クル者アリト云フ
 此地方ニ於ケル大ナル珈琲園ハ必ス鐵道ノ通過スル附近ニ在リ蓋シ是鐵道ヲ布設スル
 ニ當リ可成珈琲園ノ附近ヲ通過セシムルノ方針ニ出テタルモノ、如シ、去レハ前陳ノ
 珈琲園ノ如キ孰レモ鐵道線路ノ附近ニ在リ而シテ各珈琲園ハ其最近ノ停車場ヨリ其園
 ニ至ル間ニ輕便鐵道ヲ布設シテ以テ珈琲ノ運搬、勞働者等ノ往來ニ便ス、加之此等
 ノ輕便鐵道ハ珈琲園ノ各區ヲ通貫シ而シテ悉ク中央事務所ノ前ニ輻輳スルコト恰モ光
 線ノ太陽ニ於ケルカ如シ、本官ノ視察セシ合名會社耕地ニ於ケル輕便鐵道ノ延長ハ合
 セテ二十六「キロメ」ートル」ナリト云フ以テ如何ニ其大仕掛ナルヤヲ推知スルヲ得ヘ
 シ若シ夫レ小耕地ニ在リテハ最近停車場ニ通スル幅廣キ道路ヲ設ケ且ツ耕地内ニハ車
 行シ得ヘキ路ヲ縱横ニ造リ以テ運搬交通皆牛馬車ニ依ルヲ得セシム

移民ノ家屋 移民ノ家屋ハ各耕區中ニ於テ中央監督所ヘノ交通ニ便ニシテ且ツ居民等
 用水等ノ爲メ最モ好都合ノ場所ヲトシテ建築セラル、一區内ノ家數多キハ五六十二至
 リ少キハ七八軒ナルモノアリ然レトモ概シテ十五六ヨリ二十三四戸迄ノ區ヲ最モ多シ
 トス而シテ此等ノ家屋ハ全ク無賃ニテ雇主ヨリ移民ニ貸與スル所ナリ、家屋ハ粗造ナ
 ル煉化造リノ平屋ニシテ二軒續キノ長屋作リヲ最モ多シトス固ヨリ多人數ノ家族ヲ有
 スル者ニ在リテハ一軒立チノ家屋ヲ有スルトモ是レ寧ロ稀ナルカ如シ
 間數ノ多少大小ハ又家族ノ多少ニ隨ヒ同シカラスト雖モ概シテ臺所兼食堂ト寢室トノ
 二タ間ニ過キサカ如シ而シテ母屋ノ後方ニハ必ス物置小屋アリ是移民各自收穫物ノ
 貯藏所ニシテ移民ノ自ラ作リシ者ナリ而シテ其材用ハ耕地内ノ樹木ニシテ雇主ヨリ無
 代價ニテ與フル者ナリトス其他移民ノ使用ニ供スル薪炭等ノ用材モ亦全ク之ニ同シク
 耕區ノ附近ニ於ケル樹木ハ一切移民ノ用フル儘ニ委シテ少シモ其代價ヲ拂フヲ要セス
 ト云フ
 各戸ノ後方又ハ家ノ附近ニ於テ移民等ノ自家用料ニ充ツル野菜畑及家畜ノ飼養所アリ

是等ノ地面ハ無代價ニテ移民カ借受クルモノニシテ中ニハ廣地ヲ借入レ諸種ノ野菜ヲ作り又ハ鶏豚牛羊等ヲ飼養セル者アリ此等ハ獨リ自家ノミナラス羊豚鶏鷄及鶏卵牛乳等ヲ其附近ニ賣ランカ爲メナリ右等ノ收入ハ全ク移民等カ珈琲栽培賃銀以外ノ所得ナリトス

各珈琲耕區内ニハ未墾地尙多キヲ以テ此等土地ノ使用ニ付テハ實ニ寬大ニシテ移民等自力ニテ開墾セシ地所ハ全ク無代價ニテ自由ニ使用シ得ルト云フモ過言ニアラサルヘシ

家屋ノ近隣ニハ小流アリ移民カ家族ノ洗濯用ニハ十分ナリ要スルニ此等移民ノ住所家屋共ニ之ヲ本邦ノ小作人等ノモノニ比スレハ大ニ優レリト云フヲ得ヘシ

移民ノ食物 移民ノ食物ヲ説クニ當リ先ツ一言スヘキハ伯國ニ於テハ米ヲ以テ日常食物中缺クヘカラサルモノト爲スコト之ナリ故ニ此ハ本邦移民ノ爲メニハ大ニ都合宜シトスル所ナリ其他玉蜀黍ノ粉、「パン」、小豆ト米ト乾牛肉トヲ煮タルモノ并ニ甘薯及其他ノ野菜類ハ移民等日常ノ食物ニシテ魚物ニシテ勞動者ノ膳ニ上リ得ルモノハ干鱈

ナリ右ノ内最モ多ク用フルモノハ小豆ト米ト乾牛肉ヲ熱煮シタル食物ナリトス是其滋養分多ク其價最モ廉ナレハナリ其他羊豚鶏鷄等ハ各自飼養スルカ故ニ食用ニ充ツルコト甚タ容易ナリ移民ハ各戸別厨ヲ有シ各々所好ニ隨ヒ自家ノ培養セル野菜、玉蜀黍、小豆等ヲ常食トスレハ外ニ費用ヲ要セサルヘシ、水ハ谿間又ハ耕地内ヲ流ル、清泉ヲ飲用ス間々井ヲ穿チ又ハ山腹ヲ鑿リ樋ヲ以テ引水スルモノアリ孰モ清冷ニシテ飲用ニ適ス

無一文ノ移民カ始メテ到着シタル最初一年若クハ半年間ノ食料ハ雇主ヨリ之ヲ貸與シ次期ノ收穫期ニ至リ移民等各自ノ耕作ヨリ得タル原料又ハ其代價ヲ返納セシムルモノトス而シテ右ノ返納ハ移民ニ取リ甚タ困難ナラスト云フ、何トナレハ同州ニ於テハ玉蜀黍又ハ甘蔗ノ如キハ年四回ノ收穫アルヲ以テ短期間ニ於テ既ニ多少ノ所得アレハナリ食物モ亦其家屋同様當州ニ於ケル移民ハ本邦ノ小作人ヨリハ稍々優レルモノト云フヲ得ヘシ

移民ノ衣服 衣服ニ就テモ又移民等ノ爲メ大ニ便利アリ夫ハ前章ニ述ヘタル如ク當州

ノ氣候ハ四時概シテ温暖ニシテ夏冬ノ差異甚シカラサルヲ以テ所謂冬期ニ於テモ綿入ノ如キ厚着ノ要ナク爲メニ本邦又ハ北支那、朝鮮等ニ於ケルガ如ク各季節毎ニ着換等ヲ要スルノ煩累ナクシテ年中大抵單衣ト袷衣程ニテ十分ナリトス殊ニ伊太利移民等ハ質素儉約ニシテ僅ニ二三枚ノ労働用服ヲ補綴洗濯シテ年中同一衣ヲ用フルモノ、如シ而シテ移民ノ労働用服ハ概シテ厚地木綿ノ「シヤツ」、「ズボン」ノミ若シ夫レ祭日休暇等ノ際ニ於テハ晴着トシテ通常ノ洋服ヲ纏フ者アルモ此亦甚タ粗末ニシテ多クハ綿服ナリ一般伊國移民等ハ生計極メテ質素、儉約故多少ノ貯蓄ヲナシ得タル後ニモ尙致々トシテ勤勞シ衣服飲食ノ贅澤ナトハ更ニ思ヒ及ハサルカ如シ靴ナトモ通常ハ廉價ナル木履ニシテ皮靴ヲ穿ツハ極メテ稀ナリ労働ニ従事スル時ハ勿論家居ノ時ニモ先ツ大抵ハ跣足ナルヲ常トス

序ニ移民衛生ノ事ヲ一言センニ此等ノ地方ニハ絶テ地方病ナルモノナク流行病又甚タ稀ナリト云フニ三十年前ニアリテハ時々疫病ノ流行スルコトアリシモ州政府カ特ニ衛生事務ニ改良ヲ加ヘ多費ヲ惜マヌシテ水道并ニ下水工事ヲ完成セシ以來流行病ハ合ヤ

全ク跡ヲ絶ツニ至リタリトテ此地方人士ノ最モ誇稱スル所ナリ况シヤ此等地方ハ海面ヲ抜クコト五百乃至七百「メートル」ノ高サニ在ル所ニシテ且ツ四時綠葉鬱叢ノ間ニ家シ其労働亦戶外ニ於テ空氣ノ新鮮ナル所ニ耕作スルヲ以テ自然健康ニ資シ病者ヲ生スルコト極メテ少ナシト云フ現ニ前陳「ボエノポリス」ニ於ケル如キハ八百五十家族三千人ノ移民中ニケ年間醫師ヲ要スルカ如キ病者ヲ出サストテ其地方ノ健康ニ適スルコトヲ證明セリ又盛夏ニ於テモ日射病ニ罹ル程ノ暑氣ナク且又乾燥ナルカ故ニ未曾テ脚氣病ニ罹リシ者ナシト云フ然レトモ普通ノ胃病、寒胃、便秘、頭痛、切創又ハ偶々毒蟲ニ刺サレタル者アルカ如キ場合ニハ移民カ地主ノ宅ニ驅付ケ之カ適藥ヲ請ヘハ屋主ハ無代ニテ之ヲ與フルヲ常トス、去レハ地主等ハ移民等不時ノ需用ニ應スルカ爲メ平生此等ノ藥品ヲ貯ヘ置ケリト云フ

地主ト労働者トノ關係 常ニ労働者ノ缺乏ニ苦ム此等地方ニアリテハ地主ハ平生自己ノ労働者カ其耕地ヲ去リテ他ノ耕圃ニ就クヲ恐レテ之ヲ寛待スト云フ本官ノ目撃スル所ニ依レハ其間至極融和セルモノ、如キモ寛苛ノ事ハ地主又ハ監督人等ノ性質ニモ依

ルモノナレハ一概ニハ斷言シ難キモ移民ヲ歐打鞭撻スルカ如キハ今ヤ全クナキ所ナリト云フ

第六章 新ニ來ルヘキ移民ニ關スル注意事項

移民ニシテ「サンパウロ」州ニ來ラントスル者ハ可成四月中旬頃ニ着伯シ得ル様其出發時期ヲ定ムルヲ可トス如何トナレハ珈琲收穫ハ五月上旬ヨリ始マリ九月、十月ノ交ニ終ルヲ以テ此期間ハ耕主カ労働者ヲ要スルコト最モ切ナル時ニシテ労働賃銀最高ノ季節ナルカ故ナリ前述ノ如ク此期間ニ於テ労働者ハ毎日少クモ五「ミルレース」以上ヲ儲ケ得ルヲ以テ移民家族一戸ノ所得ハ蓋シ一千「ミルレース」ヲ下ラスト云フ、去レハ到着ノ節全ク無錢ニシテ日用器具等ヲ買ハンカ爲メニ一時前借ヲ耕主ニナセル移民ニシテモ收穫時期ノ終リ迄ニハ優ニ前借金ヲ拂ヒ得ルノミナラス尙多少ノ餘裕ヲ生スヘキヲ以テ此時期ハ實ニ新來移民ニ取リテハ逸スヘカラサル好期ナリトス
右收穫季節ノ労働者ニ取リテ最モ貴重ナル時期ナルハ左ノ事ニテモ之ヲ知ルヘシ即チ伯國ト其距離甚ク遠カラサル西班牙、葡萄牙若クハ伊太利等ノ労働者ハ専ラ右ノ收穫

時期ノミヲ見掛テ伯國ニ渡來シ四五箇月ノ間労働ノ上其季節ノ終リニハ皆多少ノ貯蓄ヲナシテ之ヲ携ヘ直ニ歸國スル者亦尠ナカラスト云フ
若又船便等ノ都合ニテ四月、五月ノ交ニ着伯シ得サレハ寧ロ九月頃到着スルヲ好都合トス如何トナレハ當國ノ氣候ニテハ九月、十月ノ交ハ諸種ノ穀物、野菜等播種ノ季節ナレハ此際ニ到着ノ移民ハ直ニ其受持畑ノ珈琲樹間ニ玉蜀黍、小豆等間作ヲナシ得ルノミナラス各自私借ノ田畑ニ播種スル故到着ノ際地主ヨリ前借セル數月間ノ食料等モ最モ短期間ニ返済シ得レハナリ
移民ノ居住スル家屋、地所其附近ノ野菜畑及家畜飼養等ハ勿論無代價ニテ貸與セララル、モ日用必須ノ臺所道具、飲食用具若クハ夜具即チ毛布（當州ニ於テハ日本ノ如キ夜具ノ必要ナシ）等ハ皆移民ノ自辦タルヲ以テ各自此等ノ物品ヲ携帯スルヲ可トス（到着ノ際此等ノ諸器具ヲ有セズ又之ヲ購フコトヲ得サルモノハ雇主ヨリ前借金ヲ爲シ毎月ノ給料ヨリ少シ宛之ヲ引去ルカ又ハ收穫時期後拂ヒ或ハ年賦拂ヒト定ム）去レハ歐洲ノ移民等カ渡來スルニ當リテハ夜具食器ハ勿論（中ニハ鋸、鉋等迄モ持來ルモノ

アリ)平生自家ニテ使用シ來リタル物ヲモ悉ク携帶スル者多シ是レ歐洲移民等ニ在
 リテハ携帶荷物ノ運賃ハ其出發港ヨリ就業耕作地ニ至ル迄全ク無賃ニテ州政府ノ負擔
 ナルニ依ルヘシ且ツ日用ノ什器等ハ耕作地附近ノ町村ニテハ自然高價ナルカ爲ニ可相
 成ハ此等ヲ携帶スルヲ便トス
 聞ク所ニヨレハ移民ハ假令夜具、食器其他一切ノ用品ヲ携帶シ來リタル場合ニ於テモ
 尙日用物品ヲ買フ爲メニ最初到着ノ際ニハ二三「ミルレーズ」宛ヲ前借スルヲ常ト
 スト云フ蓋シ移民ノ多數ハ無一文ナレハナルヘシ

結 論

上來本官ノ視察ニ基キ述ヘ來リタル所ニヨリテ今「サンパウロ」州ニ本邦移民ヲ誘入
 スルノ適否ニ就テ之ヲ略述セン

第一、氣候温暖ニシテ歐洲諸國ノ移民等ハ之ニ付テハ一言ノ不滿ヲ云フ者ナク能ク其
 業ニ堪ユルヲ以テ之ヲ視レハ必ス我移民ニモ好適ナルコト明カナリ

第二、移民衣食住ノ状態ハ本邦普通小作人等ノ生活ニ比シテ當州移民ハ其居宅食物共

ニ寧ロ優レリト云フヲ得ヘシ

第三、衛生 之ニ關シテモ地方病又ハ流行病等ノ恐レナク且ツ當州ノ衛生事務ハ誠ニ
 能ク行届キ居ルヲ以テ何等掛念ノ要ナシ

第四、勞働及賃銀是亦歐洲諸國ノ移民ト同シキカ故ニ殊ニ本邦移民ノミニ不利益ナル
 等ノ事ナシ

第五、本邦移民ノ享有スヘキ保權特權及其他ノ權利 是亦歐洲諸國ノ移民ト全ク均一
 平等ニシテ少モ異ナル所ナシ

第六、社交上地位及待遇 此點ニ關シテハ當國ニ來ル本邦移民ハ北米、濠洲其他ノ外
 國ニ行ク移民ニ比スレハ大ニ愉快幸福トスル處ナル可シ、元來「サンパウロ」州ノ
 住民ハ其祖先ヲ尋ムレハ過半ハ外國人ナルカ故ニ絶テ外國人ヲ厭嫌シ若クハ輕蔑ス
 ル事ノ事ナシ米國及濠洲等ニ於テハ黄色人種ニ對シテハ其權利ヲ制限シ其社交上又
 ハ感情ニ於テ一種嫌惡侮蔑ノ念ヲ抱キ殊ニ近來ハ其事情愈々盛ナラントスルモノ、
 如クナレトモ當國ニ於テハ全ク之ニ反シ黃人モ白人モ將タ黒双ノ子孫モ絶對平等ノ

權利ヲ有スルノミナラス社交上ニ於テモ感情ニ於テモ全ク一視同仁ニシテ其間敢テ或ハ輕蔑嫌惡ノ情ヲ夾ムカ如キコト決シテ之レナシ現ニ當國要路ノ人ニシテ黒双ノ遠孫タル者少ナカラサルノミナラス其祖父ノ外國人タル所ニシテ顯要ノ地位ニ在ル人亦タ多シト去レハ本邦移民ノ此地ニ來レル寧ロ却テ其肩身ノ稍々廣キヲ感スルナル可シ

第七、言語 伯國ノ通語ハ葡語ナルカ故ニ羅甸系ニ屬スル伊、西、葡等ノ移民ニ比スレハ我移民ノ爲メニハ稍々不便ナルヘキモ我移民ニシテ北米、濠洲及南洋諸島ニ行ク者ニ比スレハ何等ノ差異アルコトナシ現ニ伯國用語ノ一言半句ヲモ解セサル「エチク」人「シリ」人及露西亞人等ノ續々來航シテ何等不都合ナキヲ見レハ本邦移民ノ爲メニノミ不便ト云コトアラサルヘシ殊ニ移民地ニハ必ス移民ノ國語ニ通スル監督者ヲ置クヲ常トスルコトナレハ此點ニ關シテモ亦何等掛念ヲ要セサル所トス

以上ノ諸點ヨリ觀察ヲ下セハ本邦移民ヲ當州ニ誘入スルニ於テ何等不都合アルコトナ

シ否寧ロ本邦移民ノ爲メニハ最好場所タルヲ認ム殊ニ今ヤ伊國移民禁止ノ爲メニ「サンパウロ」州ハ移民ノ不足ヲ感スルコト切ニシテ官民一般労働者ヲ歡迎スル時機ナルヲ以テ本邦移民ノ排斥セラル、米國等ニ行クヨリハ寧ロ當州ニ來ルコト我移民一般ノ爲メニ大ニ便利トスル所ナルヘシ其距離ハ勿論米國ヨリハ遠隔ナルヲ以テ米國行ニ比スレハ其旅費稍々多キヲ厭フモ幸ニシテ「サンパウロ」州政府ハ其渡航費ノ全部又ハ一部ヲ償給スルカ故ニ此亦甚シク苦慮スルニ足ラス况ンヤ其償給ニ預リシ移民トテモ之ニ對シテ何等辨償等ノ義務ヲ將來ニ負フニアラスシテ且當州ニ着スル上ハ全ク自由ナル労働者トシテ取扱ハル、ニ於テヲヤ

濠洲ニ於テハ全禁セラレ北米ニ於テハ窘迫ニ遭ヒ加奈陀ニ於テハ排斥セラレ南洋諸島及布哇ニ於テハ其労働區域ノ年々縮少セラレントスル我移民等ノ爲メニ當「サンパウロ」州ノ如キハ實ニ天與ノ樂郷福土ニアラサルナキ歟否當ニ移民ノ爲メノミナラス我資本家タル者又一考ヲ要スヘキモノアリ夫ハ米穀其他諸般ノ耕作ニ適スル膏腴ノ地ニシテ而モ鐵道附近ニ位シテ運輸交通ノ便アルニ拘ハラズ地價極メテ廉價ナルカ故ニ資

本家若クハ起業家タル者ハ此等ノ地所ヲ買受ケ此ニ自ラ日本村落ヲ建設シ其移民ヲシテ耕作及其他ノ作業ヲ爲サシメハ其事業ノ大ナル丈ケ夫レ丈ケ利益ノ多カル可キハ明知セラル、モノアリ若シ又地所ヲ買入ル、コトヲ欲セサレハ前述セル露國人殖民地ノ例ニ倣ヒ多少ノ資本ヲ投シテ日本殖民地ヲ創設スルコト、ナセハ此亦將來ニ於テ有望ナル事業ト云フヘシ右等ニ關シ在本邦ノ海外起業家、有志家若クハ遠慮アル移民會社等カ多少ノ經費ヲ惜マス自ラ出張シ若クハ其同志又ハ社員ヲ派遣シテ當州ヲ實地視察セシムルコト是亦喫緊事タル可シト思考スル所ナリ

南米伯刺西爾ミナスセライス州視察復命書

(三十八年八月二十八日附在伯刺四爾帝國公使館報告)

第一章 ミナスセライス州ニ關スル總說

第一節 同州巡視ノ必要

當伯國ノ海外貿易港中リオ、デ、ジヤネーロ及サントスノ二港ハ他ノ各港ニ超越シテ

輸出入高ノ巨額ヲ占メリオ港ノ輸出入ハ海外全貿易百分ノ二十九半ニ居リサントス港ハ百分ノ二十五強ニ當リ右サントス港ノ繁昌ハ既ニ報告シタルカ如ク背後ニ廣大ナル珈琲産地ヲ有シ一ケ年ノ輸出高我一億二千〇七十餘萬ノ多額ニ達スルヲ以テ輸入高モ亦タ隨テ多キハ別ニ説明ヲ要セサル所ナリリオ港ニ至テハ同市ハ聯邦ノ首府タル外、背後ニ如何ナル地方ヲ控居ルヤ管テ探查シタルコトナシテミナス州ハ實ニリオ州ノ背後ニ横ハリ面積五十七萬餘方「キロメートル」(本邦全面積ヨリ大ナリ)人口四百二十七萬餘ヲ有シリオ港トハ三四線ノ鐵道ニテ聯絡セラレ鑛業、農業及牧畜等ヲ以テ有名ナリ當國稅關報告ニ據レハ千九百三年中リオ港輸出ノ鑛産物ハ棒金九百三十六萬八千餘「ミルレース」(當時ノ相場ニテ凡我四百六十八萬餘圓)「ダイヤモンド」及寶石類六十四萬四千餘「ミルレース」(凡我三十二萬餘圓)、滿俺四百九十一萬餘「ミルレース」(凡我二百四十五萬餘圓)ノ多キニ達シ而シテ其金額ハ幾ントミナス産ト認メラレタリ又同港ノ輸出珈琲ハ一億千九百九十三萬餘「ミルレース」(凡我五千九百九十九萬餘圓)、獸皮ノ如キハ三百二十九萬千餘「ミルレース」(凡我百六十四萬餘圓)ノ内其

大部分ハミナス産ト推定セラレタリ加之廣漠タル同州内ノ狀況殊ニ氣候及地質等ハ我
移民ヲ容レ得ヘキヤ否其居民ノ狀態起業ノ發達ハ我貿易ノ擴張ニ利アルヘキヤ否等就
レモ實地探査ノ必要ヲ感シタル所以ナリ

第二節 同州ニ關スル概観

同州ハ南緯十四度ヨリ二十三度ニ達シ東經三度ヨリ西經八度（伯國首府ナルリオ市ヲ
零度トス）ニ至ル廣境ナリ而シテ東半部ハ海岸ニ近ク鐵道モ通シ鑛業ノ外農牧業モ稍
ヤ開ケ口數ニ萬前後ヨリ二三千ノ市邑ハ處々ニ碁峙シ居ルモ其餘ノ過半ハ概ネ未開不
毛ニ委セラレタルモノ、如シ州内大部分ハ高地ニシテ高キハ海拔千三百餘「メート
ル」低キモ七八百「メートル」ナレハ氣候酷熱ナラス最低三四度最高二十八九度ニ止ル
ト云フ尤モレオポルデナ地方一帶（珈琲耕地）ハ低地ニシテ二百「メートル」程ノ處
アレハ夏期三十二度ニ達スル處アリト云フ、雨量ハ一般冬期ニ少クシテ夏期ニ多キ
方ナリ州政府ハ近年マテ東方州境ヲ距ル鐵路十時間餘ノオーロブレイトニ在リシテ數
年前之ヲ州ノ中央ニ近キベロオリゾンテニ移シ米國華府ニ摸擬シテ巨費ヲ投シ立派ニ

新市ヲ創立セリ蓋シ州ノ發展上首府ノ位置ヲ移轉スル必要アリシモノト認メタリ州ノ
財政ハ千九百六年度ノ豫算ニ從ヘハ歲入通常臨時共計伯貨千五百三十三萬五千餘「ミ
ルレース」（現今ノ相場ニ從ヒ凡我千〇七十三萬四千五百餘圓）其内九百七十餘萬「ミ
ルレース」ハ州產物ノ輸出税ニ屬セリ（當國憲法ニ據リ州政府ハ特種ノ州產物ニ對シ
輸出税ヲ課スルヲ得）數年前珈琲ノ價格高カリシ時ハ輸出税ノミニテ千五百萬「ミル
レース」ニ達セシモ今ハ珈琲下落ノ爲メ州ノ財政ハ困難ヲ來セリト云フ、歲出ハ内務、
財政ノ二項ニ別チ其ノ共計千五百八十八萬六千餘「ミルレース」ニシテ其内百萬已上
ノ多額ヲ占ムルモノハ學校費百八十萬警察兵費百二十三萬餘裁判所費百十五萬餘州債
ニ關スル費四百七十萬餘鐵道補助費百二十一萬餘「ミルレース」等ニシテ移民ニ關
スル豫算ハ一萬「ミルレース」餘ニ過キヌ之レヲサンパウロ州ノ歲入二千〇五十七萬
餘歲出二千二百三十六萬餘「ミルレース」ニ比較セハ凡四分ノ三ニ相當スルモサンパ
ウロ州ハ殖民移民費トシテ九十七萬餘「ミルレース」ヲ支出セリ（千九百二年度ノ決算
ニ據ル）其ノ他州ノ行政組織ハ他ノ州ト大同小異ナレハ茲ニ贅述セス同州ハ有名ナル

鑛產地ニシテ金鑛、滿俺及金剛石等多シ（但シ鐵ハ石炭ナキカ爲メ開掘ニ着手セズ英人ハ電氣鎔解ヲ研究中ナリ）而シテ英、伯、佛、米等ノ十二會社之ニ從事セリ本官ノ實見セシモルロウペリヨ金鑛（英人持）ノ如キハ非常ノ大仕掛ニテ地下四千尺迄坑道ヲ穿テ鑛夫二千餘人ヲ使役シ一ケ年凡五千「オンズ」ノ金ヲ産出シ又ミゲル、ブルニエ附近ノ滿俺鑛（伯化獨人持）ハ鑛夫四百人餘ヲ使役シ一ケ年六萬噸ヲ産出ス下云フ此ノ二鑛ハ各鑛中ノ重ナルモノニ付其他ハ類推スヘシ

農業ハレオポルデナ地方ニ帶其他州ノ南西部一帯ニ開ケ居ルモ主要ノ耕作ハ珈琲ナリ（各地ニ甘蔗、玉蜀黍、綿、煙草及米作ヲ見ルモ珈琲ノ多利ニ若スト云フ）牧畜モ山地ヲ主トシテ多少開ケ居ルモ農民各自ノ放牧ニシテ大ナル牧場アルヲ聞カネ要スルニ農業牧畜ハ州境ノ廣サニ比シテ實ニ九牛ノ一毛ニ過キサレカ如シ土民（重ニ黑人ナリ）怠惰ニシテ勞働ヲ好マズ伊、獨、西、葡等ノ移民ハ此處彼處ニ少キハ數百多キハ數千ト移住シ居ルモ更ニ其多數ヲ感スルニ至ラス渺茫タル曠野ハ空シク新來民ヲ待ツ者ノ如シ土民ハ殆ント無勢力ナレハ將來勞働者ノ競争起ルモ外國人相互ノ間ニ在ルハシ外國人モ

地方ノ有識者モ異口同音ニ土地ノ肥沃ヲ稱スルト同時ニ土民ノ怠惰ヲ歎息シ外國移民ヲ渴望セリ（伯國人ニシテ自國ノ勞働者ヲ斥ゾケ外國勞働者ヲ渴望スルハ奇異ニ似タルモ前述ノ如ク伯國下等民ハ重ニ黑奴ナレハ同情ヲ寄セサルモ當然ナリ）當局者ノ言ニ據レハ州政府ノ大方針ハ移民誘入ニ在レハ其法令訓達皆同方針ニ從ヘリ從前ハ嘗テサンパウロ州ト同様ニ移民ノ渡航費ヲ辨給シ且ツ既ニ其法律サヘ存在スルモ近年財政不如意ノ爲メ（珈琲下落ノ爲メ）中止シ居レリ去州政府ハ移民誘入者ト協議シテ出來得丈ケノ便宜ヲ與フヘシト云ヘリ彼カ承諾スヘキ條件ノ大要ハ左ノ如シ

一、土地ハ殖民企業者ノ隨意選擇ニ任シ官有地ハ勿論私有地ノ已ニ開墾セラレタルモノニテモ地主ノ承諾アレハ之ヲ買上ケ若干年据置後年賦拂ニテ賣渡スヘシ（奴隸制度廢止後黑奴ハ隨意其主ヲ離レタル爲メ廢耕ノ土地多シ）

一、家屋及農具ハ州政府ニテ之ヲ準備シ到着港ヨリ選擇地ニ至ル迄ノ運送ハ州政府之ヲ引受ケ當到着後數日間ハ州政府ヨリ食料ヲ貸渡スヘシ（但シ家屋、農具及食料共追テ辨償ヲ要ス）

第三節 同州ニ向テ通商移民ノ見込

通商ニ關シテハ當國一般現今ニ至ル迄本邦品ノ輸入甚タ少ク且ツ極メテ高價ナレハ新ニ直接貿易ヲ開キタル曉ニハ絹製品ヲ初メトシテ其他外國向物品ハ一時意外ノ賣行アルヘキ見込ナルモ當州ニハ大都府ナク小市邑カ各所ニ散在スルカ故ニ賣捌所多少手數ヲ要スルモノアラン同州ヨリノ輸出品ハ差當リ大ニ囑望スヘキモノナシ要スルニリ又ハサンパウロ市ニ本據ヲ作り支店ヲ當州内ニ分置スルカ然ラサレハ小商人ノ立働クヘキ地方ト認メタリ

移民ニ至テハ然ラス賃稼の一時ノ移民ハ姑ク望ミヲ屬シ難キモ土着の移民ヲ率テ大農場ヲ開キ新村落ヲ作ルニハ恰好ノ地方ト認メタリ賃稼の労働者ヲ要スルニ鑛業ナルモ各鑛ヲ通シテ數千人ニ過キサルヘク加之各鑛主共痛ク労働者ノ拂底ヲ感セサルカ如シ其他咖啡産地ノ労働者ハ大抵小作的ニシテ移動少キモノト認メラレタリ故ニ此種ノ労働者ニ付テハ寧ロサンパウロ州ノ需要廣クシテ確實ナルニ如カサルモノト信セリミナス州ノ特色ハ境土廣ク人口少ク農業、牧畜ニ適スル餘地多ク而シテ其收穫物ハ

國內ニ需用アリテ比較的高價ニ賣捌カレ且ツ又政府之ヲ勸誘シ之ヲ補助スルニ在リ故ニ遠ク見込ヲ立ツル企業家ハ之ヲ利用シ移民ヲ率テ新農場ヲ開キ新牧場ヲ興シ或ハ又新製造品ヲ立ツルモ隨意ナリ所聞ニ據レハ伊太利ノ如キハ人口ノ超過ニ苦ミ毎年三十萬人ヲ外國ニ移住セシムルノ必要ヲ生シ在ミナス州ノ領事ニ命シ十萬人ヲ移住セシムヘキ適當ノ地方ヲ調査セシメタリト云ヒ又獨逸ノ如キハ政府ヨリ保護獎勵シテ人民ヲ移殖スト云ヘリ宜哉獨逸移民ハ就レノ地方ニテモ生氣ヲ帶ヒ産ヲ作り家ヲ興スモノ多キヲ見受ケタリ本邦ニ於テモ近年人口ノ超過ニ苦ミ世論ハ漸ク海外移民ノ必要ヲ説クニ至リタレハ此際博ク出稼的契約移民ニノミニ依頼セス進ンテ移住的隨意移民ヲ謀ラサル可カラス本邦移民業者ハ契約移民ノ多利ニ引カレ切ニ契約ノ日ヲ求ムルモ各國ノ意向ハ漸ク契約移民ヲ嫌ヒ出シ年一年其需用減縮スルノ傾向アリ故ニ今後トモ契約ノ口アラハ絶テ之ヲ拒ム必要ナキモ別ニ移住的隨意移民ノ發展ヲ講スルコト目下ノ急務ト信セリ又契約移民ハ滿期後歸國スルモノトセハ之ヲ大ニシテハ人口論トハ何等ノ關係ナク之ヲ小ニシテハ移民各自カ労働ノ幾分ヲ餘スノミニシテ別ニ海外ニ新財産ヲ

作り新事業ヲ興シ隨テ彼我ノ貿易増進スル比類ニアラス故ニ此點ニ關シテ深ク講究ヲ要スルモノト思量セリ

第二章 農業

ミナス州ハ其地勢ニ依リテ分テ三地方ニ區別ス

第一、森林地方 伯國人ノ呼テ *Monte* ト爲ス所ノモノコレナリ即チリヨ港ヨリ汽車程五時間ニ在ルジイズダ、フアラ市ヨリ東部ニ延長シテリヨ、デ、ジャネロー州及ビスピクトー、サント州ニ接スルノ地境ト西南部リヨ、デ、ジャネロー州并ニサンパウロ州ニ接壤セル地域ニシテ今總稱シテ農業地方ト云フ、此ノ地方ハ以前ニ在リテハ鬱叢タル森林ヲ以テ蔽ハレタルモ漸次截伐開墾セラレテ今ヤ咖啡、甘蔗、玉蜀黍並ニ米豆等ノ耕作ニ適スル好農業地トナリタレハナリ

第二、原野地方ニシテ所謂「カンボス」(Campos)ト稱シ滿目一帯牧草茂生シテ牛馬羊豚ノ飼養ニ好適スル地區ニシテジユイズ、ダ、フアラ以北州ノ首府ベロ、アリゾンテニ至ル間中央鐵道ノ通過スル邊ハ之ヲ總稱シテ「カンボス」ト云フ而シテ重ナル鑛産地ハ亦コノ「カンボス」地域中ニ最モ多シトス

第三、高地々方ニシテ州ノ西北部ゴイヤス州並ニマトグロソト州ニ接スル地方一帯ハ水平ヲ抜クコト八九百「メートル」ヨリ千二三百「メートル」ニ達スル高地ニシテ森林蒼鬱人跡未到ノ處多シ

今左ニ記述スル農業情況ハ專ラジユイズ、ダ、フアラノ東部レヲボルヂナ地方ノ情況ニシテ其農産物ヲリヨ港ニ輸出スル地方ノ區域ニ止マリ、彼ノサンパウロ州接壤地方即チ其産物ヲサントス港ニ輸出スルミナス州西南部地方ノ農況ハ茲ニ合マサルモノト知ル可シ

倍此地方ニ於テ廣ク農業ト云フト雖モ重ナル農業ハ矢張り咖啡耕作ニシテ之レニ次ク者ハ甘蔗栽培ナリ其他煙草、米、木棉等ノ耕作ヲ爲スモノ無キニアラサルモ皆小ニシテ擧ケテ云フニ足ル程ノモノナシ

咖啡栽培、收穫及ヒ其精製ノ方法等ハ全クサンパウロ州ニ行ハル、方法ニ同シキカ故ニ茲ニ之ヲ贅述セズ、詳細ハサンパウロ州視察復命書ニ在レハナリ

只ダサンパウロ州ト異ナル所ノモノハ其ノ勞働者雇入ノ方法コレノミ、サンパウロ州ニ於テハ日雇、月極メ、又ハ年極メニシテ之レカ賃銀ヲ定メテ雇入ル、モミナス州ニ於テハ概シテ小作法即チ其收穫物ヲ咖啡園主ト勞働者ト相等分スルノ方法ナリトス此地方ニ於ケル外國人勞働者ハ多クハ葡、西、伊諸國ノ移民ニシテ其最モ多數ヲ占ムル者ハ伊太利人ニシテ在ジユイス、ダ、フアラ伊國領事ノ所語ニヨレハレヲボルヂナ一帯ノ地方ニ於ケル伊國移民ハ其數五萬人以上ナリト云フ

尙ホサンパウロ州ト異ナル所ノモノハサンパウロニ於テハ咖啡勞働者ハ必ス外國人ナルモミナス州ニ於テハ土人即チ黒奴ヲ勞働者トシテ使用スルコトコレナリ

此地方ニ於ケル咖啡園中其周圍幾十「キロメートル」ヲ以テ數フル程大ナルモノ亦少ナカラズト雖モ概シテサンパウロ州ニ於ケルカ如ク大ナルモノ無ク隨テ其耕地ノ組織モ亦彼ノ州ニ於ケルカ如ク大仕掛ナル者ナシ、是レ重ニ當地方ニ於ケル咖啡園ハ小山陵岡起伏シテ相連ナリサンパウロ州ニ於ケルカ如ク平坦ナラサルカ故ニソノ園中ニ輕便鐵道ヲ設ケテ以テソノ輸送ノ方法等ヲ簡易ニスルコト能ハス必ス牛車又ハ馬背等ニ

ヨリテ漸クコレカ用ヲ辨スルカ如キ方法ナルヲ以テ後來ニ於テモ當地方ニ於ケル咖啡事業ハ大ナル發達ヲ爲スコシトハ思ハレス且ツ其地味頗膏腴ナルモ咖啡ノ耕作ニ適スルコトハ遠クサンパウロ州ニ及ハサルヲ以ツテ如何ニ人工ヲ施スモ遂ニ彼レト競争スル能ハサル所ナリト云フ、サンパウロ州ニ在リテハ咖啡樹千株ニ付平均百「アロバス」(「アロバス」ハ十五基路ナリ)ヲ收穫スルヲ常トス然ルニミナス州ニ於ケル咖啡ハ千株ノ收穫一十五「アロバス」ノ割合ナリト云フ、而シテコノ差異ハ專ラソノ地質ノ適否ニ原因スルモノナリト云フ

要スルニレヲボルヂナ地方ノ咖啡事業ハ現在及ヒ將來共ニ餘リ囑望スルニ足ラスト信セラル、左レハ此地方ニ向テノ咖啡事業並ニ咖啡耕作勞働者トシテ移民誘入ノ可否ニ關シテ亦之ヲ講究スルノ價值ナシト雖モ若シソノ土着の殖民即チ殖民的計畫ヲ爲スニ付テハ大ニ望ナキニアラス如何トナレハレヲボルヂナ一帯ノ地方ハ氣候地質共ニ米作ニ好適セルモノト認ムルモ單ニ勞働者ノ缺乏ト農業家ハ多ク咖啡ノ一方ニ傾クカ爲メ幾十里ニ亘ル膏腴ナル土地モ今日ニ至ルマテ全ク雜草ノ繁茂ニ委セラレ、モノ、如シ